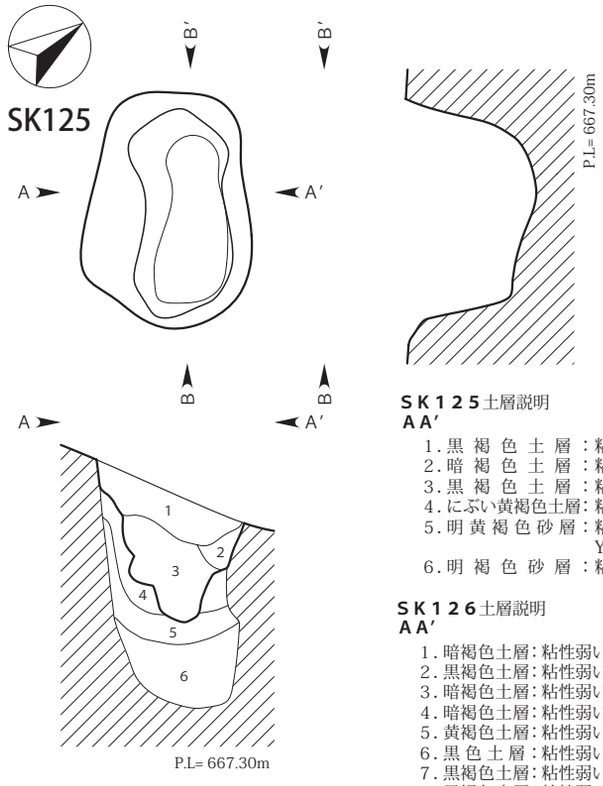
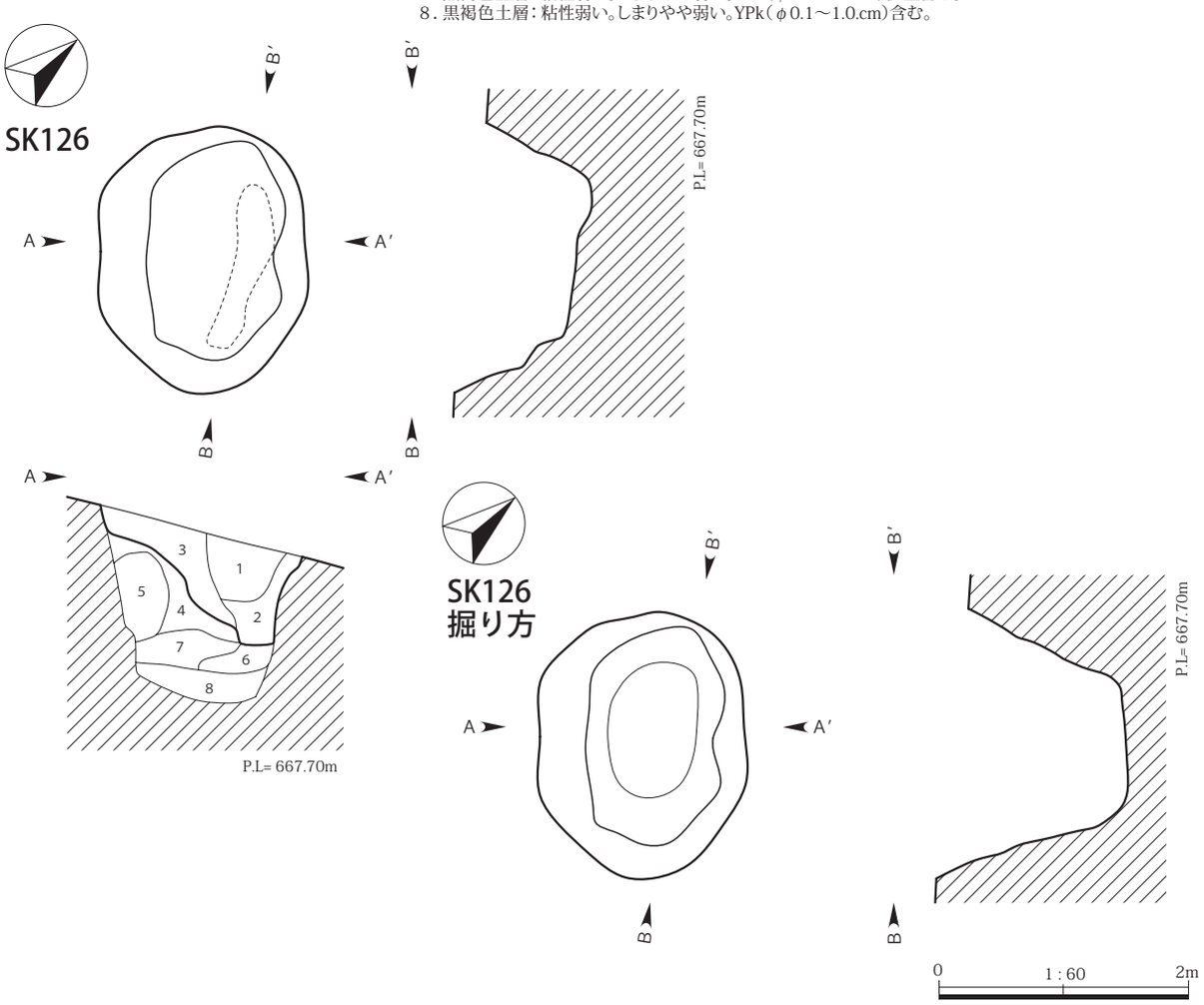


ＳＫ１２５土層説明
ＡＡ′

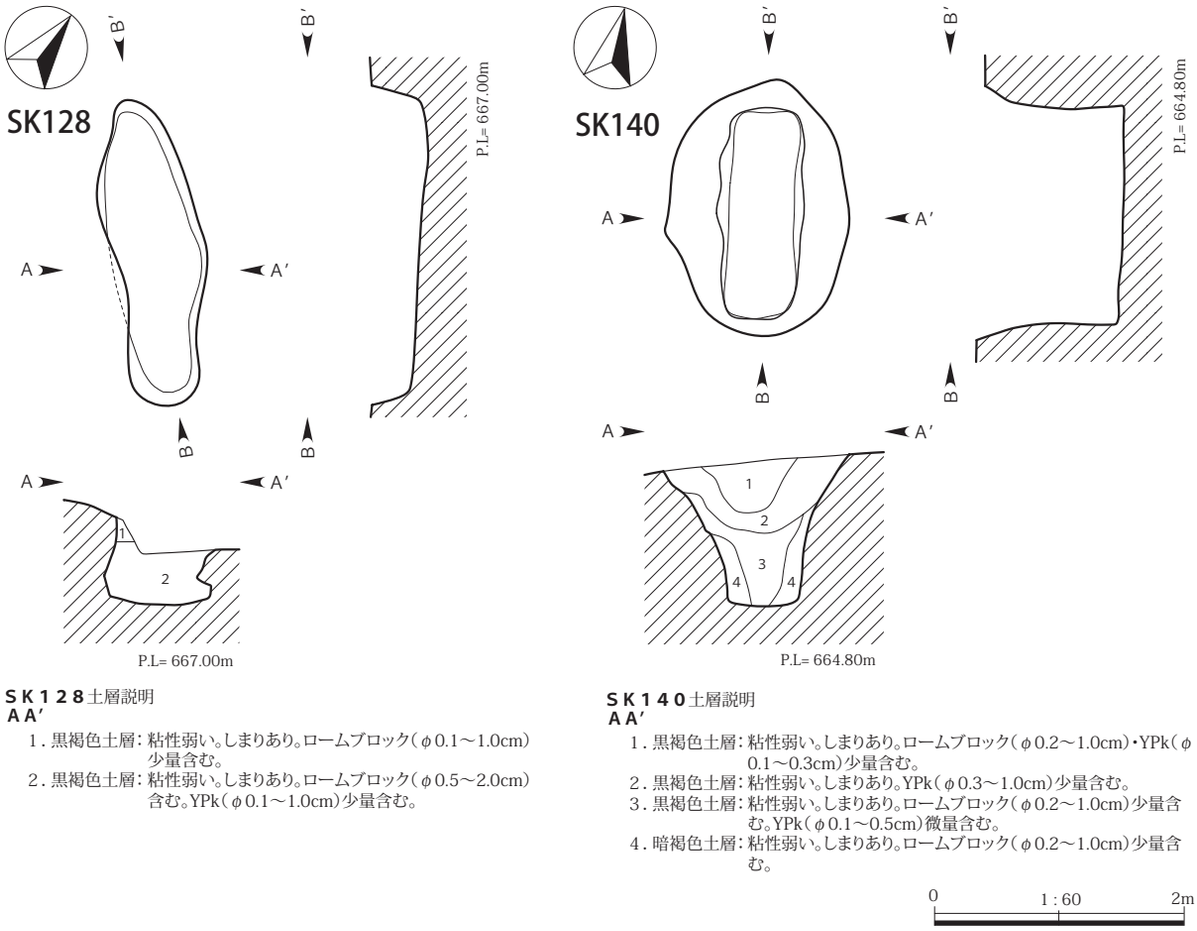
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
4．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.5～2.0cm）含む。
5．明 黄 褐 色 砂 層 ：粘性なし。しまりあり。YPk（φ1.0～2.0cm）主体。黒色土粒（φ0.05～0.2cm）多量含む。YPk崩落層。
6．明 褐 色 砂 層 ：粘性なし。しまりあり。YPk(φ1.0～2.0cm）主体。

ＳＫ１２６土層説明
ＡＡ′

1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）多量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
4．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。
5．黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.3～1.0cm）含む。
6．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）少量含む。
7．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
8．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0.cm）含む。



第139図　SK125・126実測図（1/60）



ＳＫ１２８土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。

ＳＫ１４０土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～1.0cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。

第140図　SK128・140実測図（1/60）

SK118（第 138 図）

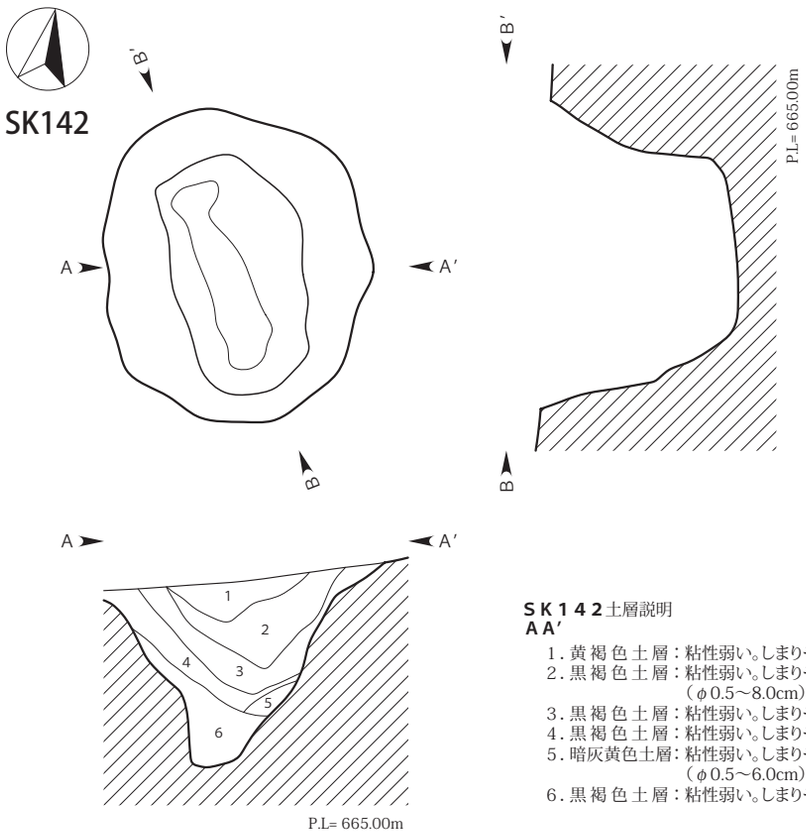
位置　４－４区Ｃ－２　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　褐灰～灰黄褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 180㎝、短軸 100㎝、深さ 95㎝。　**主軸方位**　Ｎ－69°－Ｅ　**壁面**　上位に貼壁が認められる。東西は階段状に、他は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　断面形状や覆土から、平安時代に帰属すると考えられる。

SK125（第 139 図）

位置　４－３区Ｒ－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 176㎝、短軸 124㎝、深さ 100㎝。　**主軸方位**　Ｎ－50°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　下位は貼壁が認められる。中央に向かって傾斜する。　**遺物**　縄文土器片１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

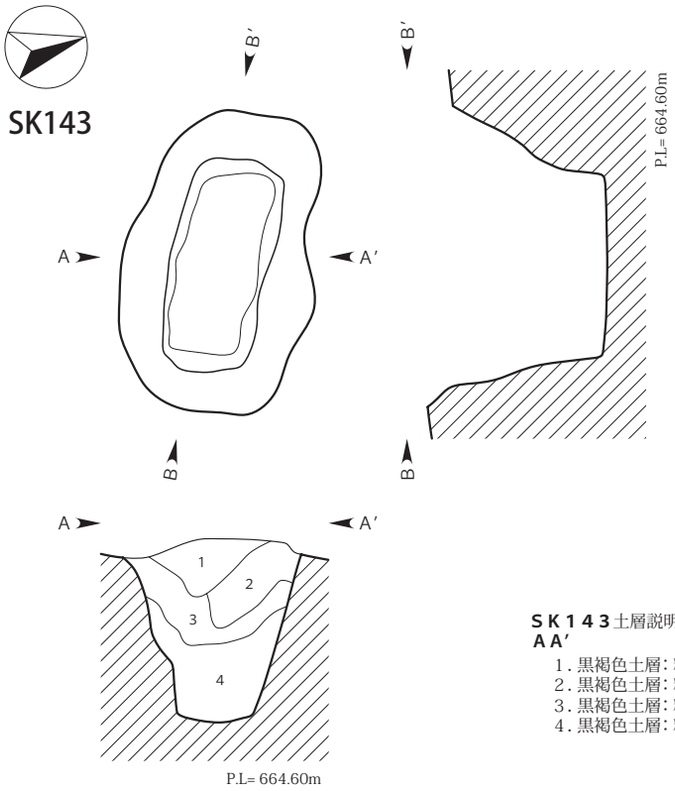
SK126（第 139 図）

位置　４－３区Ｐ－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色～黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 214㎝、短軸 162㎝、深さ 80㎝。　**主軸方位**　Ｎ－40°－Ｗ　**壁面**　下位は貼壁が認められる。下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　東に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



ＳＫ１４２土層説明
ＡＡ′

1．黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～6.0cm）多量含む。
2．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～8.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
5．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～6.0cm）少量含む。
6．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。



ＳＫ１４３土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

0　1：60　2m

第141図　SK142・143実測図（1/60）

SK128（第 140 図）

位置　4－3区S－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　概ね良好であるが、上位は削平されたと考えられる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　長楕円形を呈する。規模は長軸 250㎝、短軸 74㎝、深さ 64㎝。　**主軸方位**　N－45°－W　**壁面**　中位で狭まり、上位で西壁は内傾気味に、他は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　器種不明の陶磁器片 1 点が出土したが、小破片のため遺構に伴わない混入物と判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

SK140（第 140 図）

位置　4－3区S－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 200㎝、短軸 146㎝、深さ 117㎝。　**主軸方位**　N－13°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK142（第 141 図）

位置　4－3区S－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 256㎝、短軸 208㎝、深さ 146㎝。　**主軸方位**　N－30°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　南に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK143（第 141 図／ＰＬ 16）

位置　4－3区Q－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　隅丸長方形を呈する。規模は長軸 240㎝、短軸 140㎝、深さ 146㎝。　**主軸方位**　N－65°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK144（第 142 図）

位置　4－3区P－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 226㎝、短軸 136㎝、深さ 120㎝。　**主軸方位**　N－89°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK145（第 142 図）

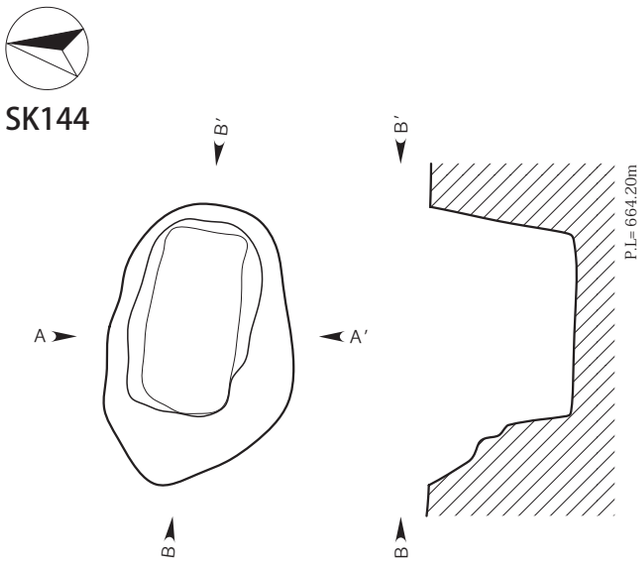
位置　4－3区P－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 220㎝、短軸 134㎝、深さ 160㎝。　**主軸方位**　N－69°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

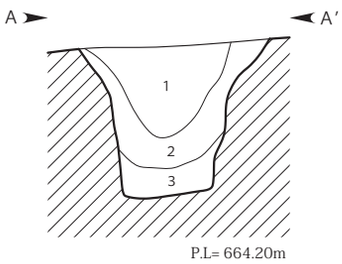
SK147（第 143 図）

位置　4－3区O－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 270㎝、短軸 188㎝、深さ 100㎝。　**主軸方位**　N－50°－W　**壁面**　上位は貼壁が認められる。下位はほぼ垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　東に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK148A（第 143 図）

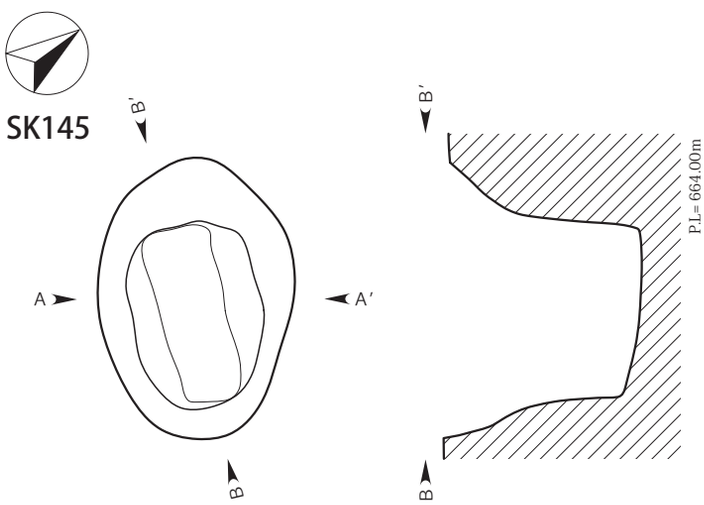
位置　4－3区T－15　**重複関係**　SK148B と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色～黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。

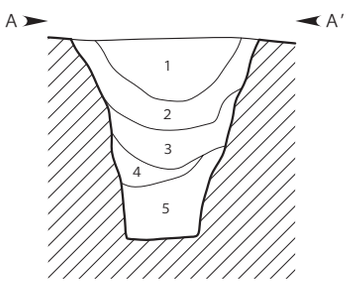




ＳＫ１４４土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～0.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。



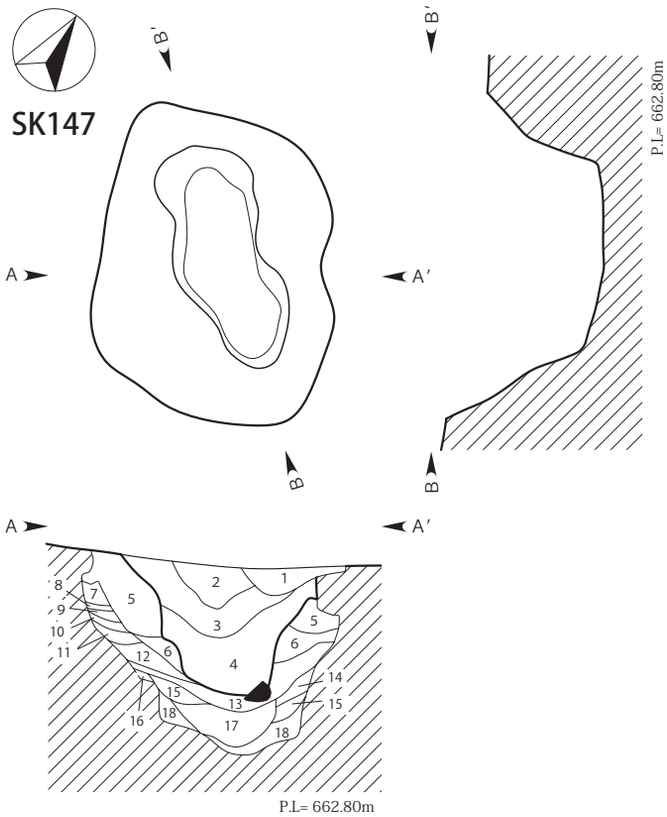


ＳＫ１４５土層説明
ＡＡ′

1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

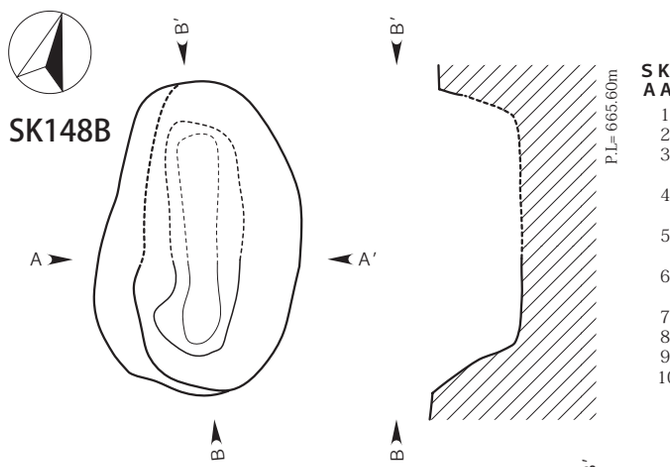
0　1：60　2m

第142図　SK144・145実測図（1/60）



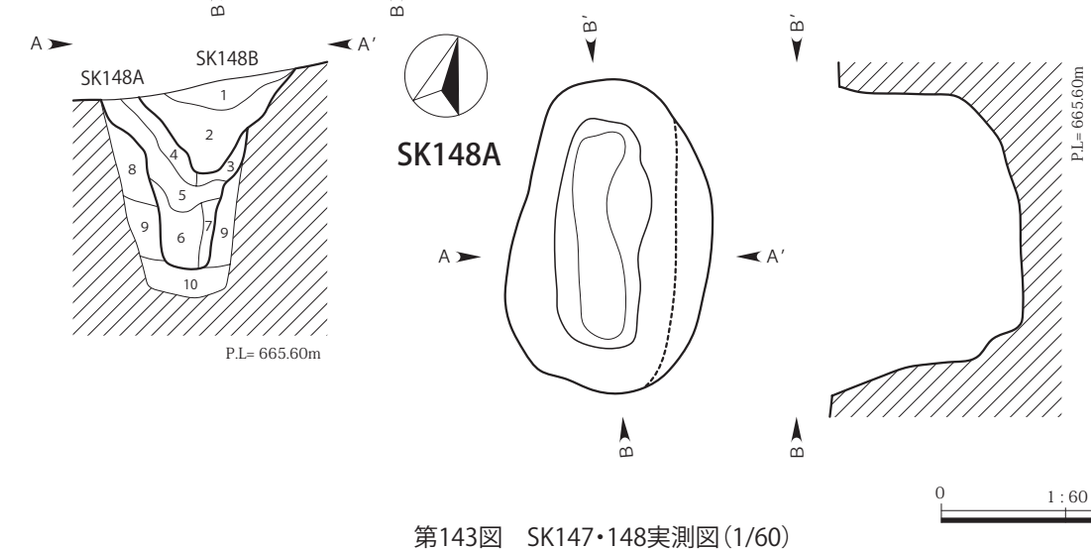
SK147土層説明
AA′

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2. 暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～3.5cm）含む。
3. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～4.0cm）少量含む。BP（φ0.1～1.0cm）微量含む。
4. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）・BP（φ0.2～1.5cm）微量含む。
5. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
6. 黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
7. オリーブ褐色砂層：粘性なし。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）多量含む。
8. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
9. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
10. 黄褐色砂層：粘性なし。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）多量含む。
11. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
12. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
13. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.5cm）多量含む。
14. 灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）多量含む。
15. にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）多量含む。
16. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）多量含む。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。
17. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）多量含む。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。
18. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.2～2.0cm）少量含む。

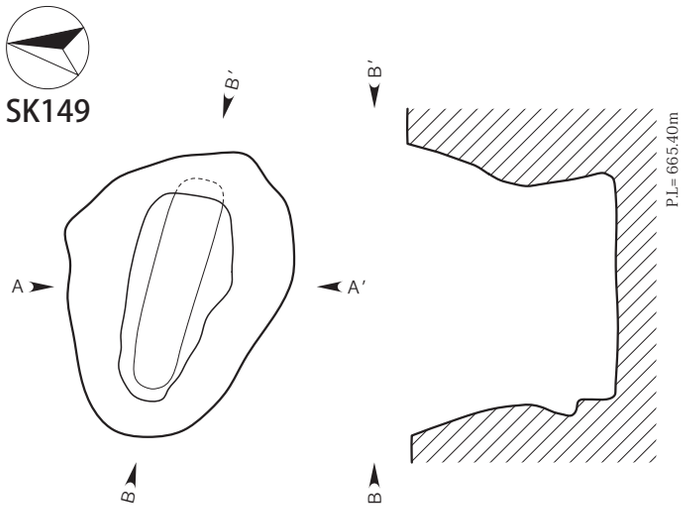


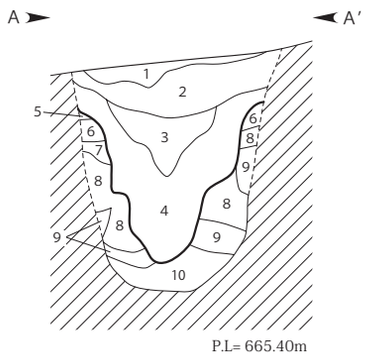
SK148A・B土層説明
AA′

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
3. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
4. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
5. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
6. 黒色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。
7. 褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。
8. 褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
9. 黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
10. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～0.5cm）少量含む。



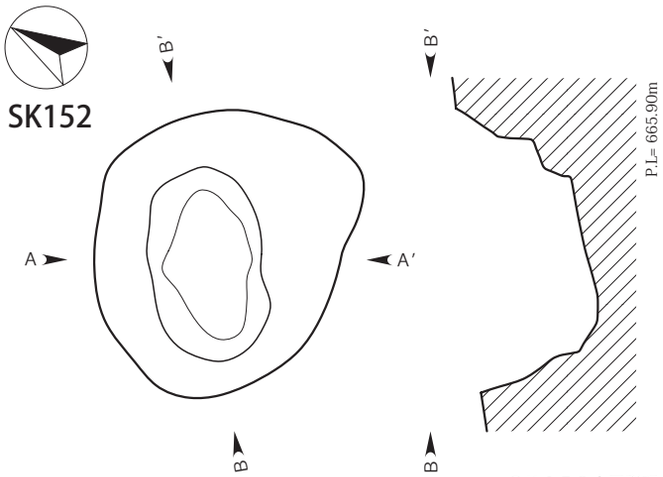
第143図　SK147・148実測図（1/60）

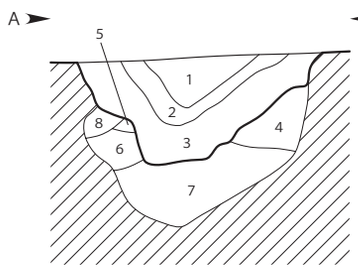




ＳＫ１４９土層説明
ＡＡ′

1．灰黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～3.0cm）・５層土ブロック（φ3.0～20.0cm）含む。
2．褐灰色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～3.0cm）・５層土ブロック（φ1.0～5.0cm）少量含む。
3．褐灰色土層：粘性あり。しまりやや弱い。５層土ブロック（φ1.0～30.0cm）含む。YPk（φ0.5～3.0cm）少量含む。
4．黒色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～1.0cm）微量含む。
5．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
6．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
7．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～0.5cm）微量含む。
8．褐灰色土層：粘性あり。しまりあり。
9．黄色粘土層：粘性あり。しまりあり。
10．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。





ＳＫ１５２土層説明
ＡＡ′

1．褐灰色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～1.0cm）微量含む。
2．灰黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～2.0cm）・５層土ブロック（φ0.5～20.0cm）含む。
3．褐灰色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～1.0cm）微量含む。
4．にぶい黄橙色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～10.0cm）含む。YPk（φ0.5～1.0cm）微量含む。
5．褐灰色土層：粘性あり。しまりあり。
6．黄色粘土層：粘性あり。しまりあり。
7．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ1.0～3.0cm）多量含む。
8．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。

0　1：60　2m

第144図　SK149・152実測図（1/60）

規模は長軸250㎝、短軸推定134㎝、深さ145㎝。 **主軸方位** N－17°－W **壁面** 下位は貼壁が認められる。下位はほぼ垂直に、上位は外傾して立ち上がる。 **底面** 概ね平坦。 **遺物** 縄文土器片１点と剥片２点が出土したが、小破片のため図示しなかった。 **備考** なし。

SK148B（第143図）

位置 ４－３区Ｔ－15 **重複関係** SK148Aと重複し、本遺構の方が新しい。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸250㎝、短軸126㎝、深さ72㎝。 **主軸方位** N－19°－W **壁面** 大きく外傾して立ち上がる。 **底面** 概ね平坦。 **遺物** 縄文土器片１点と剥片２点が出土したが、小破片のため図示しなかった。 **備考** なし。

SK149（第144図）

位置 ４－３区Ｒ－16 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 上層は褐灰色土、下層は黒色土基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸234㎝、短軸154㎝、深さ160㎝。 **主軸方位** N－82°－W **壁面** 下位は貼壁が認められる。外傾して立ち上がる。 **底面** 中央が窪む。 **遺物** なし。 **備考** なし。

SK152（第144図）

位置 ４－４区Ａ－15 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 褐灰色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 円形を呈する。規模は長軸218㎝、短軸198㎝、深さ83㎝。 **主軸方位** N－49°－E **壁面** 下位は貼壁が認められる。外傾して立ち上がる。 **底面** 西に向かって傾斜する。 **遺物** なし。 **備考** なし。

SK153（第145図）

位置 ２－94区Ｄ－17 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 楕円形を呈する。規模は長軸217㎝、短軸164㎝、深さ142㎝。 **主軸方位** N－27°－E **壁面** 下位は貼壁が認められる。下位はほぼ垂直に、上位は外傾して立ち上がる。 **底面** 北に向かって傾斜する。 **遺物** 縄文土器片１点が出土し、図示したが、遺構に伴うものではないと判断したため遺構外出土遺物に掲載した。 **備考** なし。

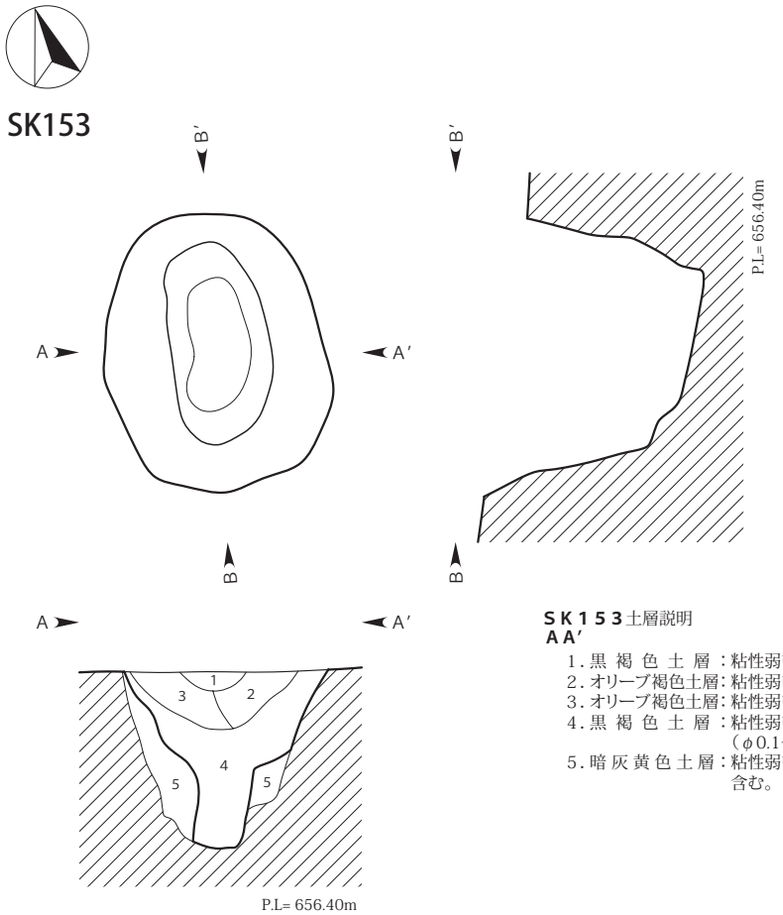
SK154（第145図）

位置 ２－94区Ｆ－18 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸196㎝、短軸138㎝、深さ134㎝。 **主軸方位** N－77°－E **壁面** 下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。 **底面** 概ね平坦。 **遺物** 縄文土器片２点と土師器片１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。 **備考** なし。

SK155（第146図／ＰＬ16）

位置 ２－94区Ｅ－17 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 暗褐色～黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸232㎝、短軸165㎝、深さ156㎝。 **主軸方位** N－23°－E **壁面** 下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。 **底面** 中央が窪む。 **遺物** なし。 **備考** なし。

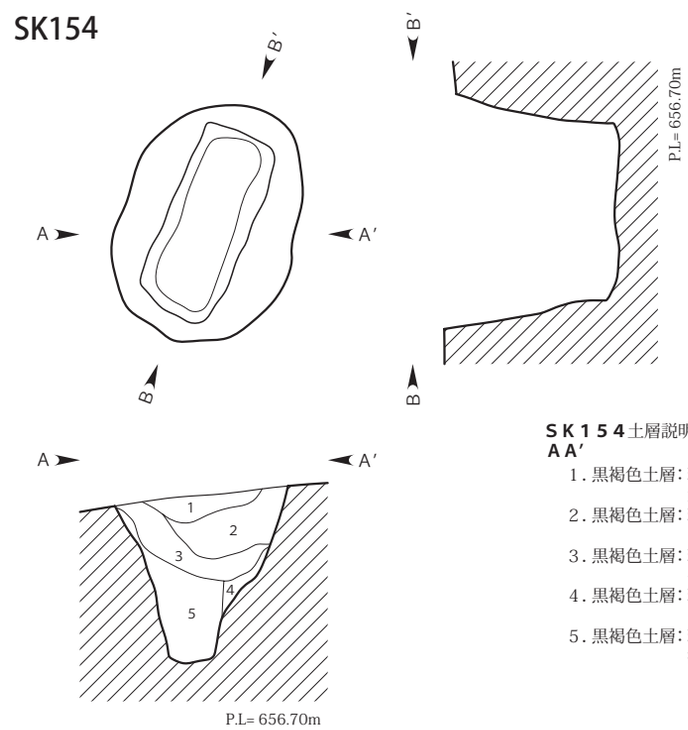
SK153



SK153土層説明
AA′

1. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2. オリーブ褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。
3. オリーブ褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.5cm）多量含む。
4. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）・BP（φ0.2～1.5cm）微量含む。
5. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）少量含む。

SK154

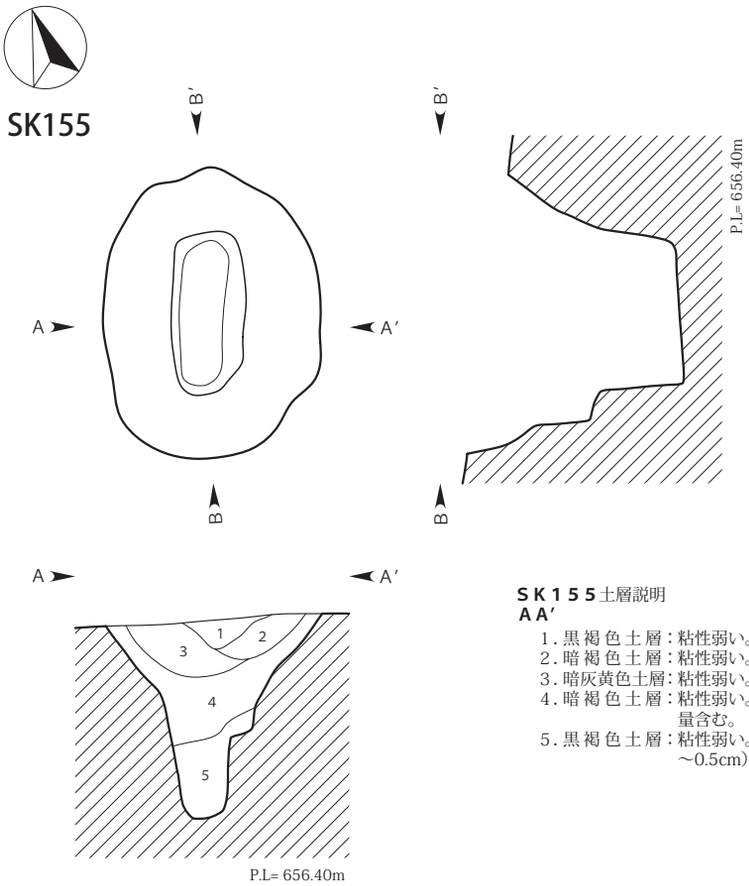


SK154土層説明
AA′

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）・炭化物（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～1.0cm）含む。
5. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。

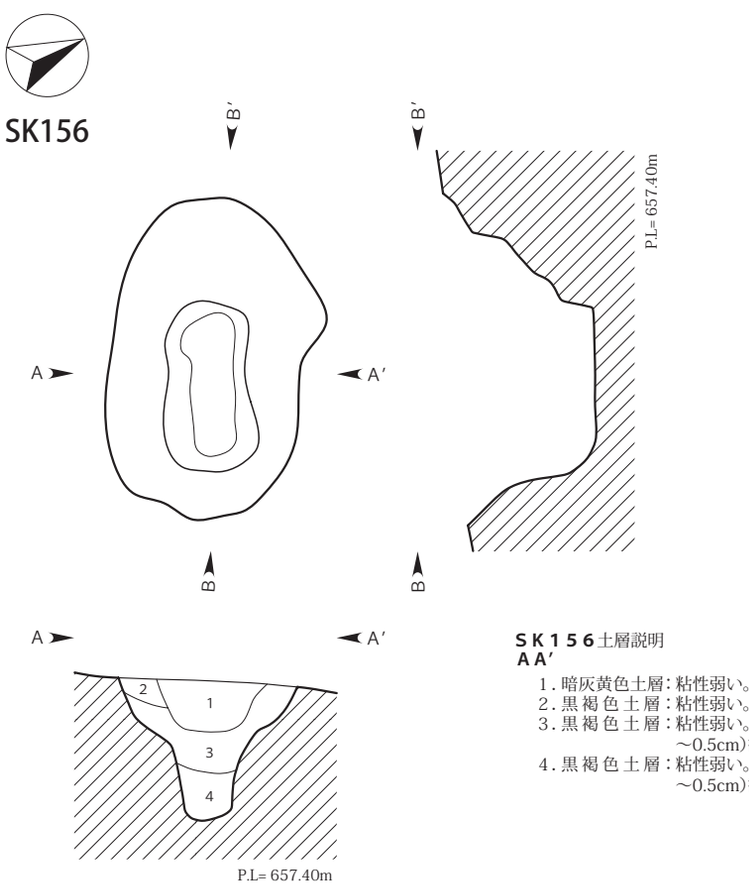
0　1：60　2m

第145図　SK153・154実測図（1/60）



SK155土層説明
AA′

1. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2. 暗 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。
4. 暗 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。
5. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.5cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。



SK156土層説明
AA′

1. 暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

0　1：60　2m

第146図　SK155・156実測図（1/60）

SK156（第 146 図）

位置　2－94区G－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 257㎝、短軸 150㎝、深さ 110㎝。　**主軸方位**　N－63°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK157（第 147 図）

位置　4－4区D－4　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 188㎝、短軸 107㎝、深さ 98㎝。　**主軸方位**　N－88°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK158（第 147 図）

位置　2－94区G－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　隅丸長方形を呈する。規模は長軸 176㎝、短軸 70㎝、深さ 83㎝。　**主軸方位**　N－62°－W　**壁面**　垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK159（第 147 図）

位置　2－94区D－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 217㎝、短軸 124㎝、深さ 135㎝。　**主軸方位**　N－70°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。

SK160（第 147 図）

位置　4－4区D－3　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 218㎝、短軸 125㎝、深さ 120㎝。　**主軸方位**　N－73°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　東に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK161（第 148 図）

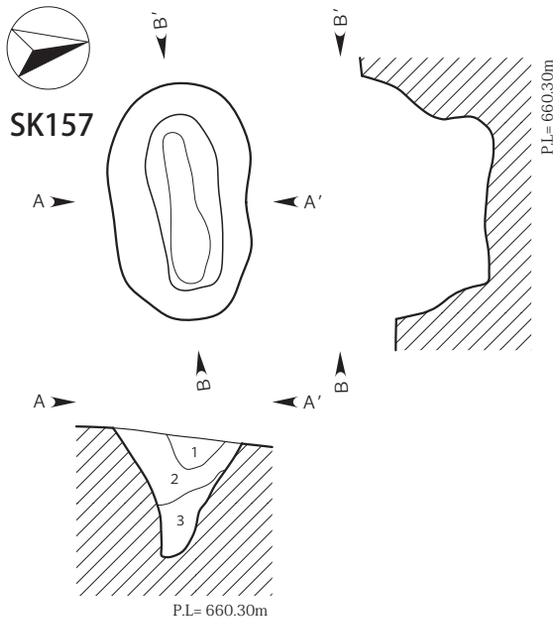
位置　2－94区D－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 206㎝、短軸 120㎝、深さ 113㎝。　**主軸方位**　N－86°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　凹凸がある。　**遺物**　縄文土器片 1 点が出土し、図示したが、遺構に伴うものではないと判断したため遺構外出土遺物に掲載した。　**備考**　なし。

SK162（第 148 図）

位置　2－94区D－19　**重複関係**　SU02 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形は楕円形、下面形は長方形を呈する。規模は長軸 190㎝、短軸 108㎝、深さ 111㎝。　**主軸方位**　N－79°－W　**壁面**　下位はほぼ垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

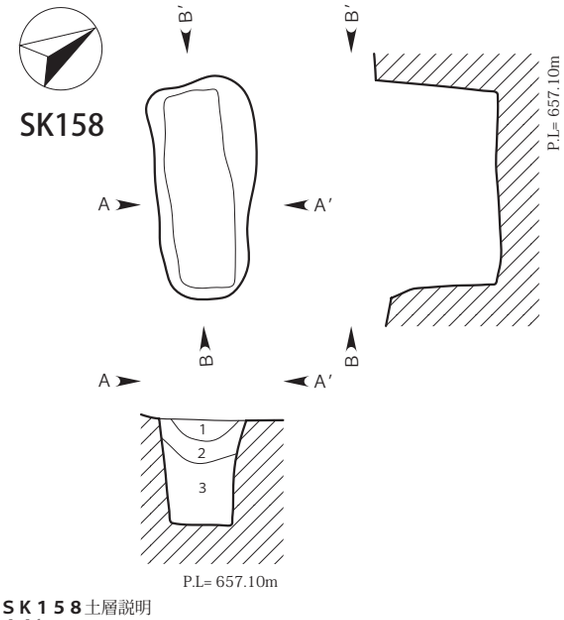
SK163（第 149 図）

位置　2－94区F－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 195㎝、短軸 130㎝、深さ 150㎝。　**主軸方位**　N－47°－W　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



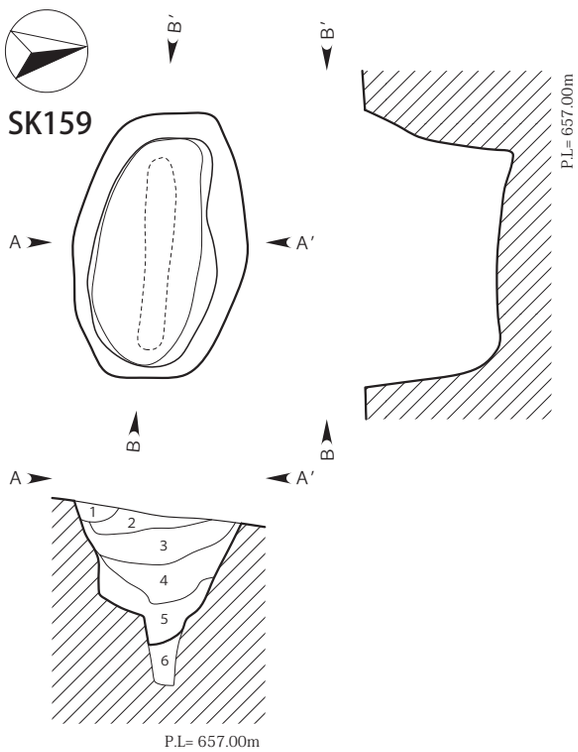
ＳＫ１５７土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～1.5cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。



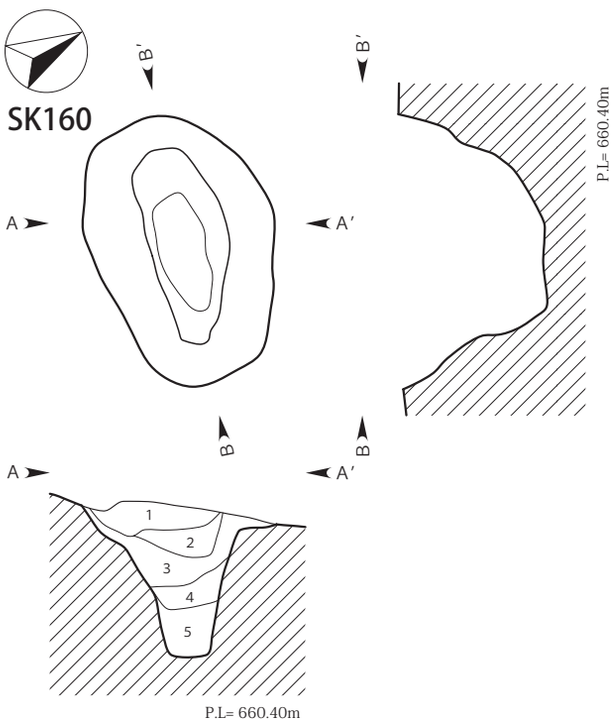
ＳＫ１５８土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ローム
ブロック（φ0.5～2.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。



ＳＫ１５９土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。
2．黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～3.5cm）多量含む。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～1.5cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
5．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～3.5cm）少量含む。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
6．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

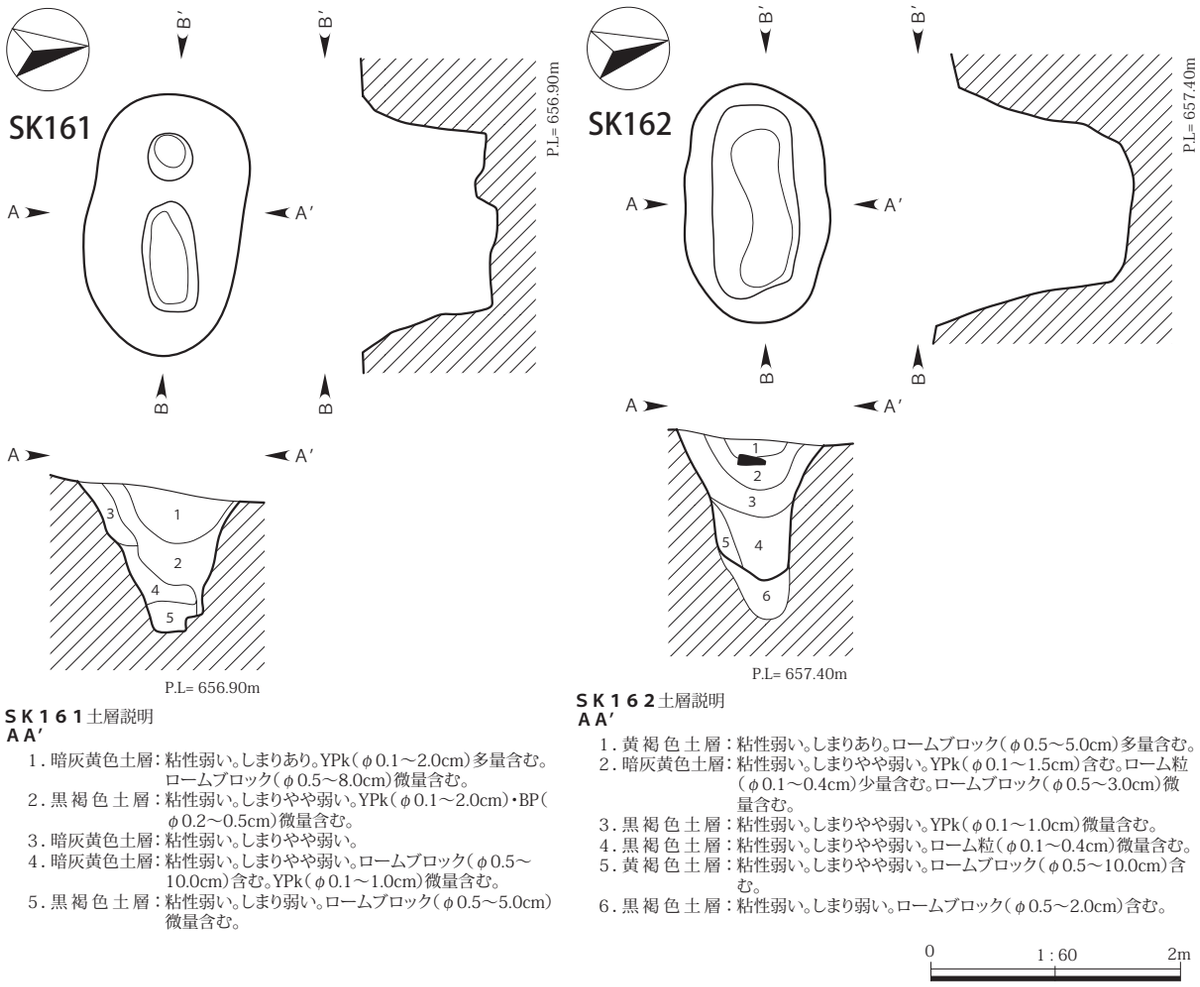


ＳＫ１６０土層説明
ＡＡ′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.5cm）微量含む。
2．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.5cm）多量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）・BP（φ0.2～4.0cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。

0　1：60　2m

第147図　SK157～160実測図（1/60）



ＳＫ１６１土層説明
ＡＡ′

1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）多量含む。ロームブロック（φ0.5～8.0cm）微量含む。
2．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）・BP（φ0.2～0.5cm）微量含む。
3．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。
4．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
5．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）微量含む。

ＳＫ１６２土層説明
ＡＡ′

1．黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）多量含む。
2．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）少量含む。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）微量含む。
3．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
4．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）微量含む。
5．黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）含む。
6．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。

第148図　SK161・162実測図（1/60）

SK164（第 149 図）

位置　４－３区Ｐ－13　**重複関係**　SI06 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　隅丸長方形を呈する。規模は長軸 133㎝、短軸 71㎝、深さ 98㎝。　**主軸方位**　Ｎ－89°－Ｗ　**壁面**　下位は貼壁が認められる。中位に段をもち、垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

（５）土坑

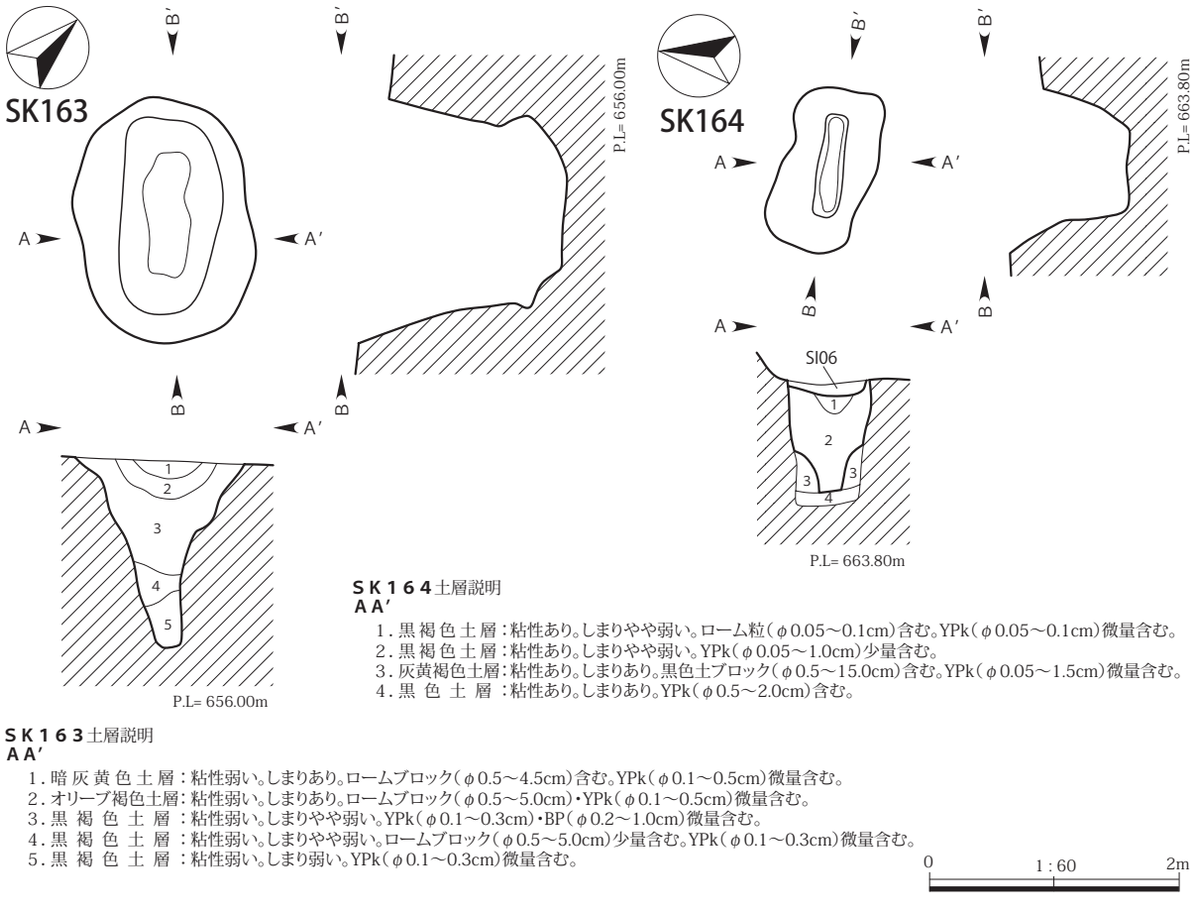
出土遺物や覆土、重複関係から、平安時代に帰属すると考えられる。

SK109（第 150 図）

位置　４－３区Ｍ－19　**重複関係**　SI03 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 112㎝、短軸 52㎝、深さ 38㎝。　**主軸方位**　Ｎ－75°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　Ｕ字状。　**遺物**　須恵器片が２点、灰釉陶器の杯椀類１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK120（第 150 図）

位置　４－４区Ａ－２・３　**重複関係**　SK104・121 と重複し、SK121 より新しく、SK104 より古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長



SK164土層説明
AA′
1. 黒 褐 色 土 層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.05～0.1cm）含む。YPk（φ0.05～0.1cm）微量含む。
2. 黒 褐 色 土 層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.05～1.0cm）少量含む。
3. 灰黄褐色土層：粘性あり。しまりあり。黒色土ブロック（φ0.5～15.0cm）含む。YPk（φ0.05～1.5cm）微量含む。
4. 黒 色 土 層：粘性あり。しまりあり。YPk（φ0.5～2.0cm）含む。

SK163土層説明
AA′
1. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～4.5cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2. オリーブ褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。
4. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
5. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

0　1：60　2m

第149図　SK163・164実測図（1/60）

軸 186㎝、短軸推定 149㎝以上、深さ 76㎝。　**主軸方位**　N－44°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK121（第 150 図）

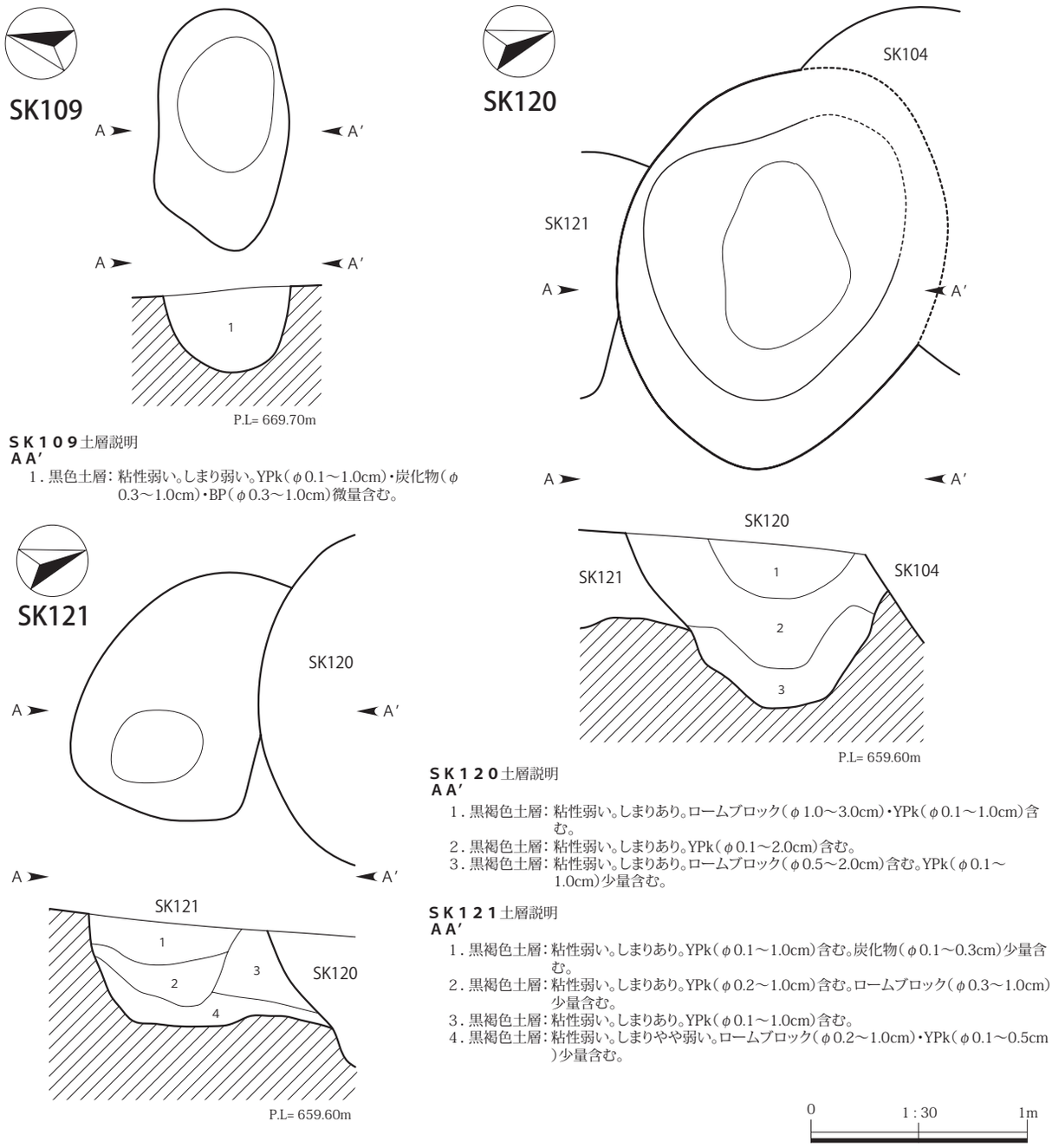
位置　4－4区A－3　**重複関係**　SK120 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 121㎝、短軸 88㎝、深さ 47㎝。　**主軸方位**　N－50°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK133（第 151 図）

位置　4－3区T－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　隅丸長方形を呈する。規模は長軸 180㎝、短軸 100㎝、深さ 36㎝。　**主軸方位**　N－40°－E　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK138（第 151 図）

位置　4－3区T－15　**重複関係**　SK139 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　南東側を SK139 に破壊される。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 126㎝、短軸 80㎝、深さ 22㎝。　**主軸方位**　N－18°－W　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片が２点出土したが、出土状況から遺構に伴うものではないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。



ＳＫ１０９土層説明
ＡＡ′
1．黒色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.3～1.0cm）・BP（φ0.3～1.0cm）微量含む。

ＳＫ１２０土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。

ＳＫ１２１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

第150図　SK109・120・121実測図（1/30）

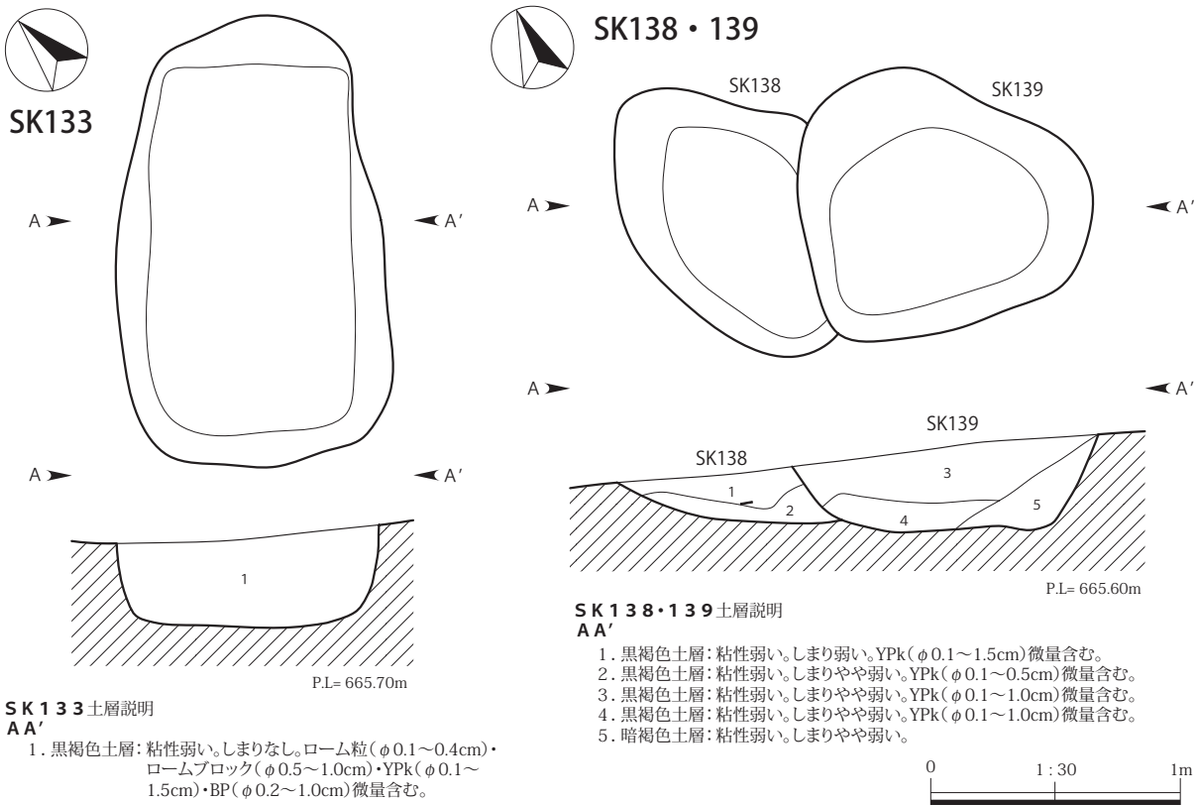
SK139（第 151 図）

位置　４－３区Ｔ－ 15　**重複関係**　SK138 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 118㎝、短軸 94㎝、深さ 35㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 70°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　器種不明の土師器片が３点出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

（６）畑

SN02（第 153 図）

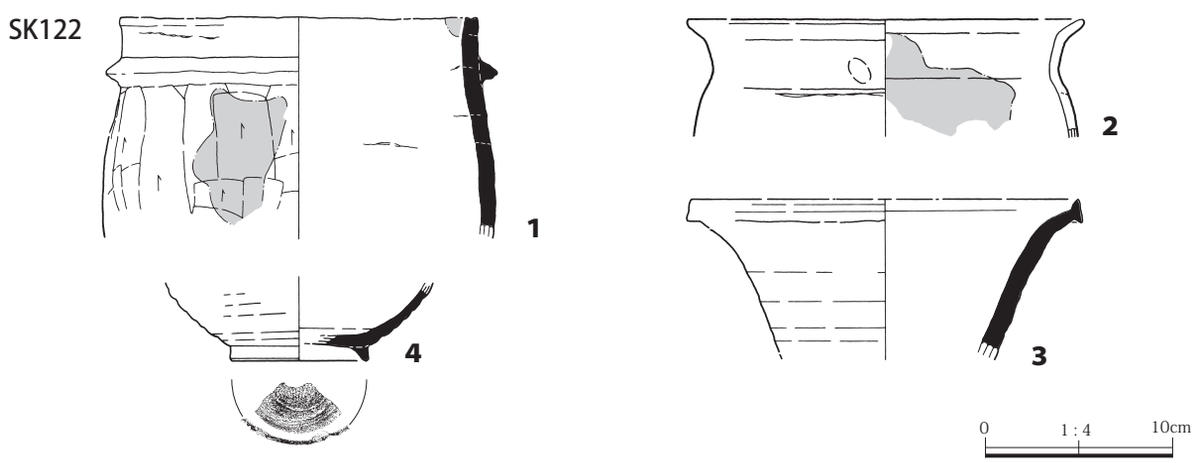
位置　４－３区Ｐ～Ｔ－ 13 ～ 17　**重複関係**　SN03 の上層に位置する。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　覆土はテフラ混じりのにぶい黄褐色土を基調とする。畑土の下には As-B が堆積する。　**規模**　最大長約 24.7 m、



ＳＫ１３３土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり なし。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～1.0cm）・YPk（φ0.1～1.5cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。

ＳＫ１３８・１３９土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
5．暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。

第151図　SK133・138・139実測図（1/30）

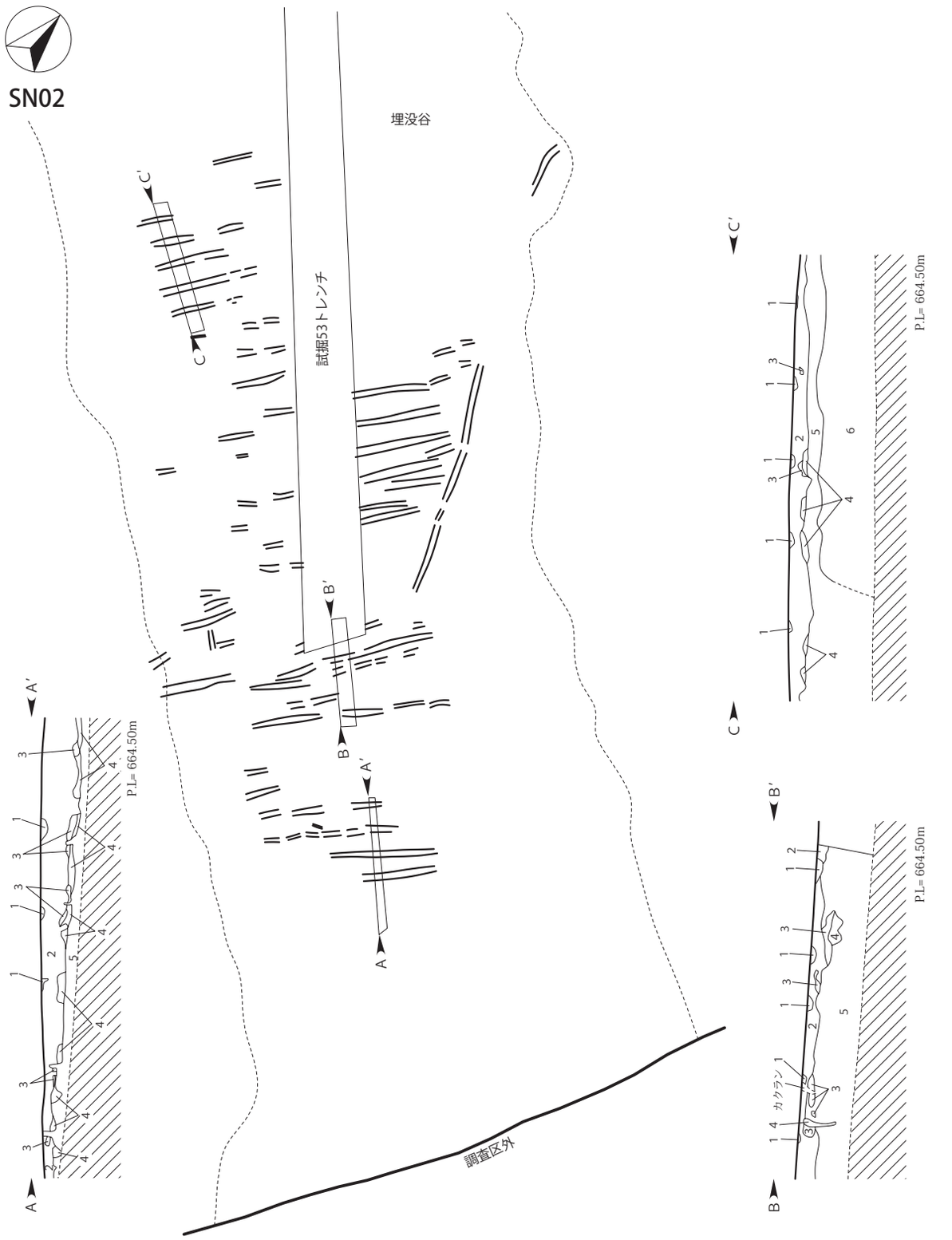


第152図　平安時代土坑出土遺物実測図（1/4）

最大幅約 16.5 m、検出面積 407.55㎡の範囲である。　**主軸方位**　N－37°－E　**遺物**　なし。　**備考**　自然科学分析（第９編第１章）では、覆土中から As-B、As-Kk、仮称上野火山灰、YPk 由来の火山ガラスが検出され、下層のテフラは As-B と同定されている。As-B 降下の平安時代末以降につくられ、As-Kk 以降も継続して営まれていたと考えられる。

SN03（第 154 図）

位置　４－３区Ｏ～Ｔ－14～18　**重複関係**　SN02 の下層に位置する。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　覆土は黒褐色土を基調とする。畑の上には As-B が堆積する。　**規模**　最大長約 30 m、最大幅約 11.9 m、検出面積 357㎡の範囲である。　**主軸方位**　N－36°－E　**遺物**　なし。　**備考**　自然科学分析（第９編第１章）では、覆土のテフラは As-B と同定されている。As-B 降下前につくられ、As-B 降下前後に廃絶したと考えられる。



SN02土層説明
AA′BB′CC′

1．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。褐色火山灰（φ0.1～1.5cm）多量含む。YPk（φ0.1～1.0cm）・BP（φ0.2～1.0 cm）微量含む。
2．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）・褐色火山灰（φ0.1～2.5cm）微量含む。
3．灰 白 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ1.0～10.0cm）含む。As-B火山灰主体。
4．黒 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。
5．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。
6．黒 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

平面図 0 1：200 5m
断面図 0 1：60 2m

第153図　SN02実測図（1/200・1/60）

SN03土層説明
AA′BB′

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2. 灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。
3. 灰白色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック（φ1.0～10.0cm）含む。As-B火山灰主体。
4. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
5. 褐灰色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。
6. 褐灰色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。

第154図　SN03実測図（1/200・1/60）

（7）焼土遺構

８号焼土遺構（第 156 図）

位置　４－３区Ｒ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土を基調とする。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 80㎝、短軸 37㎝、深さ 9㎝。　**主軸方位**　Ｎ－72°－Ｅ　**壁面**　中位が大きく張り出す。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　火を燃やしたため焼土化した痕跡と考えられる。確認面の層序から、平安時代に帰属すると考えられる。

９号焼土遺構（第 156 図）

位置　４－３区Ｒ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　明褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 14㎝、短軸 7㎝、深さ 2㎝。　**主軸方位**　Ｎ－43°－Ｗ　**壁面**　表面に薄く乗っているのみで、立ち上がりは確認できない。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　焼土は表面に薄く広がる。確認面の層序から、平安時代に帰属すると考えられる。

10 号焼土遺構（第 155・156 図／第 24 表／ＰＬ 21）

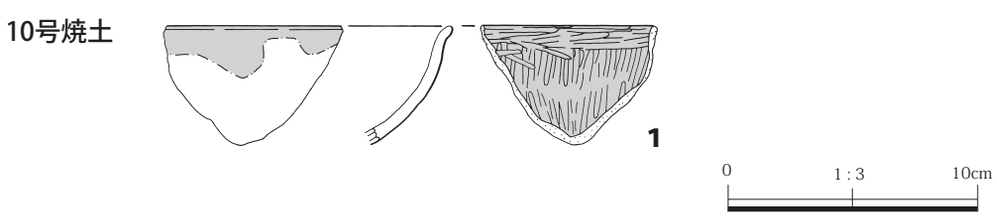
位置　４－３区Ｑ－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 126㎝、短軸 69㎝、深さ 17㎝。　**主軸方位**　Ｎ－130°－Ｗ　**壁面**　北壁以外は湾曲して立ち上がり、北壁は緩やかに外傾して立ち上がる。　**底面**　皿状を呈する。　**遺物**　土師器片１点と土師質土器の杯１点が出土し、土師質土器１点を図示した。　**備考**　東西の壁に袖石と見られる礫が立ち、東脇に天井石と考えられる平石が出土し、浅い凹みの全面が焼土化していることから、カマドであると考えられる。周辺では住居大の掘り込みや床面が認められなかったが、遺構の上層で２～３ｍ四方の As-Kk の堆積があったことから、この広さ程度の掘り込みがあったと考えられる。以上から、住居に伴うカマドと言うよりはカマド屋である可能性が高いと考えられる。確認面の層序や出土遺物から、平安時代に帰属すると考えられる。

14 号焼土遺構（第 156 図）

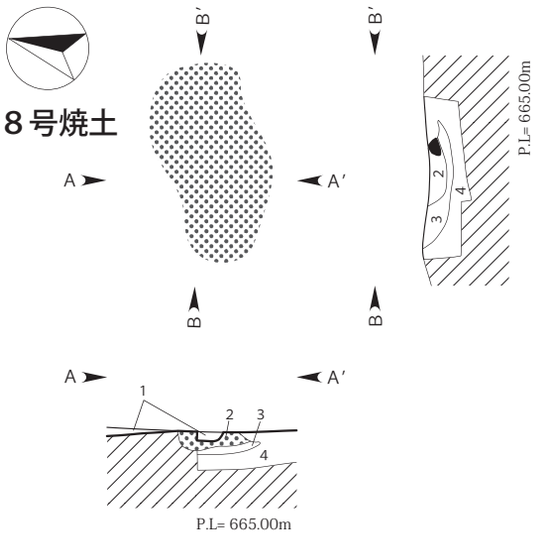
位置　４－３区Ｓ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　明褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸 27㎝、短軸 24㎝、深さ 2㎝。　**主軸方位**　Ｎ－11°－Ｅ　**壁面**　表面に薄く乗っているのみで、立ち上がりは確認できない。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　本遺構は、火を燃やした場所ではなく、焼土ブロックが流れ込んだものと考えられる。焼土は表面に薄く広がる。覆土から、平安時代に帰属すると考えられる。

試掘 55 号トレンチ１号焼土（第 156 図）

位置　４－４区Ａ－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸 75㎝、短軸 52㎝、深さ 56㎝。　**主軸方位**　Ｎ－10°－Ｅ　**壁面**　立ち上がりは確認できない。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　試掘時に 55 号トレンチで確認された１号焼土である。焼土は中位に薄く広がる。確認面の層序から、平安時代に帰属すると考えられる。

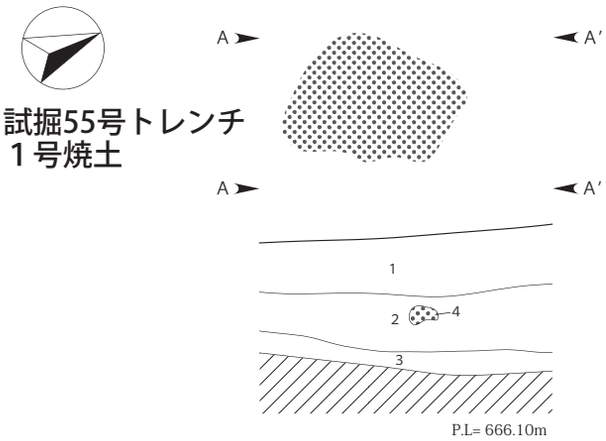


第155図　焼土遺構出土遺物実測図（1/3）



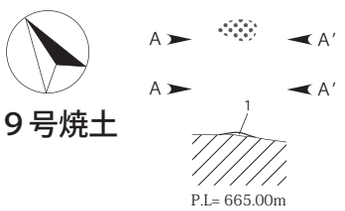
8号焼土土層説明
A A′ B B′

1．黒　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）・焼土粒（φ0.1～4.0cm）微量含む。
2．明 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.5cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3．にぶい褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
4．黒　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。



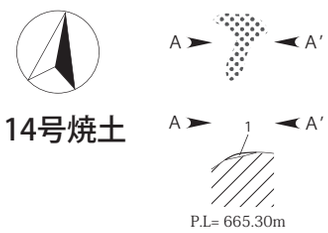
試掘５５号トレンチ１号焼土土層説明
A A′

1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
4．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～0.3cm）微量含む。



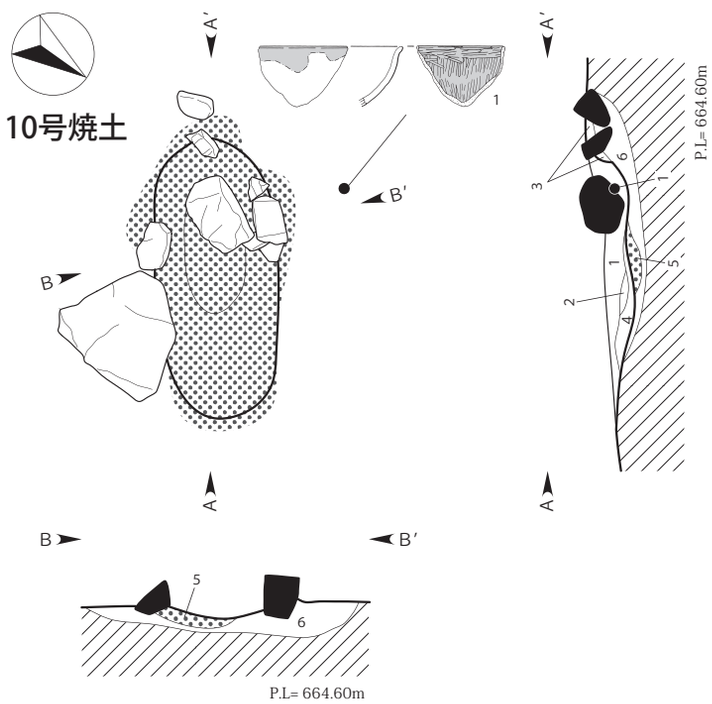
9号焼土土層説明
A A′

1．明褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.5cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。



１４号焼土土層説明
A A′

1．明褐色土層：粘性弱い。しまりあり。焼土粒（φ0.1～1.5cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。



１０号焼土土層説明
A A′ B B′

1．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2．暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～0.5cm）・炭化物（φ0.3～6.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3．暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
4．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～0.5cm）含む。
5．褐　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）多量含む。炭化物（φ0.2～1.0cm）微量含む。
6．黒　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。

0　1：30　1m

第156図　8～10・14・試掘55号トレンチ1号焼土実測図（1/30）

（8）ピット（第 20 表）

平安時代のピットは 37 基確認された。遺物が出土するものは見られなかった。全てのピットの平面形や規模などの情報は、第 20 表に記載した。

第 20 表　上野Ⅱ遺跡ピット観察表①

遺構名	位置	平面形	規模（cm）			覆土	備考
			長軸長	短軸長	深さ		
P01	2－94 区D－9	円形	32	30	6	B	
P02	2－94 区D－9	円形	20	18	4	B	
P03	2－94 区D－9	円形	40	38	12	B	
P04	2－94 区D－9	円形	38	32	6	B	
P05	2－94 区E－9	円形	34	30	6	B	
P06	2－94 区D－9	円形	40	36	10	B	
P07	2－94 区D－9	円形	40	35	6	B	
P08	2－94 区D－10	円形	42	37	16	B	
P10	2－94 区D－10	円形	34	30	6	B	
P11	2－94 区D－10	円形	31	28	10	B	
P12	2－94 区D－11	楕円形	45	30	6	B	
P13	2－94 区C－11	円形	27	22	12	B	
P14	2－94 区C－11	円形	42	38	10	B	
P15	2－94 区C－11	円形	26	23	8	B	
P16	2－94 区C－11	円形	38	32	10	B	
P17	2－94 区C－11	円形	35	30	10	B	
P18	2－94 区D－11	円形	27	24	10	B	
P19	2－94 区D－13	楕円形	40	30	8	B	
P20	2－94 区C－13	楕円形	39	28	54	B	
P21	2－94 区D－11	楕円形	34	26	18	B	
P22	2－94 区C－13	円形	40	36	12	B	
P23	2－94 区C－12	楕円形	36	27	6	B	
P24	2－94 区C－12	円形	36	34	4	B	
P25	2－94 区A－15	円形	37	32	38	B	
P26	2－94 区A－16	円形	27	25	20	B	
P27	2－94 区A－16	円形	36	32	10	B	
P28	2－94 区A－16	円形	30	26	7	B	
P29	2－93 区T－16	楕円形	41	34	6	B	
P30	2－93 区T－16	円形	32	31	6	B	
P31	2－94 区A－17	楕円形	34	28	10	B	
P32	2－94 区A－17	円形	40	35	8	B	
P33	2－94 区A－17	楕円形	45	35	6	B	
P34	2－94 区A－17	円形	44	38	14	B	
P35	2－94 区A－17	円形	37	31	4	B	
P36	2－94 区A－17	楕円形	35	27	8	B	
P37	2－94 区A－18	円形	34	30	4	B	
P60	4-3区T-16	楕円形	104	70	44	A	

※ A：黒色土　B：黒褐色土　C: 暗褐色土　D: 暗灰黄色土

第５節　平安時代末～中・近世の遺構と遺物

（1）陥し穴

平・断面形状から、中世に帰属すると考えられる。

SK18（第 157 図）

位置　4－4区F－6　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が隅丸細長方形を呈する。規模は長軸 255㎝、短軸 78㎝、深さ 65㎝。　**主軸方位**　N－33°－W　**壁面**　下位から上位に貼壁が認められる。中位の段差を経て、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片 4 点が出土し、うち 1 点を図示したが、遺構に伴うものではないと判断したため遺構外出土遺物に掲載した。　**備考**　なし。

SK27（第 157 図）

位置　4－3区T－8　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が隅丸細長方形を呈する。規模は長軸 295㎝、短軸 82㎝、深さ 72㎝。　**主軸方位**　N－19°－E　**壁面**　中位の段差を経て、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK52（第 158 図／ＰＬ 16）

位置　4－3区J－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　概ね良好であるが、上位は削平されたと考えられる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が隅丸細長方形を呈する。規模は長軸 276㎝、短軸 92㎝、深さ 64㎝。　**主軸方位**　N－65°－W　**壁面**　下位から上位に貼壁が認められる。外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片 4 点と剥片石器 1 点が出土した

が、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK53（第 158 図／ＰＬ 16）

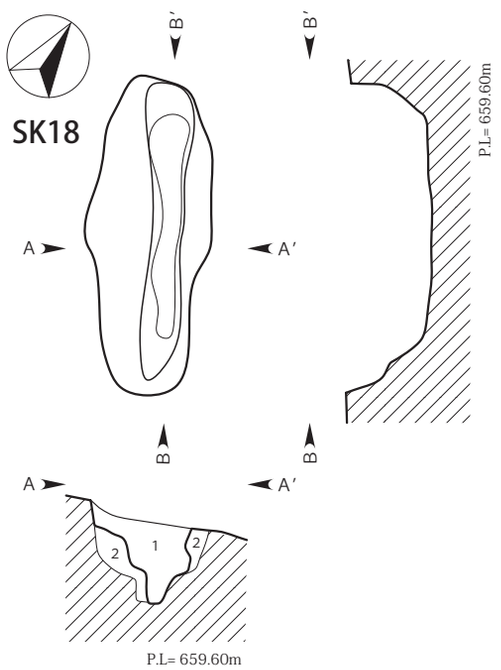
位置　４－３区Ｉ－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　概ね良好であるが、上位は削平されたと考えられる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が隅丸細長方形を呈する。規模は長軸 280㎝、短軸 90㎝、深さ 58㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 68°－Ｗ　**壁面**　下位から上位に貼壁が認められる。中位の段差を経て、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。掘り方底面で、鋤状の工具痕が認められた。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

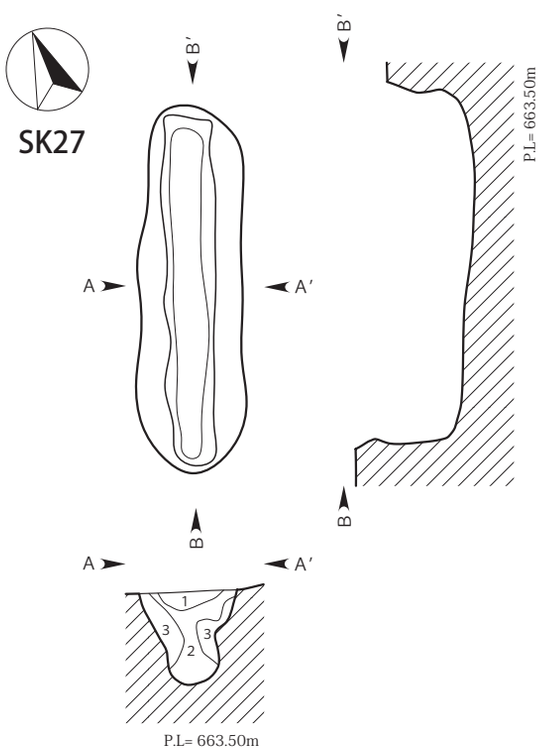
SK85（第 159 図）

位置　４－３区Ｑ－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　概ね良好であるが、上位は削平されたと考えられる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が隅丸長方形を呈する。規模は長軸 242㎝、短軸 78㎝、深さ 58㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 29°－Ｅ　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK127（第 159 図／ＰＬ 16）

位置　４－４区Ａ－ 16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土の上層に As-Kk が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が長楕円形、下面形が隅丸細長方形を呈する。規模は長軸 270㎝以上、短軸 134㎝、深さ 126㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 58°－Ｗ　**壁面**　下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。長軸方向に並んだ杭痕が４箇所検出された。杭痕は円形で、規模は幅３～ 8㎝、深



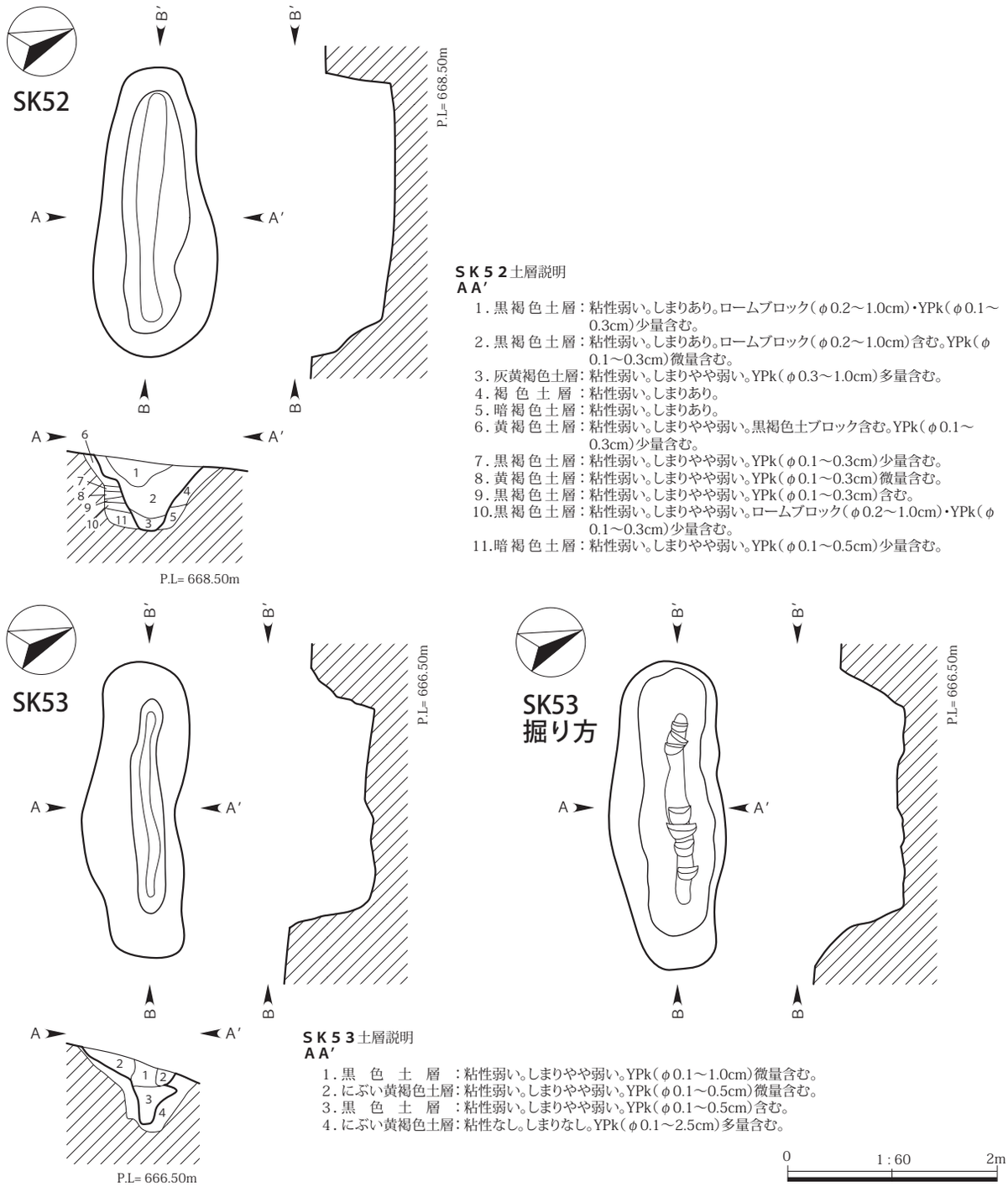


ＳＫ１８土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～7.0cm）多量含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）含む。

ＳＫ２７土層説明
ＡＡ′
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.5cm）微量含む。
2．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）少量含む。
3．オリーブ褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～6.0cm）含む。

0　1：60　2m

第157図　SK18・27実測図（1/60）



SK52土層説明
AA′

1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3. 灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.3～1.0cm）多量含む。
4. 褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
5. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
6. 黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。黒褐色土ブロック含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
7. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
8. 黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
9. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。
10. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
11. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

SK53土層説明
AA′

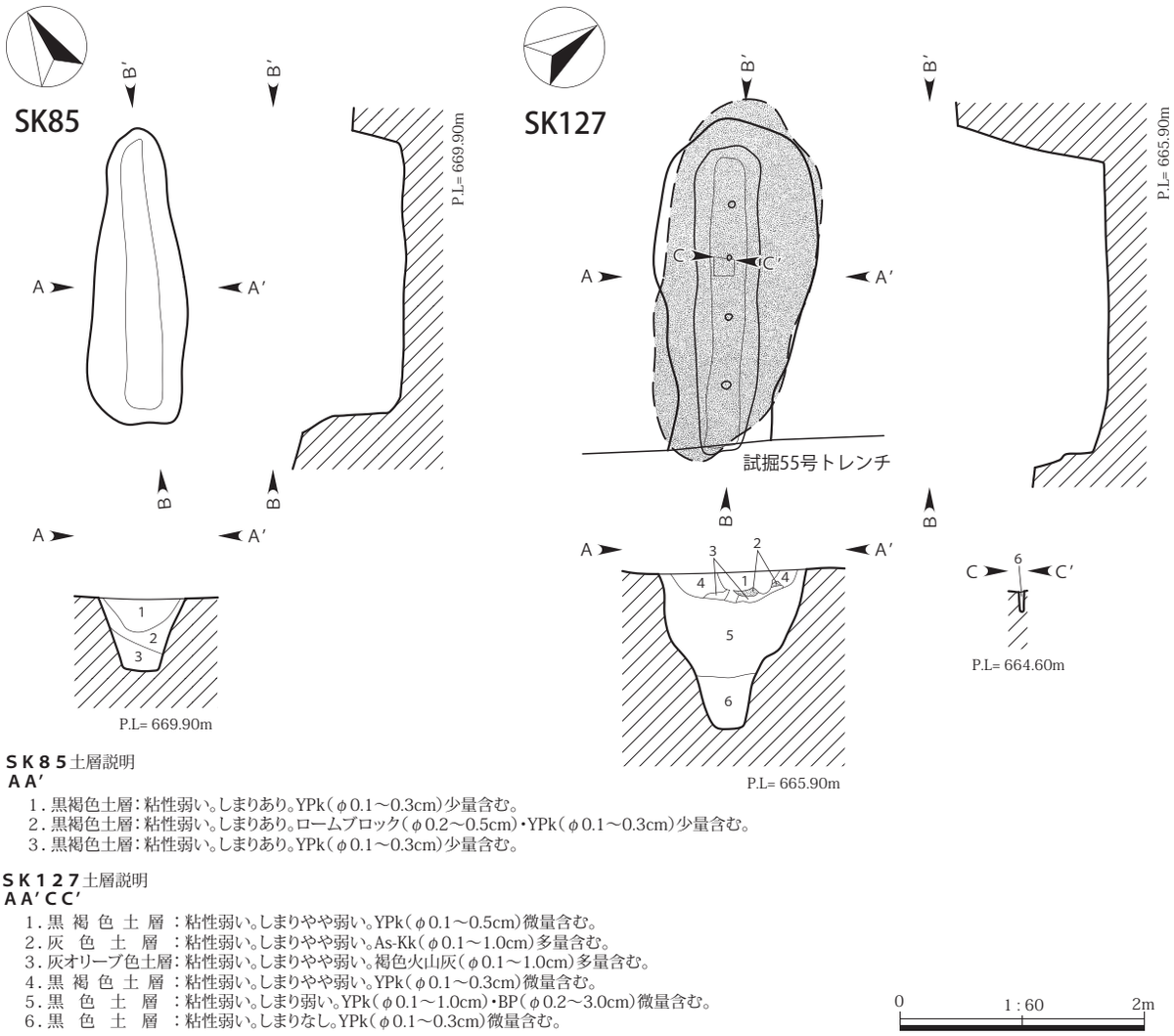
1. 黒　色　土　層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2. にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 黒　色　土　層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）含む。
4. にぶい黄褐色土層：粘性なし。しまりなし。YPk（φ0.1～2.5cm）多量含む。

第158図　SK52・53実測図（1/60）

さ 15㎝である。　**遺物**　縄文土器片２点が出土し、うち１点を図示したが、遺構に伴うものではないと判断したため遺構外出土遺物に掲載した。　**備考**　なし。

SK129（第 160 図／ＰＬ 17）

位置　４－３区Ｓ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土の上層に As-Kk や As-B が堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が長方形を呈する。規模は長軸 290㎝、短軸 136㎝、深さ 146㎝。　**主軸方位**　Ｎ－17°－Ｗ　**壁面**　下位から中位に貼壁が認められる。下位は垂直に、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。長軸方向に並んだ杭痕が５箇所検出された。杭痕は円形で、



ＳＫ８５土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

ＳＫ１２７土層説明
ＡＡ′ＣＣ′
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．灰 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。As-Kk（φ0.1～1.0cm）多量含む。
3．灰オリーブ色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。褐色火山灰（φ0.1～1.0cm）多量含む。
4．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
5．黒 色 土 層 ：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）・BP（φ0.2～3.0cm）微量含む。
6．黒 色 土 層 ：粘性弱い。しまりなし。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

第159図　SK85・127実測図（1/60）

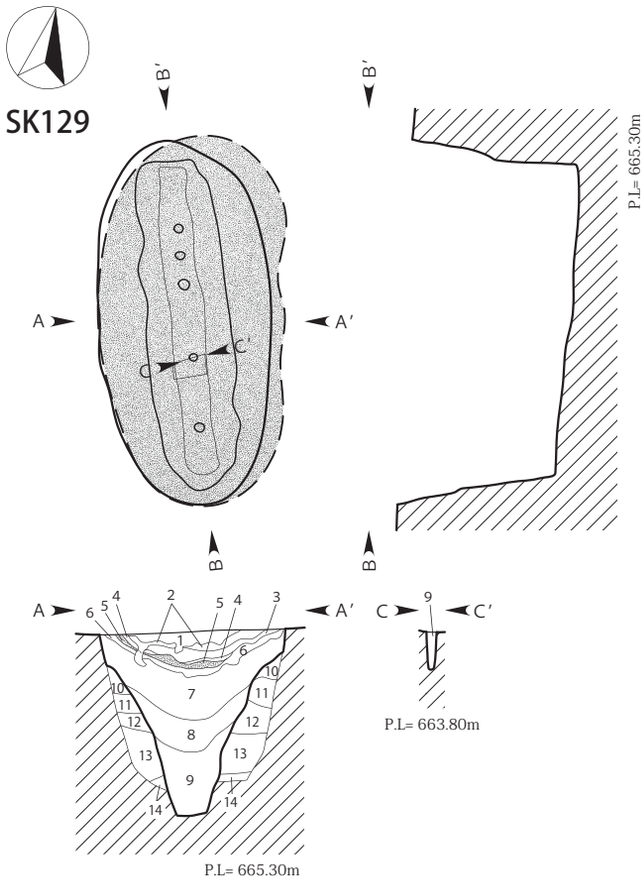
規模は幅５～10㎝、深さ25㎝である。　**遺物**　須恵器の甕片２点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK130（第160図／ＰＬ17）

位置　４－３区Ｑ－13　**重複関係**　SK131・132・151と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土の上層にAs-KkやAs-Bが堆積する。自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が不整楕円形、下面形が隅丸長方形を呈する。規模は長軸208㎝以上、短軸180㎝、深さ128㎝。　**主軸方位**　Ｎ－28°－Ｗ　**壁面**　下位は貼壁が認められる。中位の段差を経て、上位は外傾して立ち上がる。　**底面**　やや中央が窪むが概ね平坦。　**遺物**　土師器片が１点出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

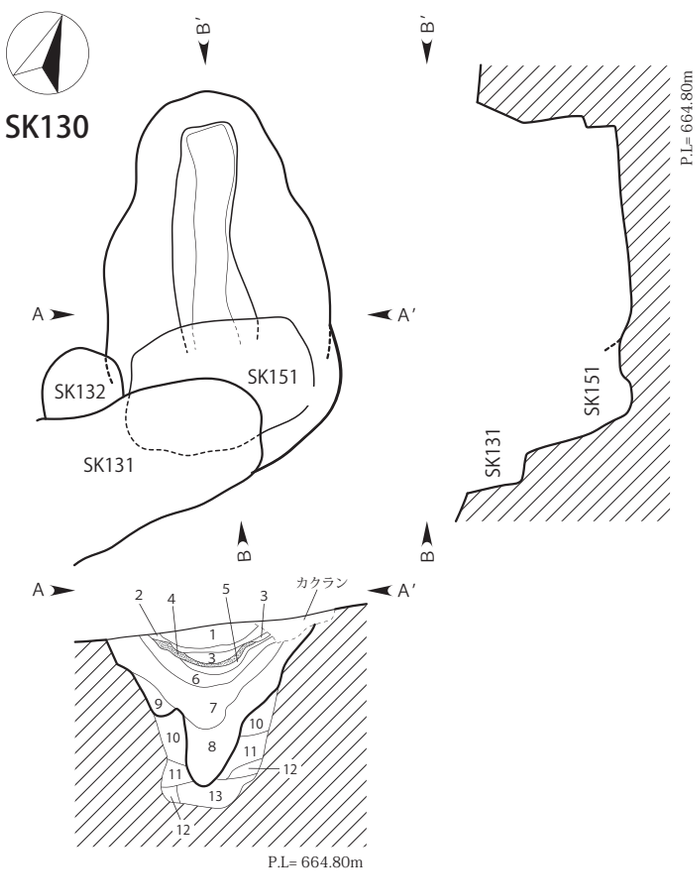
SK151（第161図）

位置　４－３区Ｑ－13　**重複関係**　SK130・131・132と重複し、SK131・132より古く、SK130より新しい。　**遺存状態**　上位はSK131に壊されるが、概ね良好。　**覆土**　褐灰色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　上面形が楕円形、下面形が隅丸長方形を呈する。規模は長軸推定198㎝以上、短軸推定166㎝、深さ60㎝。　**主軸方位**　Ｎ－57°－Ｅ　**壁面**　下位に貼壁が認められる。垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　器種不明の土師器片６点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。



SK129土層説明
AA′CC′

1. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2. 灰オリーブ色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。褐色火山灰（φ0.1～3.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）・As-Kk（φ0.1～4.0cm）微量含む。
3. 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。仮称上野火山灰（φ0.1～5.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4. 褐 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。褐色火山灰（φ0.1～1.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
5. 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。As-Kk（φ0.1～2.0cm）多量含む。
6. にぶい黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。As-B（φ0.1～3.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
7. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）微量含む。
8. 黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
9. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
10. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
11. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
12. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～6.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
13. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）少量含む。
14. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。



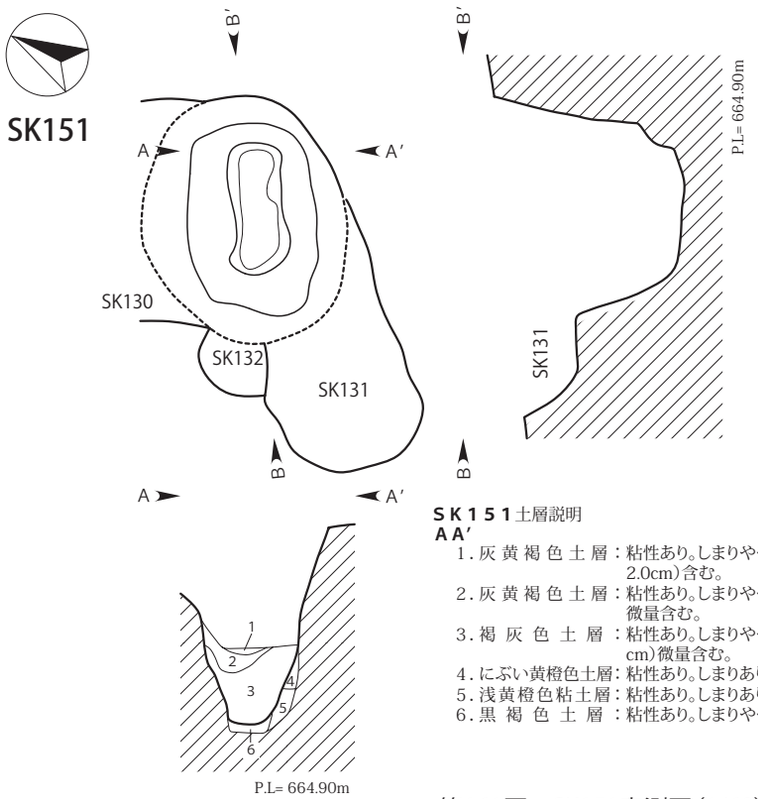
SK130土層説明
AA′

1. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2. 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。仮称上野火山灰（φ0.1～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4. 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。As-Kk（φ0.1～2.0cm）多量含む。
5. 褐 灰 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。As-B（φ0.1～1.0cm）多量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
6. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
7. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
8. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。
9. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
10. 暗 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
11. 暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
12. オリーブ褐色砂層：粘性なし。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）多量含む。
13. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。

カクラン. 黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

0　1：60　2m

第160図　SK129・130実測図（1/60）



SK151土層説明
AA′
1. 灰黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.05～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。
2. 灰黄褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.05～0.1cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
3. 褐灰色土層：粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒（φ0.05～0.1cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
4. にぶい黄橙色土層：粘性あり。しまりあり。
5. 浅黄橙色粘土層：粘性あり。しまりあり。
6. 黒褐色土層：粘性あり。しまりやや弱い。YPk（φ0.5～1.5cm）少量含む。

0　1：60　2m

第161図　SK151実測図（1/60）

（2）焼土遺構

2号焼土遺構（第162図）

位置　4－3区S－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸129㎝、短軸51㎝、深さ14㎝。　**主軸方位**　N－13°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　東に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　火を燃やしたため焼土化した痕跡と考えられる。確認面の層序から、中世に帰属すると考えられる。

3号焼土遺構（第162図）

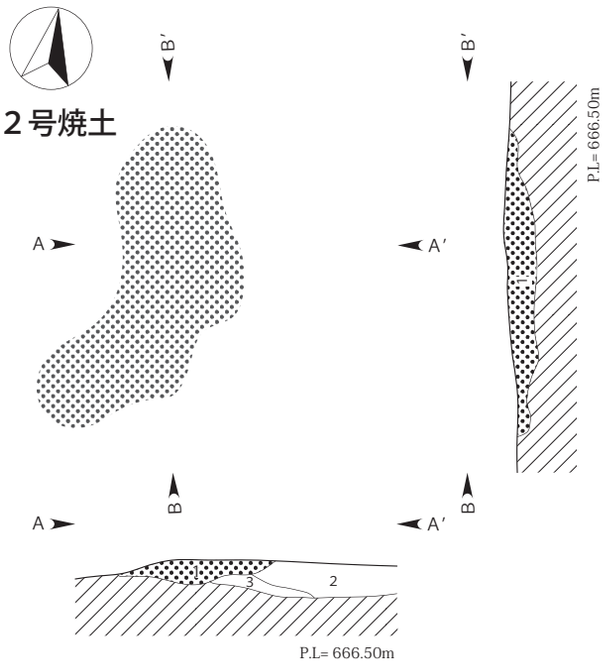
位置　4－3区S－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸64㎝、短軸42㎝、深さ22㎝。　**主軸方位**　N－62°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　火を燃やしたため焼土化した痕跡と考えられる。確認面の層序から、中世に帰属すると考えられる。

7号焼土遺構（第162図）

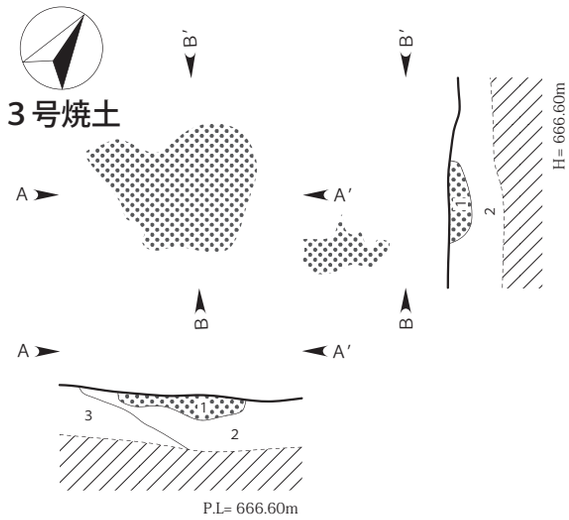
位置　4－4区A－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸60㎝、短軸43㎝、深さ8㎝。　**主軸方位**　N－49°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　確認面の層序から、中世に帰属すると考えられる。

11号焼土遺構（第162図）

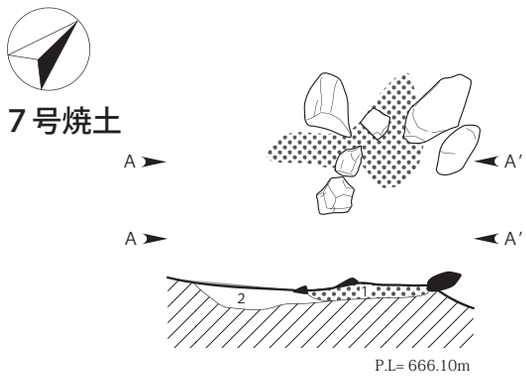
位置　4－4区A－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸104㎝、短軸41㎝、深さ5㎝。　**主軸方位**　N－70°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　確認面の層序から、中世に帰属すると考えら



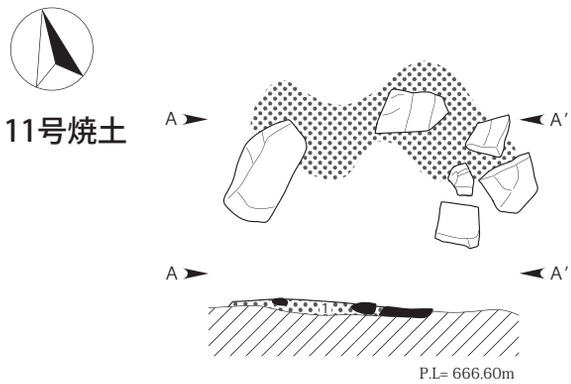
2号焼土土層説明
A A′ B B′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。
2．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。
3．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～2.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。



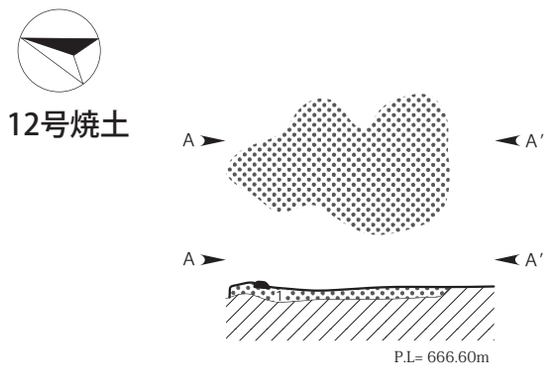
3号焼土土層説明
A A′ B B′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。



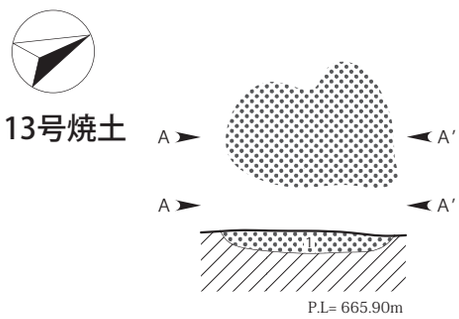
7号焼土土層説明
A A′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。



11号焼土土層説明
A A′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。



12号焼土土層説明
A A′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。



13号焼土土層説明
A A′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。焼土粒（φ0.1～1.0cm）含む。

0　1：30　1m

第162図　2・3・7・11～13号焼土実測図（1/30）

れる。

12 号焼土遺構（第 162 図）

位置　4－4区A－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸 90㎝、短軸 53㎝、深さ 5㎝。　**主軸方位**　N－20°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　確認面の層序から、中世に帰属すると考えられる。

13 号焼土遺構（第 162 図）

位置　4－4区A－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土を基調とする。　**平面形と規模**　不整形を呈する。規模は長軸 68㎝、短軸 50㎝、深さ 8㎝。　**主軸方位**　N－26°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　皿状を呈する。　**遺物**　なし。　**備考**　確認面の層序から、中世に帰属すると考えられる。

第６節　時期不明の遺構と遺物

（1）竪穴状遺構

SX01（第 163 図／ＰＬ 17）

位置　4－4区F－3　**重複関係**　SX02 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸推定 482㎝、短軸 344㎝、深さ 25㎝。　**主軸方位**　N－12°－E　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　やや凹凸がある。　**遺物**　縄文土器片９点と剥片１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　形態に特徴がなく時期を特定し得る出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SX02（第 163 図／ＰＬ 17）

位置　4－4区G－3　**重複関係**　SX01 と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 494㎝、短軸 414㎝、深さ 30㎝。　**主軸方位**　N－46°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　磨石１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　形態に特徴がなく時期を特定し得る出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

（2）土坑

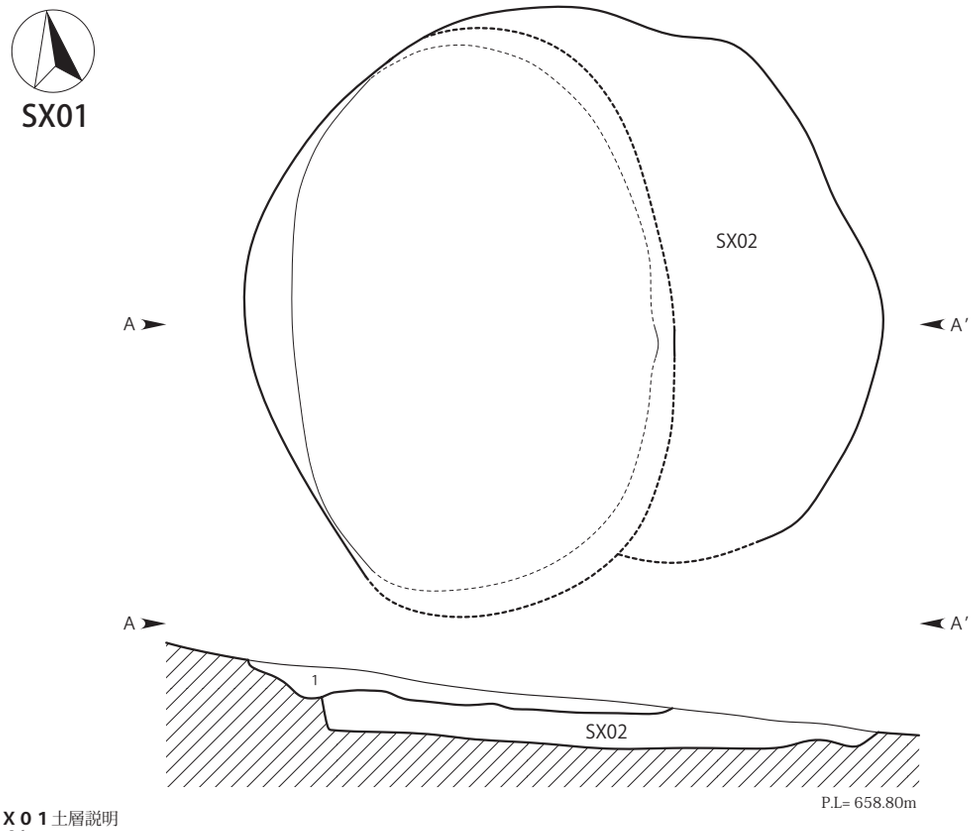
形態に特徴がなく時期を特定し得る出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SK01（第 164 図）

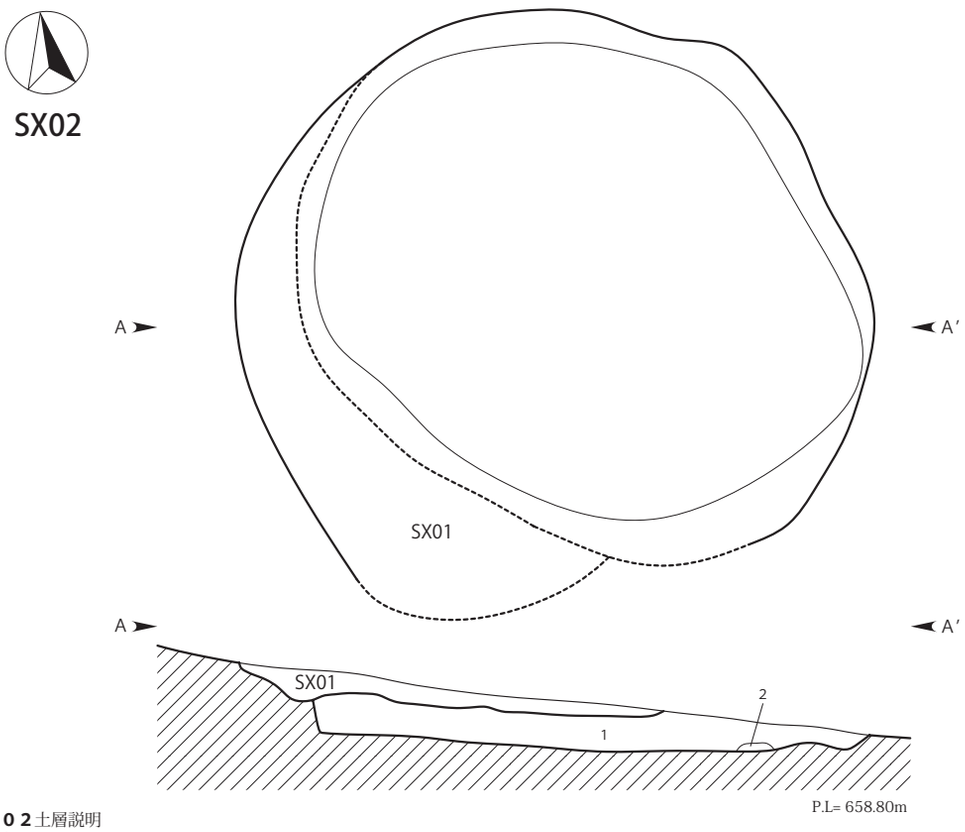
位置　2－94区K－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色～黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 218㎝、短軸 107㎝、深さ 28㎝。　**主軸方位**　N－60°－E　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　北西に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK02（第 164 図）

位置　2－94区F－7　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 113㎝、短軸 103㎝、深さ 54㎝。　**主軸方位**　N－90°－



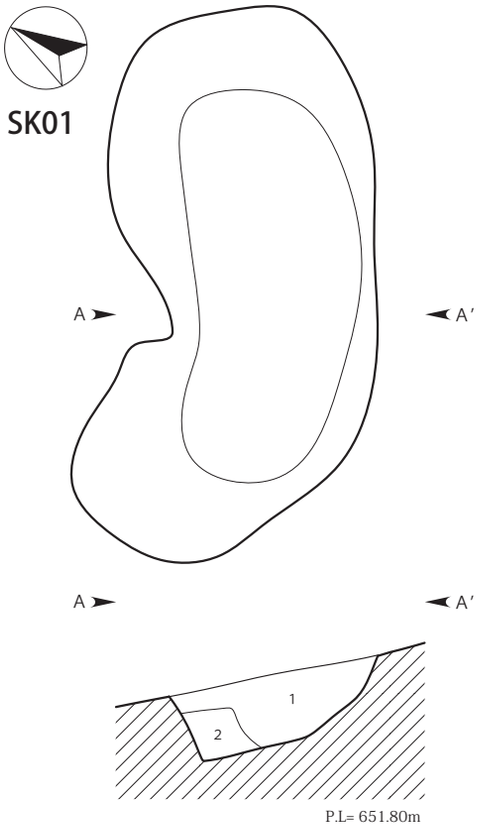
ＳＸ０１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）含む。



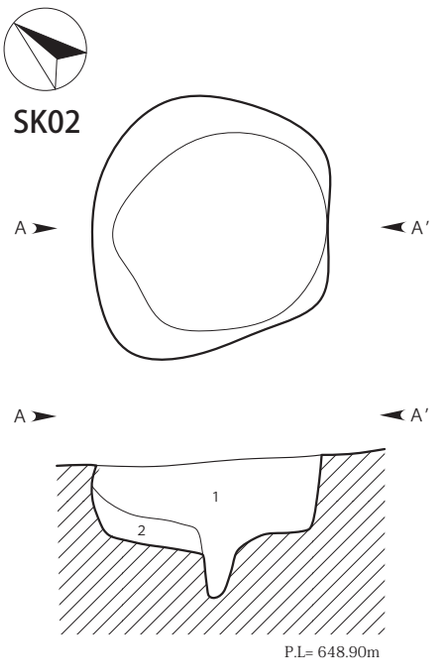
ＳＸ０２土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや強い。YPk（φ0.1～1.0cm）多量含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。

0　1：60　2m

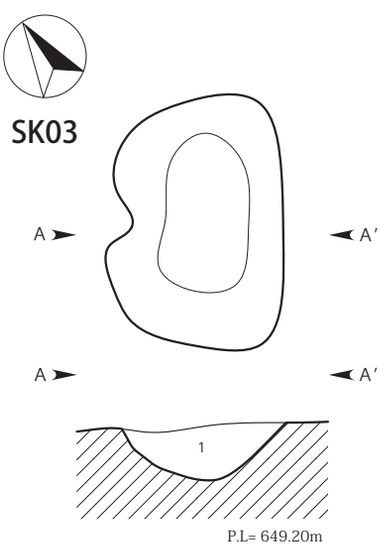
第163図　SX01・02実測図（1/60）



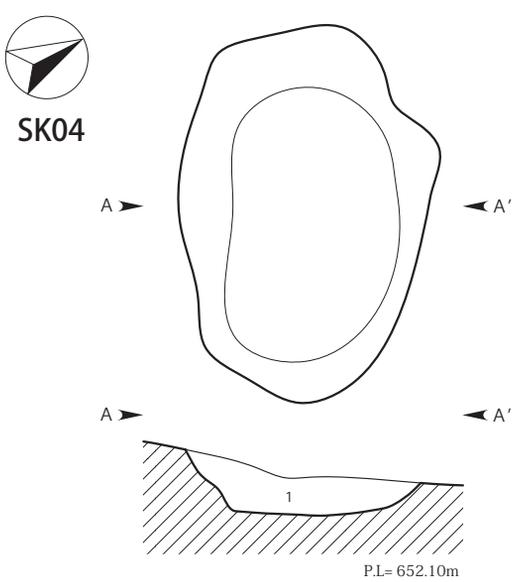
ＳＫ０１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～3.0cm）含む。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～2.0cm）多量含む。



ＳＫ０２土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性あり。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～3.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性あり。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）含む。



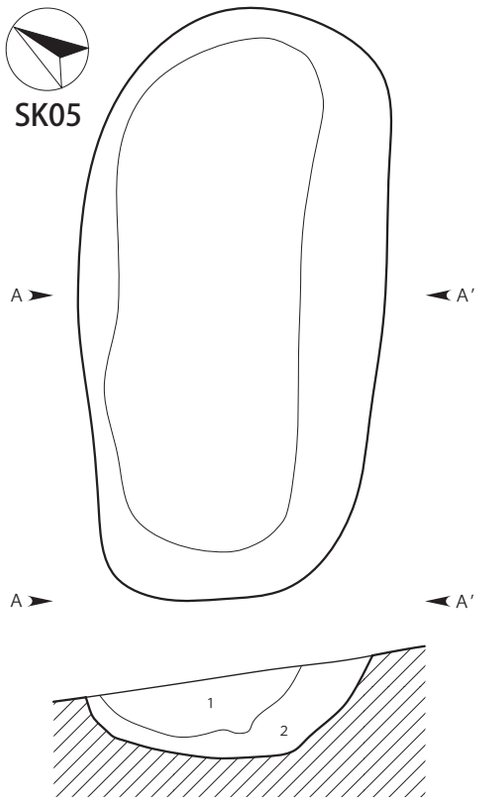
ＳＫ０３土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。



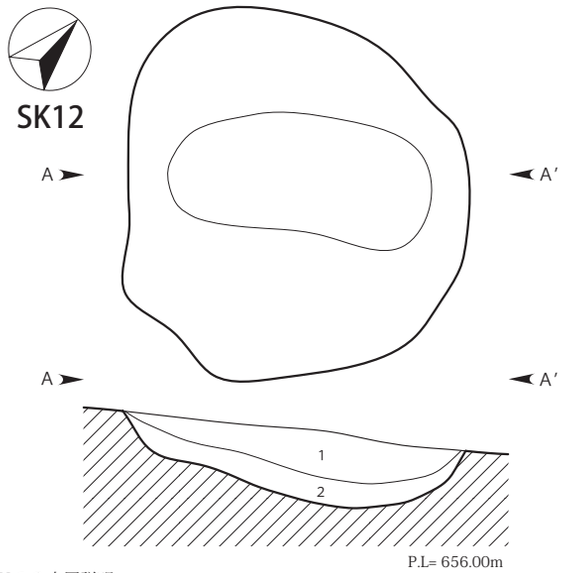
ＳＫ０４土層説明
ＡＡ′
1．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～1.0cm）少量含む。

0　1：30　1m

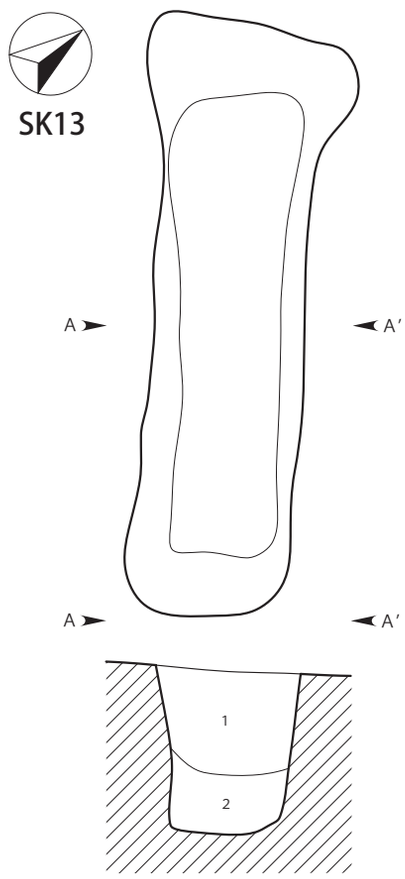
第164図　SK01～04実測図（1/30）



ＳＫ０５土層説明
ＡＡ′
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・ローム ブロック（φ1.0～5.0cm）含む。
2．にぶい黄橙色土層：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ1.0～3.0cm）含む。



ＳＫ１２土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.3～0.5cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。



ＳＫ１３土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）多量含む。ロームブロック（φ1.0～3.0cm）含む。
2．褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。黒褐色土ブロック（φ0.5～1.0cm）少量含む。

0　1：30　1m

第165図　SK05・12・13実測図（1/30）

E　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　中央に窪みを持つ。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK03（第 164 図）

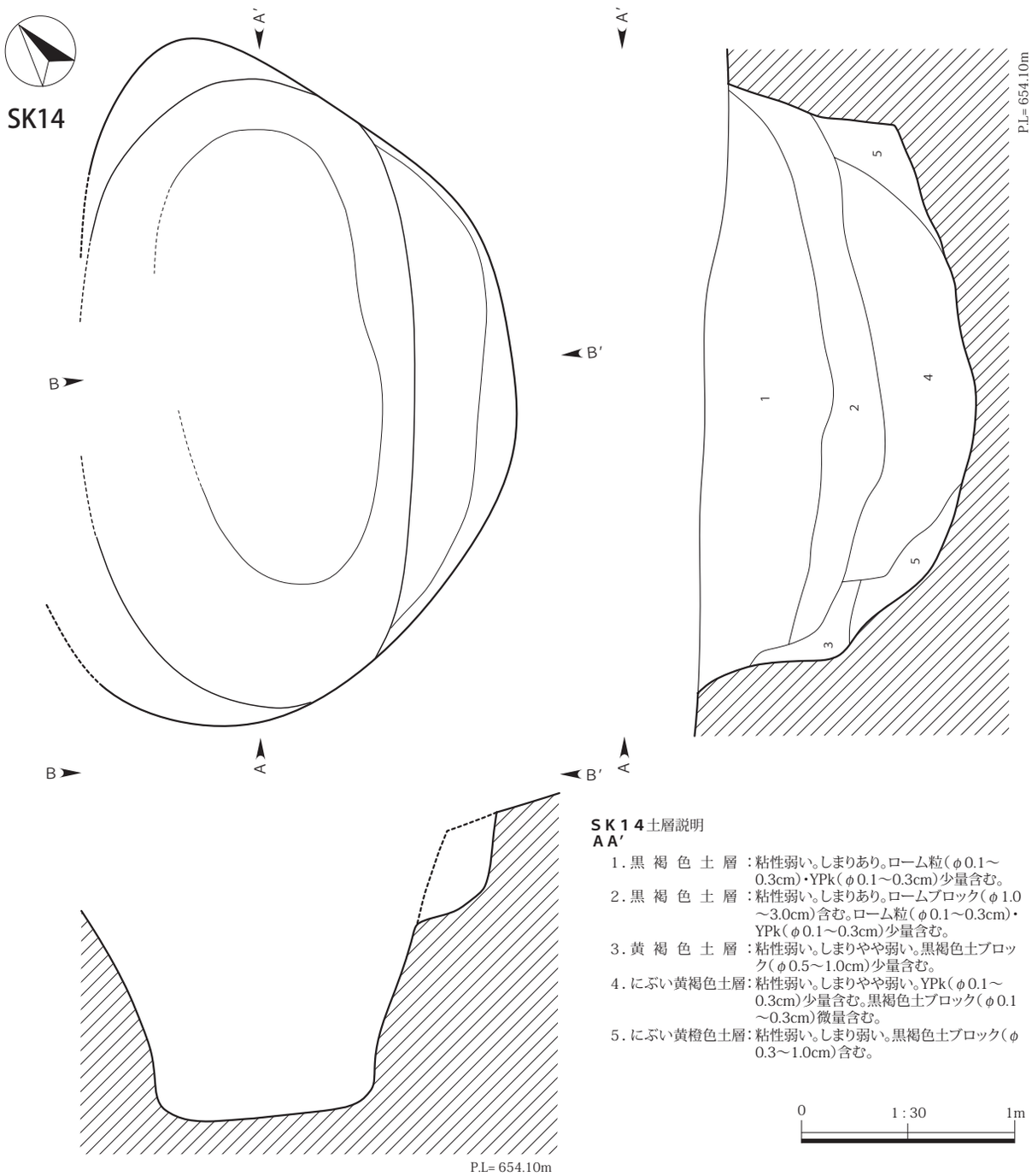
位置　２－94 区Ｆ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 100㎝、短軸 66㎝、深さ 22㎝。　**主軸方位**　Ｎ－40°－Ｅ　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK04（第 164 図）

位置　２－94 区Ｅ－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　にぶい黄褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 150㎝、短軸 98㎝、深さ 19㎝。　**主軸方位**　Ｎ－64°－Ｗ　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK05（第 165 図）

位置　２－94 区Ｃ－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**



第166図　SK14実測図（1/30）

良好。　**覆土**　上層は黒褐色土、下層はにぶい黄橙色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 238㎝、短軸 118㎝、深さ 34㎝。　**主軸方位**　N－59°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK12（第 165 図）

位置　2－93 区R－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色～黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 157㎝、短軸 145㎝、深さ 29㎝。　**主軸方位**　N－76°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって緩やかに傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK13（第 165 図）

位置　２－93 区Ｒ－18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層は黒褐色土、下層は褐色土基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整長方形を呈する。規模は長軸 234㎝、短軸 77㎝、深さ 64㎝。　**主軸方位**　Ｎ－63°－Ｗ　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片５点と剥片１点が出土したが、出土状況から遺構に伴うものではないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

SK14（第 166 図）

位置　２－93 区Ｓ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　北西端は調査区外だが概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 310㎝、短軸 220㎝以上、深さ 126㎝。　**主軸方位**　Ｎ－23°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK19（第 167 図）

位置　４－４区Ｄ－６　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 86㎝、短軸 70㎝、深さ 22㎝。　**主軸方位**　Ｎ－42°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK20（第 167 図）

位置　４－３区Ｔ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 100㎝、短軸 78㎝、深さ 69㎝。　**主軸方位**　Ｎ－13°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央が窪む。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK21（第 167 図）

位置　４－４区Ａ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 88㎝、短軸 74㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　Ｎ－19°－Ｅ　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK25（第 167 図）

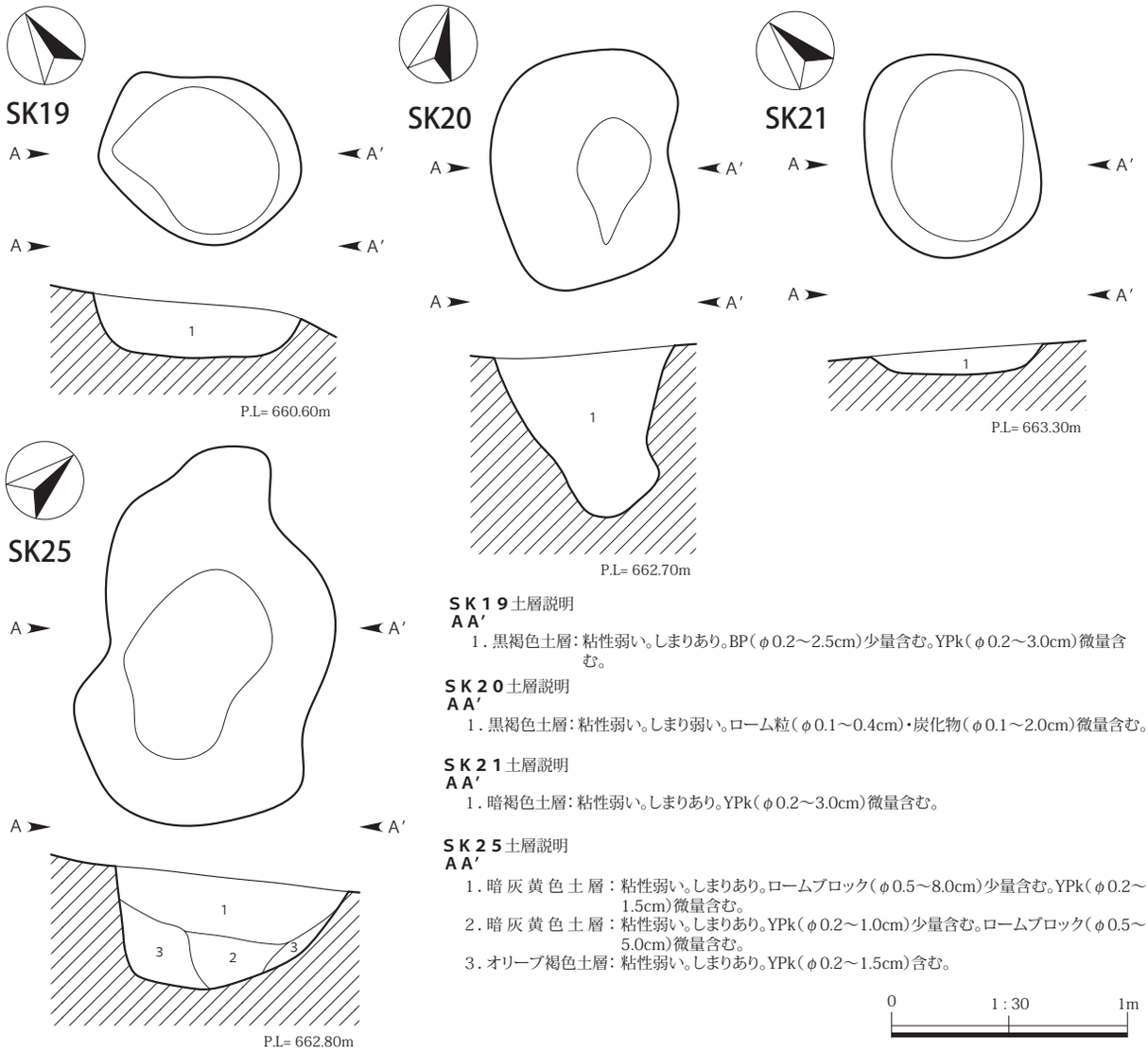
位置　４－４区Ａ－７　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 160㎝、短軸 100㎝、深さ 48㎝。　**主軸方位**　Ｎ－26°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　南西に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK31（第 168 図）

位置　４－４区Ｅ－７　**重複関係**　SK30 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　方形を呈する。規模は長軸 100㎝、短軸 93㎝、深さ 47㎝。　**主軸方位**　Ｎ－26°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央が窪む。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK43（第 168 図）

位置　２－94 区Ｇ－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　にぶい黄褐色土～暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 312㎝、短軸 100㎝、深さ 46㎝。　**主軸方位**　Ｎ－81°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央が窪む。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



第167図　SK19～21・25実測図（1/30）

SK46（第169図／ＰＬ17）

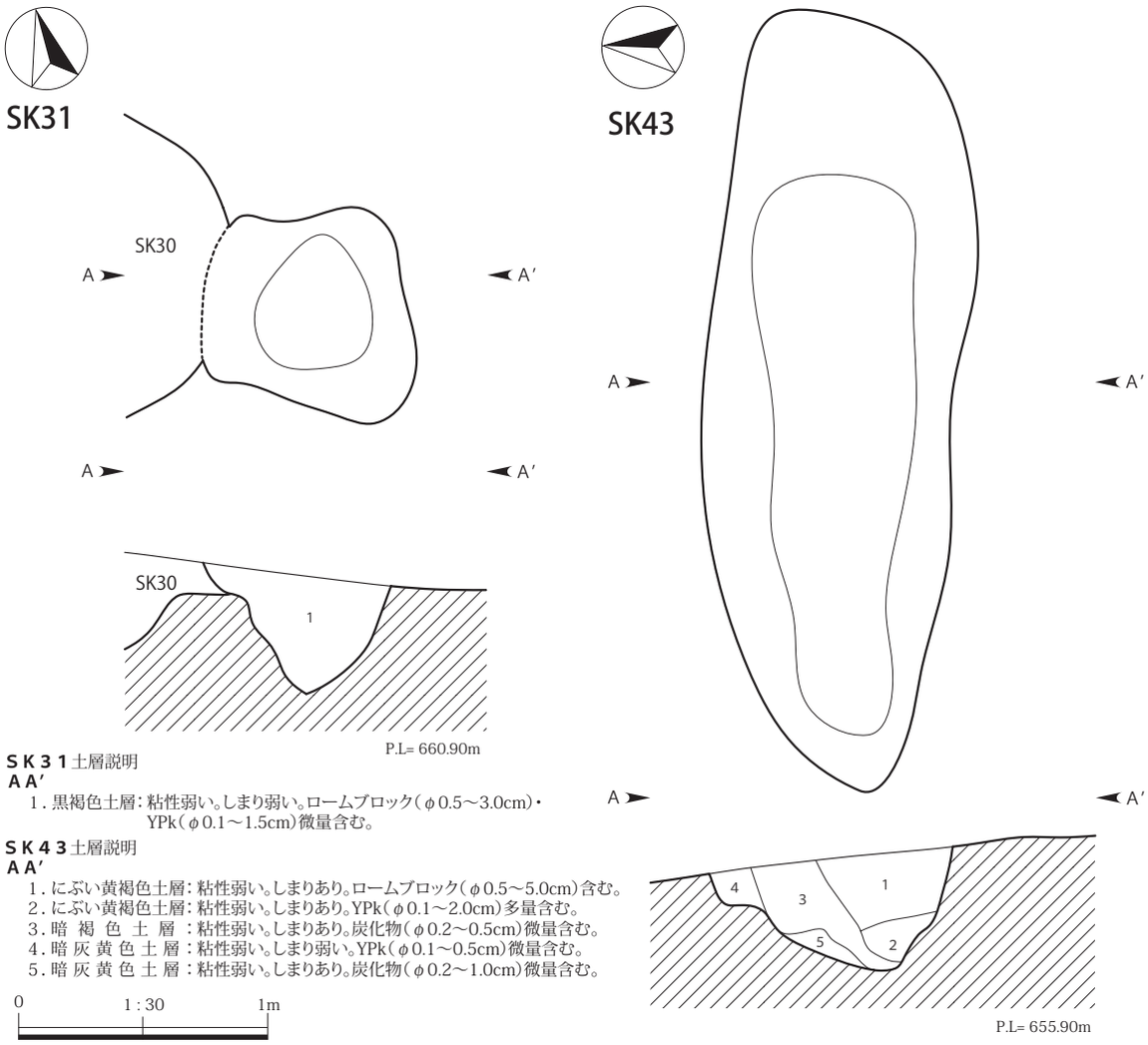
位置　４－３区Ｉ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸106㎝、短軸92㎝、深さ36㎝。　**主軸方位**　Ｎ－61°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央が窪む。　**遺物**　なし。　**備考**　覆土中から多量の礫が検出された。

SK47（第169図）

位置　４－３区Ｉ－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸150㎝、短軸85㎝、深さ25㎝。　**主軸方位**　Ｎ－18°－Ｅ　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　北に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK48（第169図）

位置　４－３区Ｊ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸72㎝、短軸52㎝、深さ22㎝。　**主軸方位**　Ｎ－8°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



ＳＫ３１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。

ＳＫ４３土層説明
ＡＡ′
1．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）含む。
2．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.0cm）多量含む。
3．暗 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。炭化物（φ0.2～0.5cm）微量含む。
4．暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
5．暗 灰 黄 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。炭化物（φ0.2～1.0cm）微量含む。

第168図　SK31・43実測図（1/30）

SK51（第 169 図）

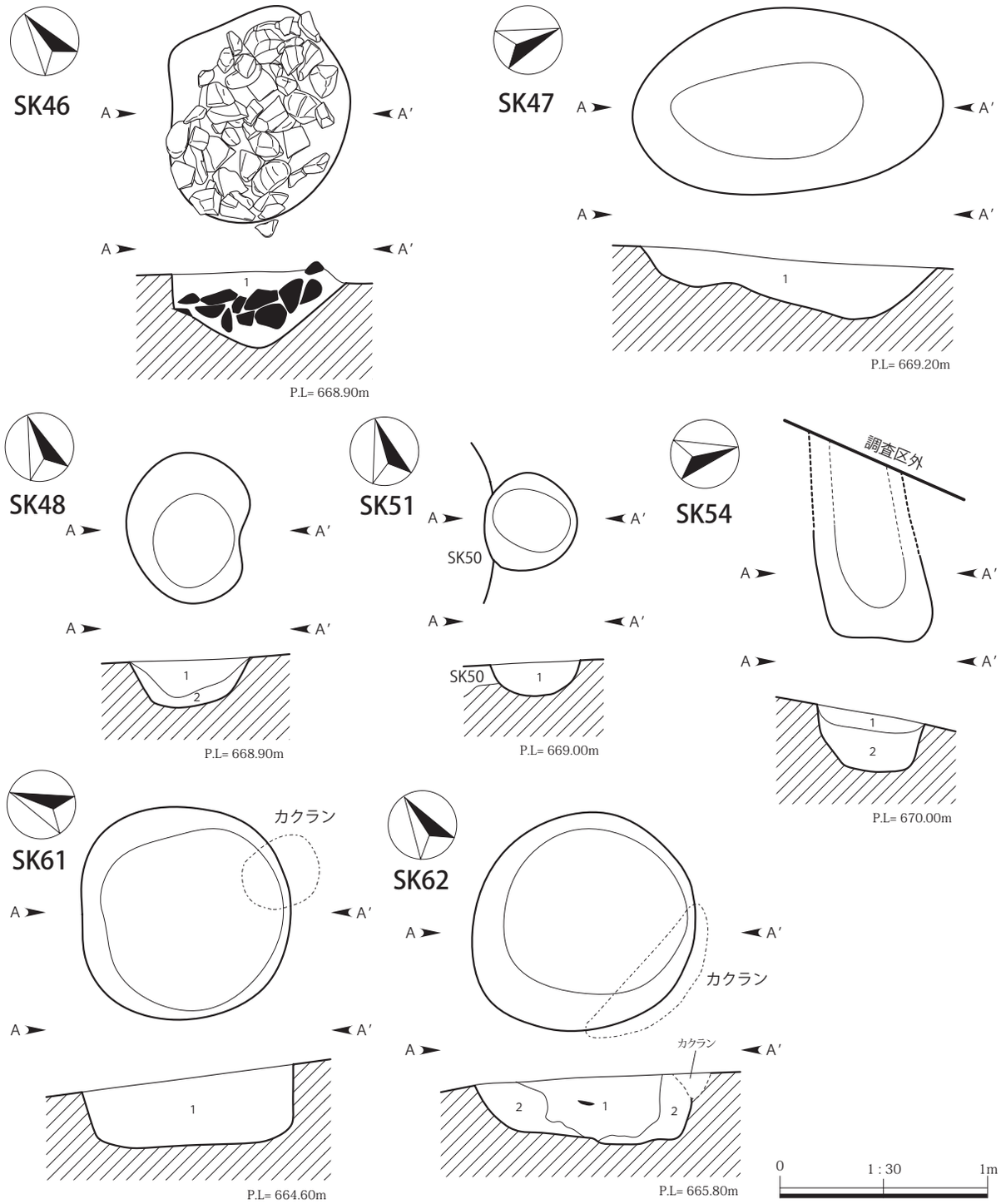
位置　４－３区Ｊ－16　**重複関係**　SK50 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 48㎝、短軸 45㎝、深さ 16㎝。　**主軸方位**　Ｎ－34°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　須恵器の甕片１点が出土したが、出土状況から遺構に伴うものではないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

SK54（第 169 図）

位置　４－３区Ｆ－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　西端は調査区外だが概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 55㎝以上、短軸 43㎝、深さ 27㎝。　**主軸方位**　Ｎ－85°－Ｗ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　SD06 の延長上に位置し、主軸方位も近似するため、SD06 の一部の可能性がある。

SK61（第 169 図）

位置　４－３区Ｔ－10　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 104㎝、短軸 104㎝、深さ 34㎝。　**主軸方位**　Ｎ－47°－Ｗ　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。



ＳＫ４６土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

ＳＫ４８土層説明
ＡＡ′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりなし。ロームブロック（φ0.5～6.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりなし。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。

ＳＫ５４土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりなし。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）少量含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりなし。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）少量含む。炭化物（φ0.3～1.0cm）微量含む。

ＳＫ４７土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～2.0cm）少量含む。

ＳＫ５１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

ＳＫ６１土層説明
ＡＡ′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・YPk（φ0.2～3.0cm）・BP（φ0.2～1.5cm）微量含む。

ＳＫ６２土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。BP（φ0.2～4.0cm）少量含む。YPk（φ0.2～1.0cm）微量含む。
2．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～2.0cm）微量含む。

第169図　SK46～48・51・54・61・62実測図（1/30）

SK62（第 169 図）

位置　4－3区T－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 110㎝、短軸 104㎝、深さ 33㎝。　**主軸方位**　N－76°－E　**壁面**　南東側がオーバーハングする。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片 1 点が出土したが、出土状況から遺構に伴うものではないと判断し、図示しなかった。　**備考**　なし。

SK64（第 170 図）

位置　4－4区A－11　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 125㎝、短軸 90㎝、深さ 31㎝。　**主軸方位**　N－4°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK65（第 170 図）

位置　4－3区T－12　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　上層は黒褐色土、下層は褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 126㎝、短軸 90㎝、深さ 40㎝。　**主軸方位**　N－54°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　種別不明鉄製品が 1 点、種別不明古銭 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK71（第 170 図）

位置　4－3区Q－9　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 94㎝、短軸 74㎝、深さ 41㎝。　**主軸方位**　N－63°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK74（第 170 図）

位置　4－3区S－13　**重複関係**　SD18・26 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 230㎝、短軸 105㎝、深さ 32㎝。　**主軸方位**　N－36°－E　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK76（第 170 図）

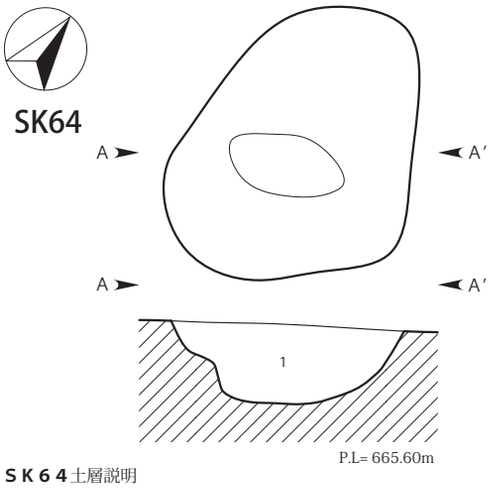
位置　4－3区T－13　**重複関係**　SI02・SD18 と重複し、SD18 より古く、SI02 より新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 155㎝、短軸 134㎝、深さ 46㎝。　**主軸方位**　N－42°－W　**壁面**　南西側は垂直に立ち上がり、他の壁面は外傾して立ち上がる。　**底面**　南西に向かって傾斜する。　**遺物**　剥片 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK77（第 171 図）

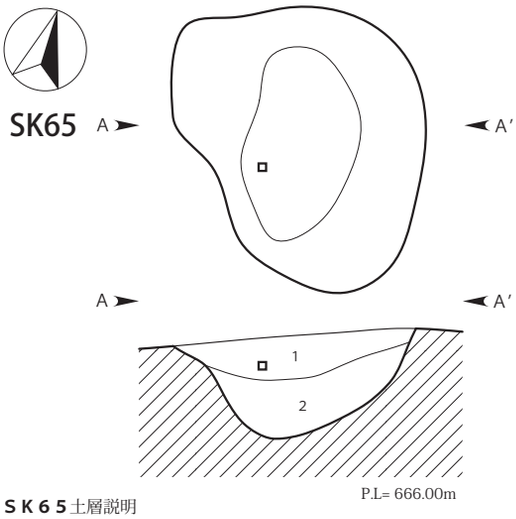
位置　4－3区J－14　**重複関係**　SD32 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 146㎝、短軸 90㎝、深さ 41㎝。　**主軸方位**　N－28°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　西に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK78（第 171 図）

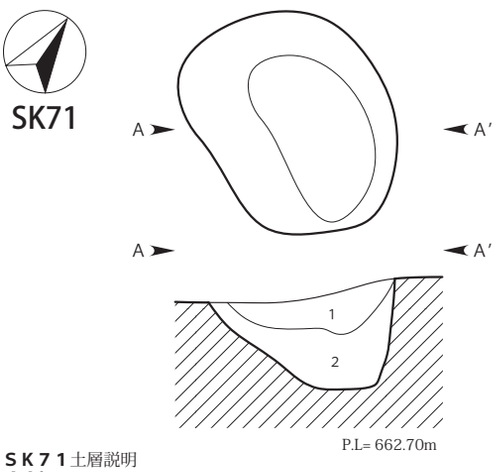
位置　4－3区J－19　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　南端部が調査区外だが概ね良好。　**覆土**　褐灰色



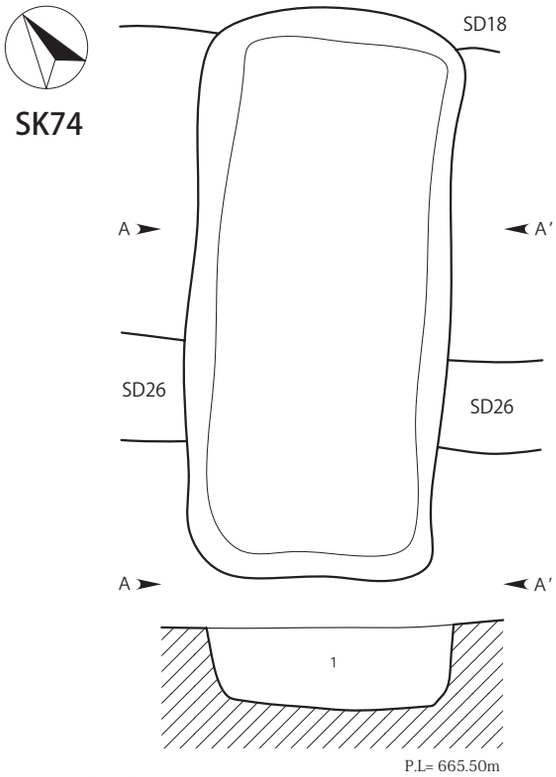
ＳＫ６４土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）含む。



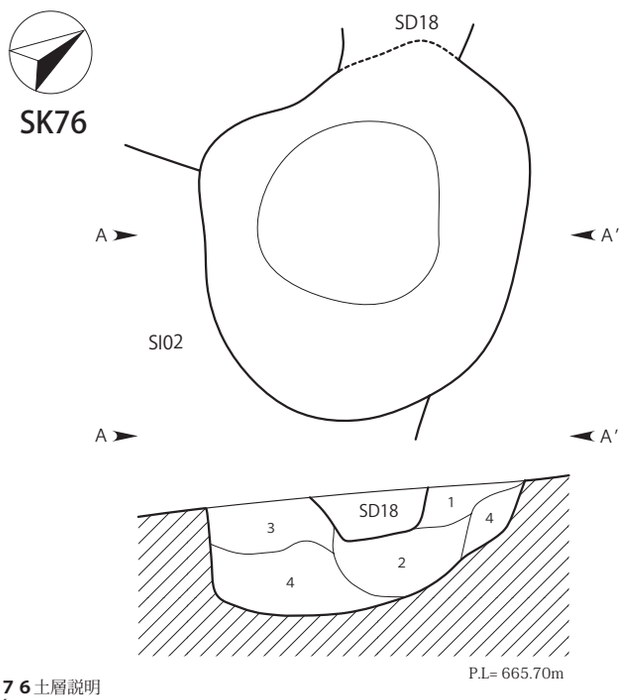
ＳＫ６５土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）・YPk（φ0.1～2.5cm）少量含む。
2．褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～3.0cm）少量含む。



ＳＫ７１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.5～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。



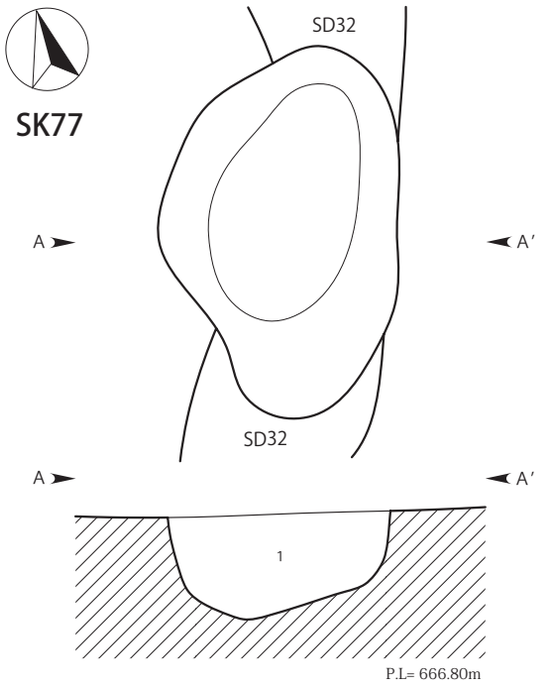
ＳＫ７４土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）少量含む。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。



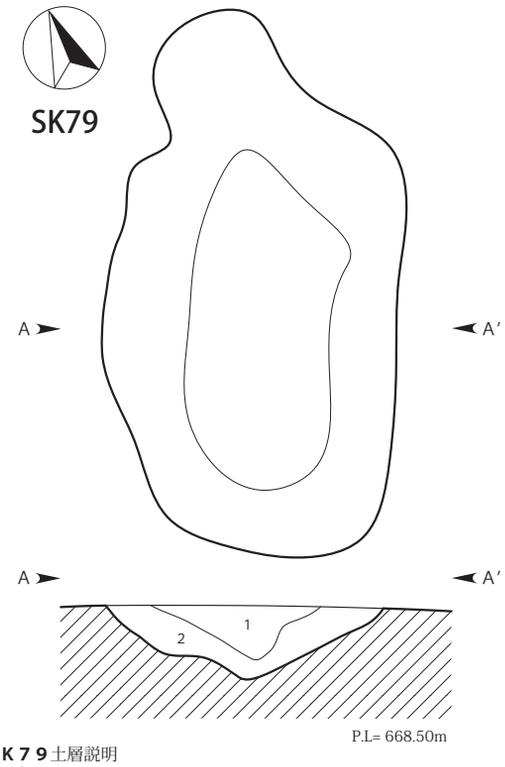
ＳＫ７６土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。焼土粒（φ0.1～0.3cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

0　1：30　1m

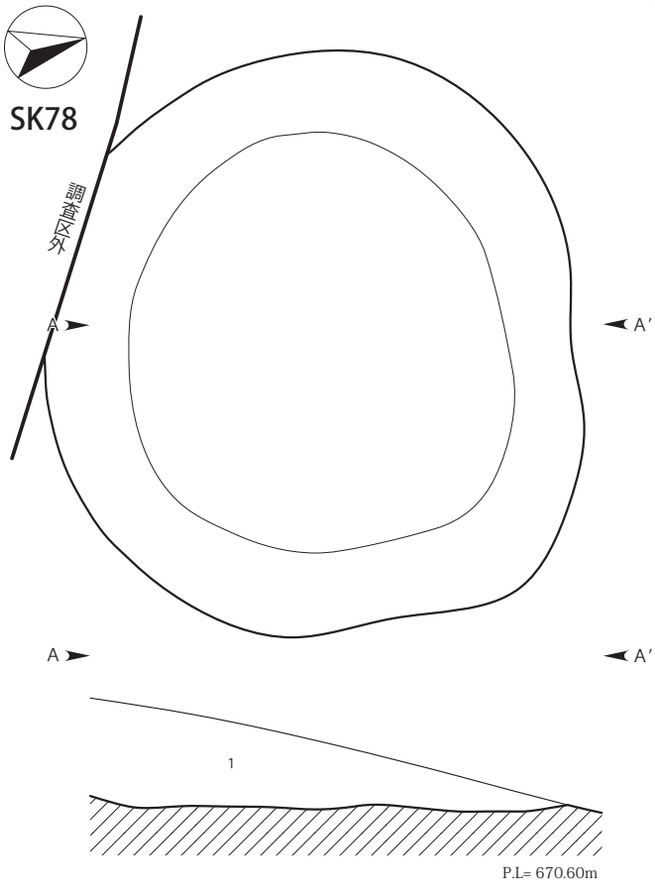
第170図　SK64・65・71・74・76実測図（1/30）



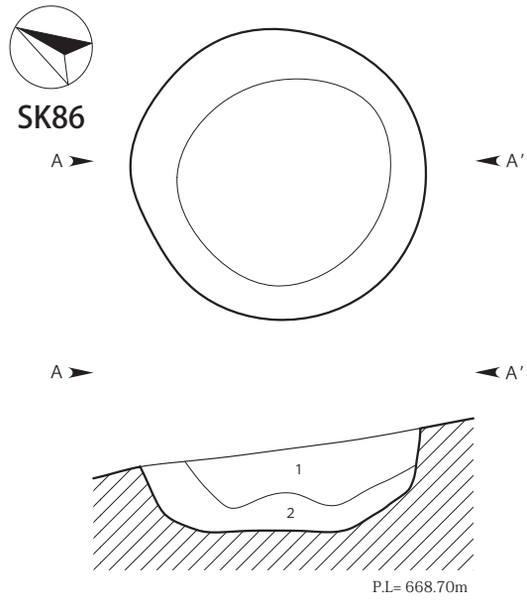
ＳＫ７７土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）多量含む。黒褐色土ブロック含む。



ＳＫ７９土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）含む。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。



ＳＫ７８土層説明
ＡＡ′
1．褐灰色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。



ＳＫ８６土層説明
ＡＡ′
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）・炭化物（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～0.5cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第171図　SK77～79・86実測図（1/30）

土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 240㎝、短軸 225㎝、深さ 40㎝。　**主軸方位**　N－68°－E　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK79（第 171 図）

位置　4－3区G－15　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　不整楕円形を呈する。規模は長軸 220㎝、短軸 114㎝、深さ 29㎝。　**主軸方位**　N－17°－E　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に向かって傾斜する。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK86（第 171 図）

位置　4－3区L－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 118㎝、短軸 115㎝、深さ 35㎝。　**主軸方位**　N－37°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK90（第 172 図）

位置　4－3区N－9　**重複関係**　SN01 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　灰黄褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 90㎝、短軸 70㎝、深さ 11㎝。　**主軸方位**　N－82°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK92（第 172 図）

位置　4－3区R－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　オリーブ褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 99㎝、短軸 89㎝、深さ 51㎝。　**主軸方位**　N－82°－W　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK94（第 172 図）

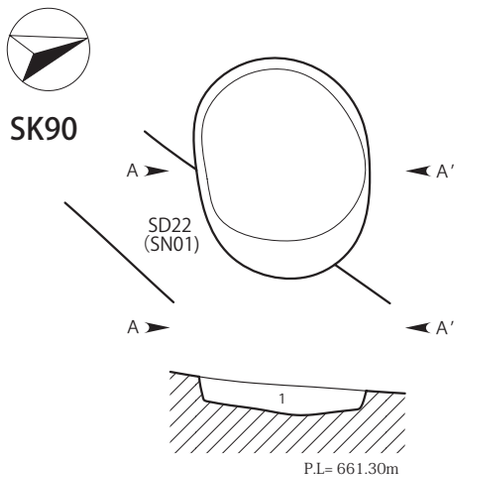
位置　4－3区N－9　**重複関係**　SN01 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 96㎝、短軸 76㎝、深さ 57㎝。　**主軸方位**　N－64°－W　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

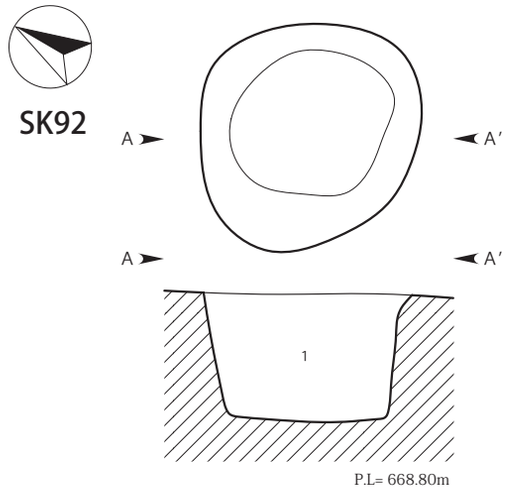
SK111（第 172・176 図／第 24 表／ＰＬ 21）

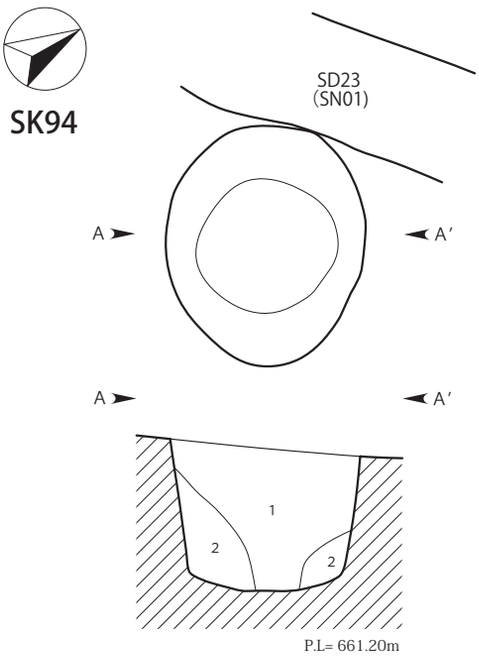
位置　4－3区M－18　**重複関係**　SI03 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　北側はカクランにより上部が破壊される。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 122㎝、短軸 98㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－49°－W　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　土師器甕が 23 点、須恵器の椀が 1 点、羽釜が 1 点、器種不明の須恵器片 1 点、陶器 2 点が出土し、土師器甕・須恵器椀・羽釜・陶器各 1 点を図示した。　**備考**　遺物は SI03 からの混入と考えられる。

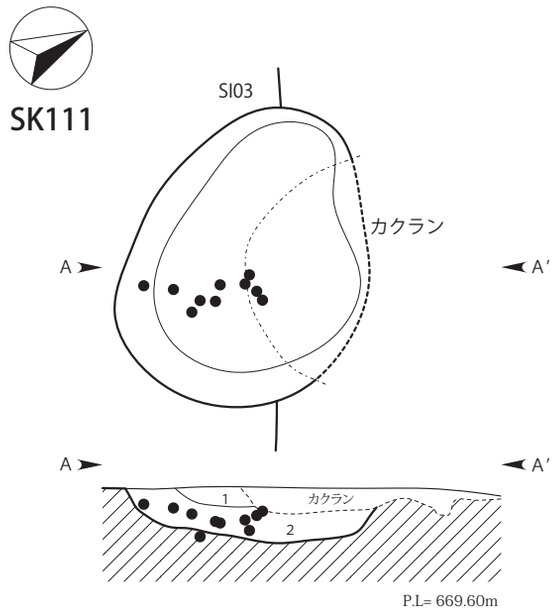
SK112（第 172 図）

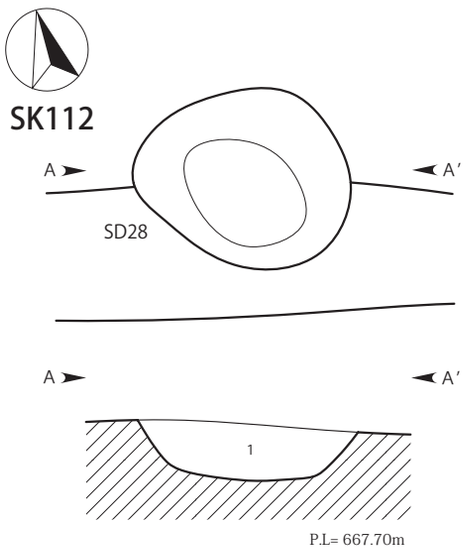
位置　4－3区K－15　**重複関係**　SD28 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 82㎝、短軸 70㎝、深さ 22㎝。　**主軸方位**　N－43°－W　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。











ＳＫ９０土層説明
ＡＡ′
1．灰黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。

ＳＫ９２土層説明
ＡＡ′
1．オリーブ褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～1.5cm）・BP（φ0.2～2.0cm）微量含む。

ＳＫ９４土層説明
ＡＡ′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～2.5cm）・炭化物（φ0.3～2.0cm）微量含む。
2．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.2～2.5cm）含む。

ＳＫ１１１土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物（φ0.2～1.5cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

ＳＫ１１２土層説明
ＡＡ′
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～5.0cm）少量含む。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）微量含む。

0　1：30　1m

第172図　SK90・92・94・111・112実測図（1/30）

SK113（第 173 図）

位置　4－3区O－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 122㎝、短軸 68㎝、深さ 30㎝。　**主軸方位**　N－87°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　須恵器片 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　なし。

SK116（第 173 図）

位置　4－3区R－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 108㎝、短軸 80㎝、深さ 26㎝。　**主軸方位**　N－30°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK117（第 173 図）

位置　4－3区K－16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 94㎝、短軸 84㎝、深さ 18㎝。　**主軸方位**　N－85°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK119（第 173 図）

位置　4－3区S－14　**重複関係**　SI02 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 304㎝、短軸 96㎝、深さ 63㎝。　**主軸方位**　N－45°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　縄文土器片 1 点、土師器片 2 点、羽釜 1 点、須恵器片 2 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　羽釜など平安時代の遺物が出土しているが、SI02 からの流入の可能性も考えられるため、時期不明とした。

SK123（第 174 図）

位置　4－3区M－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 112㎝、短軸 102㎝、深さ 34㎝。　**主軸方位**　N－42°－E　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

SK124（第 174 図）

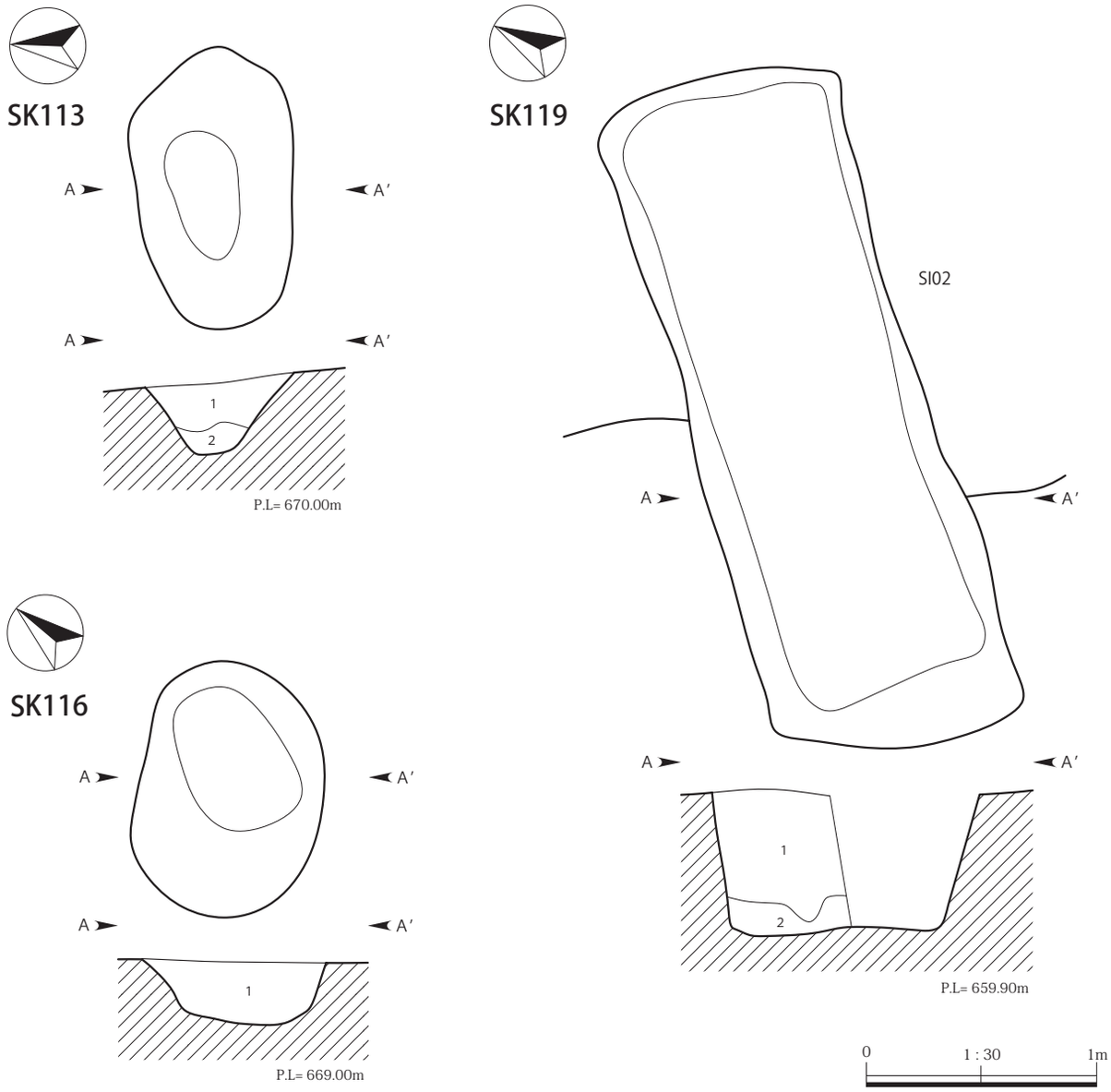
位置　4－3区M－17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 136㎝、短軸 110㎝、深さ 64㎝。　**主軸方位**　N－25°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　中央に窪みを持つ。　**遺物**　なし。　**備考**　調査段階では掘り足りなかったが、平安時代の陥し穴である可能性がある。

SK131（第 175 図）

位置　4－3区Q－13　**重複関係**　SK130・132・151 と重複し、SK132 より古く、SK130・151 より新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　隅丸長方形を呈する。規模は長軸 236㎝、短軸 108㎝、深さ 50㎝。　**主軸方位**　N－45°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　土師器甕片が 7 点出土し、状態の良いもの 1 点を図示したが、遺構に伴うものではないと判断したため遺構外出土遺物に掲載した。　**備考**　なし。

SK132（第 175 図）

位置　4－3区Q－13　**重複関係**　SK130・131 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。



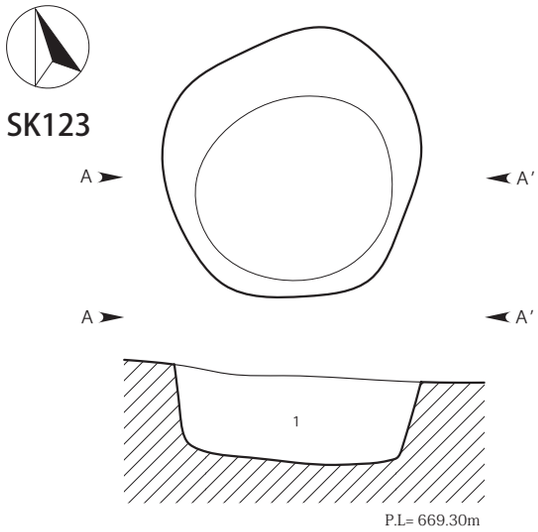
ＳＫ１１３土層説明
ＡＡ′
1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ローム粒（φ0.1～0.4cm）・ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

ＳＫ１１６土層説明
ＡＡ′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）・BP（φ0.2～3.0cm）微量含む。

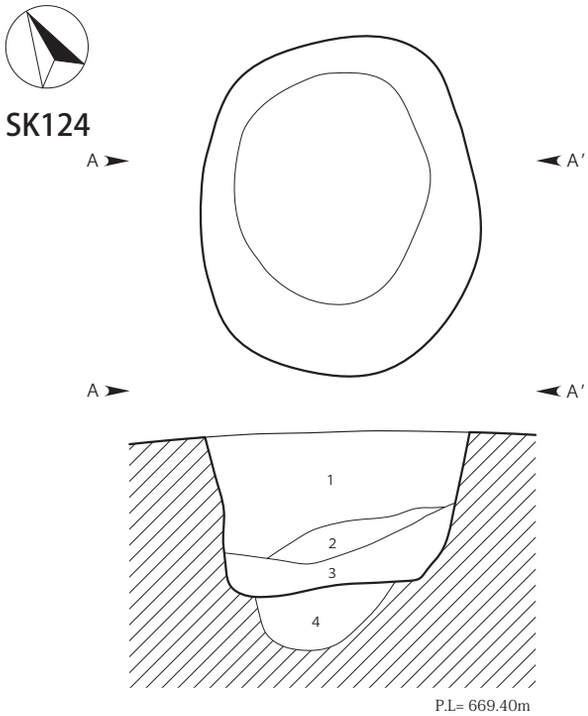
ＳＫ１１７土層説明
ＡＡ′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）・BP（φ0.2～1.0cm）微量含む。

ＳＫ１１９土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～2.0cm）含む。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

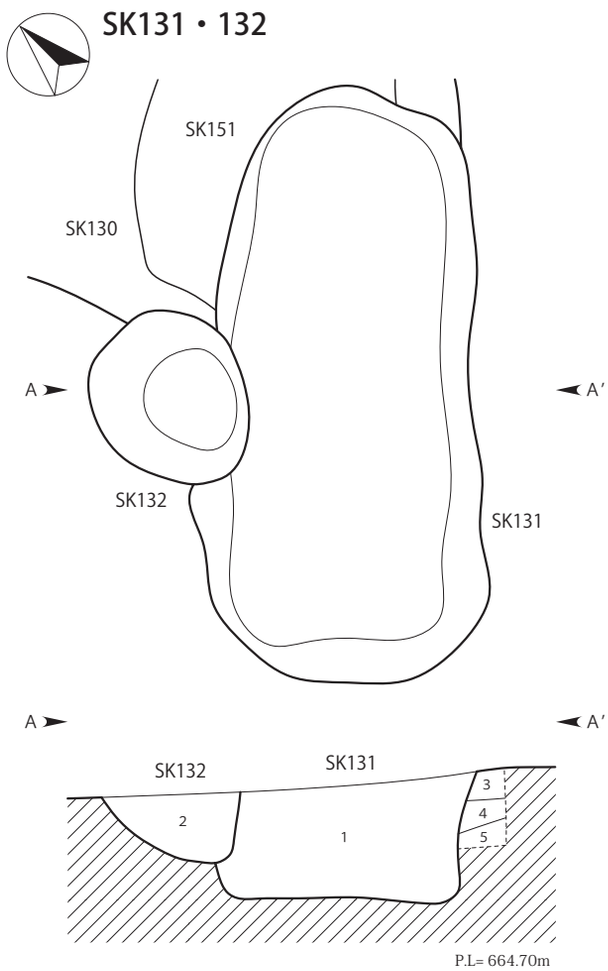
第173図　SK113・116・117・119実測図（1/30）



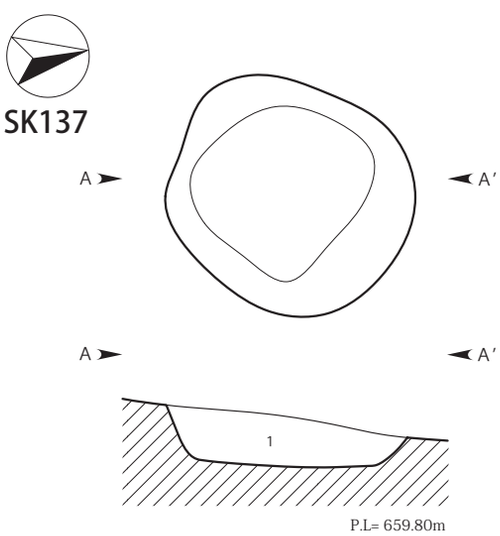
ＳＫ１２３土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.3～0.5cm）多量含む。



ＳＫ１２４土層説明
ＡＡ′
1．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～3.0cm）少量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。
3．黒 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い 。YPk（φ0.1～2.0cm）微量含む。
4．黄褐色砂層：粘性なし。しまりあり。YPk（φ0.1～4.0cm）多量含む。

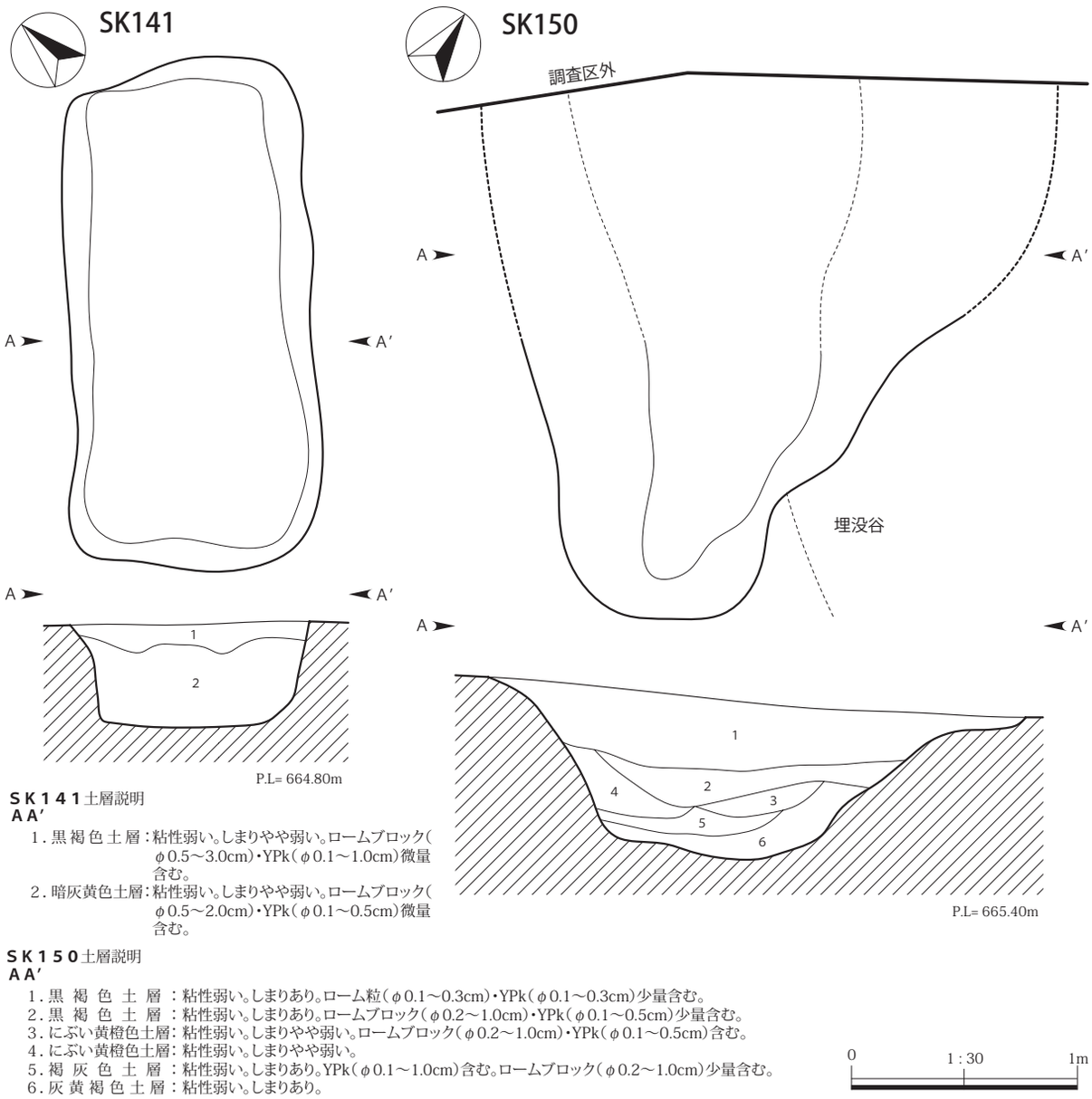


ＳＫ１３１・１３２土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）微量含む。



ＳＫ１３７土層説明
ＡＡ′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりなし。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。

第174図　SK123・124・131・132・137実測図（1/30）



ＳＫ１４１土層説明
ＡＡ′
1．黒 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
2．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

ＳＫ１５０土層説明
ＡＡ′
1．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2．黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
3．にぶい黄橙色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）含む。
4．にぶい黄橙色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。
5．褐 灰 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。ロームブロック（φ0.2～1.0cm）少量含む。
6．灰 黄 褐 色 土 層：粘性弱い。しまりあり。

第175図　SK141・150実測図（1/30）

覆土　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 73㎝以上、短軸 61㎝、深さ 28㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 18°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　南東に向かって傾斜する。　**遺物**　縄文土器片２点が出土したが、小破片のため図示しなかった。出土状況から遺構に伴うものではないと判断される。　**備考**　なし。

SK137（第 175 図）

位置　４－４区Ｄ－３　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　円形を呈する。規模は長軸 100㎝、短軸 94㎝、深さ 20㎝。　**主軸方位**　Ｎ－ 6°－Ｅ　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

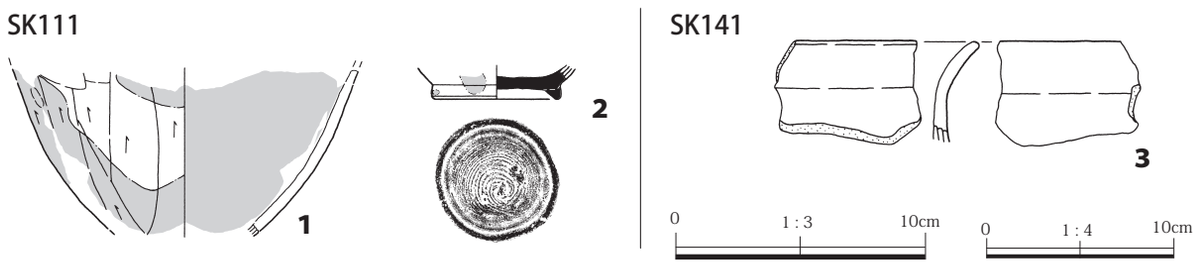
SK141（第 175・176 図／第 24 表／ＰＬ 21）

位置　４－３区Ｒ－ 14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　長方形を呈する。規模は長軸 225㎝、短軸 105㎝、深さ 44㎝。　**主軸方位**　Ｎ－

44°－E　**壁面**　外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　土師器甕片が２点出土し、１点を図示した。　**備考**　なし。

SK150（第 176 図）

位置　４－３区M－９　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　北西側は調査区外である。　**覆土**　上層は黒褐色土、下層は褐灰色～灰黄褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　楕円形を呈する。規模は長軸 140 ㎝以上、短軸 170㎝以上、深さ 69㎝。　**主軸方位**　N－36°－W　**壁面**　大きく外傾して立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　なし。

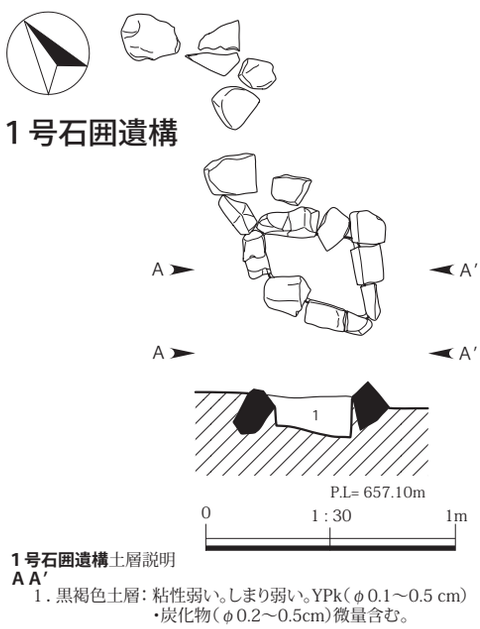


第176図　時期不明土坑出土遺物実測図（1/3・1/4）

（３）石囲遺構

１号石囲遺構（第 178 図／ＰＬ 17）

位置　２－94 区Ｈ－20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**平面形と規模**　台形を呈する。規模は長軸 56㎝、短軸 48㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－50°－W　**壁面**　ほぼ垂直に立ち上がる。　**底面**　概ね平坦。　**遺物**　なし。　**備考**　試掘トレンチでも確認されており、当初、縄文時代の石囲炉と考えられたが、周辺で竪穴住居跡の掘り込みや床面、柱穴が確認されなかったことや、石囲遺構内で焼土も埋設土器も確認できず、遺構覆土が縄文時代の遺構覆土というより平安時代の遺構の覆土に酷似していたことなどから、縄文時代の石囲炉ではないと判断し、石囲遺構とした。遺物は出土しなかったため、時期は不明としたが、遺構覆土から平安時代に帰属する可能性がある。



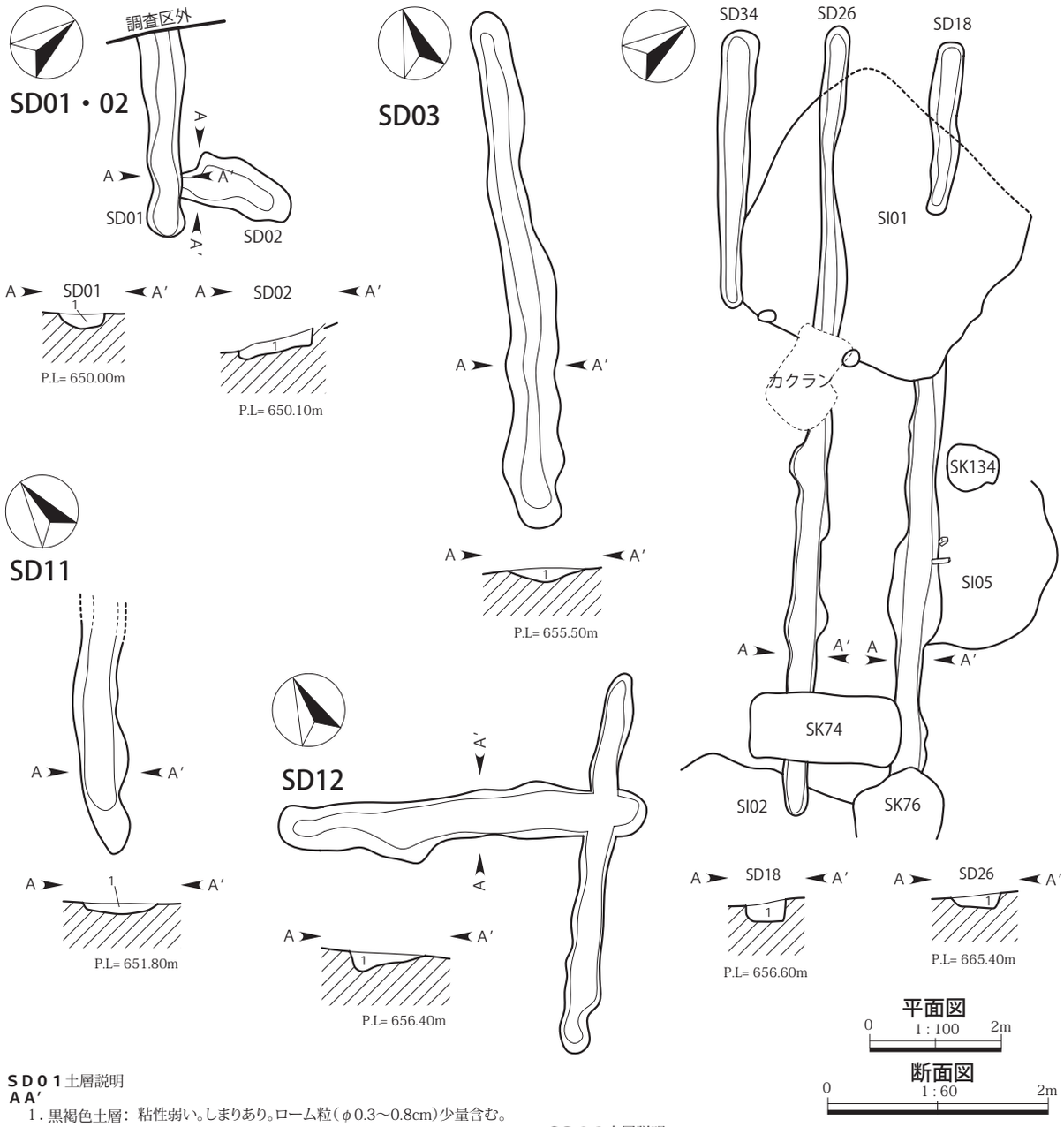
第177図　１号石囲遺構実測図（1/30）

（４）溝

南部（南）の台地上で検出された SD04 ～ 10・20・27 ～ 29・32・33 は、主軸方向が平行または交差している。後世の畑耕作等により削平されており、断続的であったり、消失してしまった溝もある。暗渠の可能性もあるが、現代の畑とは区画と範囲が一致しない。格子状に直交している溝（SD04 ～ 10）や SI03 を囲んでいるかのような溝（SD27・33）が見受けられることから、区画溝の一種と考えられる。

SD01（第 178 図）

位置　２－94 区Ｃ－９・10　**重複関係**　SD02 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　西側は調査区外となる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 3.1 m以上、短軸 68㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－52°－W　**遺物**　なし。　**備考**　調査区西のかばら沢に向かって下る浅い谷地形にあるため、自然流路の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。



SD01土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.3～0.8cm）少量含む。

SD03土層説明
AA′
1．にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.3cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。

SD12土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）・炭化物（φ0.1～0.3cm）少量含む。

SD26土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。

SD02土層説明
AA′
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ローム粒（φ0.1～0.5cm）少量含む。

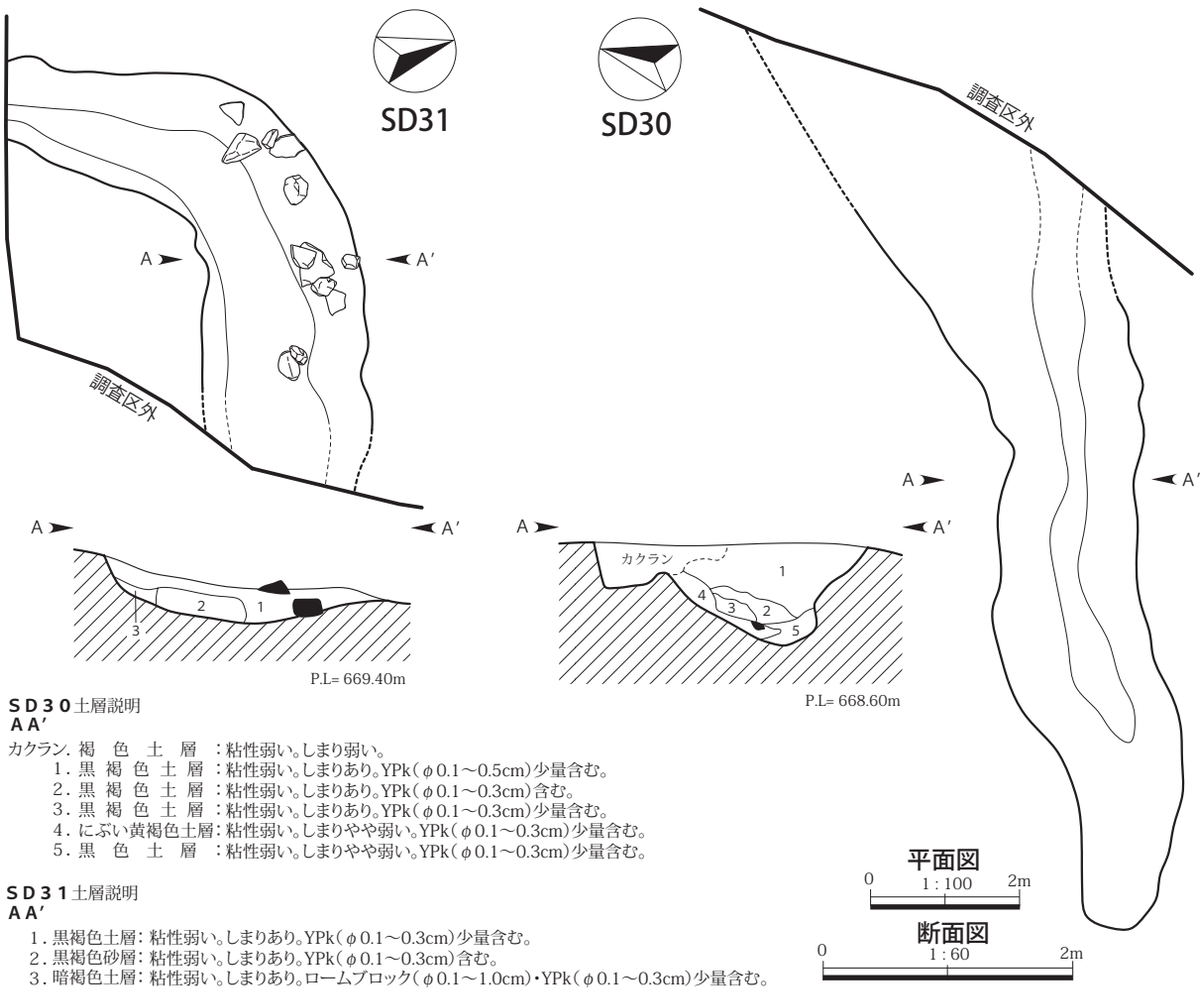
SD11土層説明
AA′
1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.3～1.0cm）少量含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。

SD18土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～3.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

第178図　SD01～03・11・12・18・26・34実測図（1/100・1/60）

SD02（第178図）

位置　２－94区Ｃ・Ｄ－９　**重複関係**　SD01と重複し、本遺構の方が古い。　**遺存状態**　概ね良好。**覆土**　暗褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸2.18 m以上、短軸70㎝、深さ10㎝。　**主軸方位**　Ｎ－51°－Ｅ　**遺物**　なし。　**備考**　調査区西のかばら沢に向かって下る浅い谷地形に向かっており、SD01同様、自然流路の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。



ＳＤ３０土層説明
ＡＡ′
カクラン. 褐　色　土　層　：粘性弱い。しまり弱い。
1. 黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.5cm）少量含む。
2. 黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。
3. 黒 褐 色 土 層 ：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
4. にぶい黄褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
5. 黒　色　土　層　：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

ＳＤ３１土層説明
ＡＡ′
1. 黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。
2. 黒褐色砂層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～0.3cm）含む。
3. 暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。ロームブロック（φ0.1～1.0cm）・YPk（φ0.1～0.3cm）少量含む。

第179図　SD30・31実測図（1/100・1/60）

SD03（第 178 図）

位置　２－94 区Ｂ・Ｃ－15・16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　にぶい黄褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 7.8 m、短軸 76㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　Ｎ－13°－Ｅ　**遺物**　なし。　**備考**　２号埋没谷上を、排水路を兼ねる現道と平行して走るため、自然流路の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD04（第 180 図）

位置　４－３区Ｇ－15 ～ 17　**重複関係**　SD06 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　南側が調査区外となるが概ね良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 11.5 m以上、短軸 50㎝、深さ 5㎝。　**主軸方位**　Ｎ－21°－Ｅ　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。延長上で SD07・08 と直交すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD05（第 180 図）

位置　４－３区Ｉ－15・16　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 7.6 m以上、短軸 50㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　Ｎ－20°－Ｅ　**遺物**　土師器片と須恵器片各１点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。北側の延長上で SD07・08 と、南側の延長上で SD06 と直交しさらに南に延びると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD06（第 180 図）

位置　4－3区G・H－16・17　**重複関係**　SD04 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 5.55 m以上、短軸 54㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－72°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD04 と直交する。東側の延長上で SD05・09 と直交し SD10 と接続すると推定される。また SD04 西側の延長上で主軸がほぼ一致する SK54 と接続する可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD07（第 180 図）

位置　4－3区H－14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　上層は削平された可能性がある。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 1.1 m、短軸 24㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－74°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。最も残存度が低い。SD08 と平行する。延長上で SD04・05・09 と直交し、SD29 と交差すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD08（第 180 図）

位置　4－3区G～M－14～16　**重複関係**　SK84･SK112 と重複し、SK112 より古く、SK84 より新しい。SD32 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 32.25 m以上、短軸 55㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－73°－W　**遺物**　土師器片 2 点と黒曜石の剥片 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD32 と直交し、SD29 と交差する。SD04・05・09 と直交すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD09（第 180 図）

位置　4－3区J・K－16・17　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　一部は浅く削平されている。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 17.95 m以上、短軸 70㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－19°－E　**遺物**　土師器片、陶磁器片、黒曜石の剥片、チャートの剥片各 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。北側の延長上で SD07・08 と直交し、南側の延長上で SD10 と直交すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD10（第 180 図）

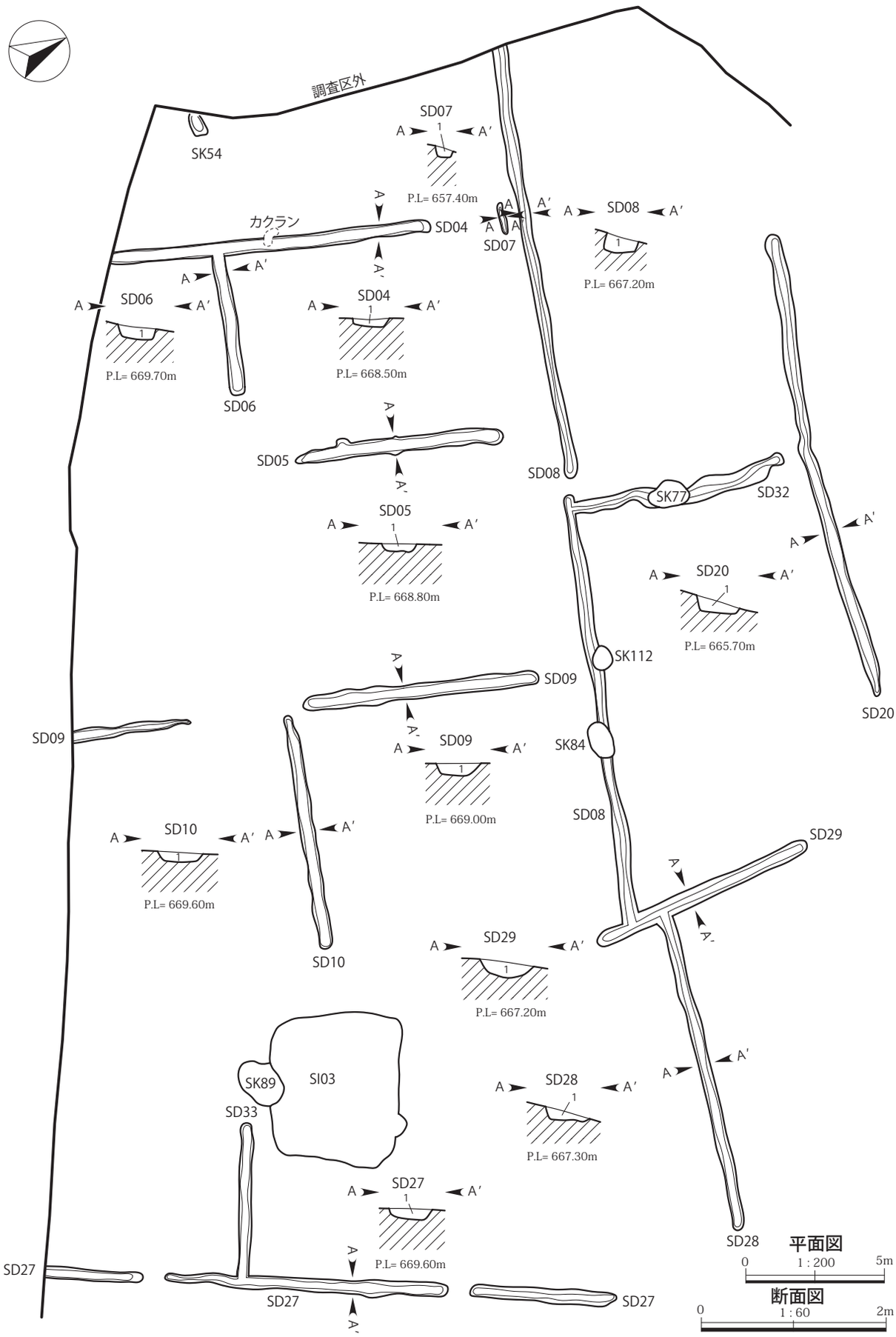
位置　4－3区J～L－17・18　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 8.5 m、短軸 52㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－74°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。西側の延長上で SD05・09 と直交し SD06 と接続すると推定される。また東側の延長上で SI03 と交差するが、SD04・05・09 の間隔から、SD10 の東端に直交する溝がある可能性が高いと考えられる。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD11（第 178 図）

位置　2－94 区G－13・14　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 3.9 m以上、短軸 70㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－34°－E　**遺物**　なし。　**備考**　北側の段下へ向かう浅い谷地形にあるため、自然流路の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD12（第 178 図）

位置　2－94 区I・J－19・20　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人



第180図　SD04～10・20・27～29・32・33実測図（1/200・1/60）

SD04土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。

SD05土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。

SD06土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。YPk（φ0.1～1.5cm）微量含む。

SD07土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

SD08土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまり弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）・YPk（φ0.2～1.5cm）微量含む。

SD09土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～10.0cm）少量含む。YPk（φ0.2～1.0cm）微量含む。

SD10土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

SD20土層説明
AA′
1．暗灰黄色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。

SD27土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。YPk（φ0.1～0.5cm）・BP（φ0.2～2.5cm）微量含む。

SD28土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）微量含む。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。砂礫（φ0.2～3.0cm）少量含む。

SD29土層説明
AA′
1．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～4.0cm）微量含む。YPk（φ0.1～1.5cm）含む。砂礫（φ0.2～3.0cm）少量含む。

為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 5.6 ～ 5.8 m、短軸 55 ～ 92.5㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－68°－W、N－33°－E　**遺物**　剥片 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　北西方向を向くものと、それにほぼ直交する北東方向を向くものがあるが、同一覆土で埋没していたため両者とも SD12 とした。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD18（第 178 図）

位置　4－3区R・S－12・13　**重複関係**　SI01・SK74・76 と重複し、SK74 より古く、SI01・SK76 より新しい。　**遺存状態**　一部は浅く削平されている。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 11 m、短軸 82.5㎝、深さ 20㎝。　**主軸方位**　N－50°－W　**遺物**　陶磁器片 2 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　SD26・34 と等間隔で平行しており、SN01 と同様の施肥溝の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD20（第 180 図）

位置　4－3区Ⅰ～L－13　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗灰黄色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 17 m、短軸 50㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－80°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。東側の延長上で SD32 と直交し SD29 と交差すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD26（第 178 図）

位置　4－3区R・S－12・13　**重複関係**　SI01・02・SK74 と重複し、SK74 より古く SI01・02 より新しい。　**遺存状態**　一部を SK74 に破壊される。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 11.9 m、短軸 62.5㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－51°－W　**遺物**　なし。　**備考**　SD18・34 と等間隔で平行しており、SN01 と同様の施肥溝の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD27（第 180 図）

位置　4－3区M～O－17 ～ 20、4－13区M－1　**重複関係**　SD33 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　一部は浅く削平されている。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 20.6 m以上、短軸 65㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－28°－E　**遺物**　須恵器片 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD33 とは同一覆土で直交するが、別遺構として扱った。北側の延長上で SD28 と交差すると推定される。SD33 とともに SI03 を囲うように見受けられる。時期を特定し得る出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD28（第 180 図）

位置　4－3区M～O－16　**重複関係**　SD29 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 12.2 m、短軸 50㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－76°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD29 とは同一覆土で交差するが、別遺構として扱った。東側の延長上で SD27 と交差すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD29（第 180 図）

位置　4－3区M－14～16　**重複関係**　SD08・28 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 8.3 m、短軸 60㎝、深さ 15㎝。　**主軸方位**　N－1°－E　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD08・28 とは同一覆土で交差するが、別遺構として扱った。北側の延長上で SD20 と交差すると推定される。また南側の延長上で SI03 と交差するが、SI03 の北側は最も削平を受けている場所であり、SI03 とは交差しない可能性が高いと考えている。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD30（第 179 図）

位置　4－3区T－20、4－13区R～T－1・2　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　東側は調査区外となる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 19.9 m以上、短軸 200㎝、深さ 80㎝。　**主軸方位**　N－68°－E　**遺物**　磨石 1 点が出土したが、小破片のため図示しなかった。　**備考**　調査区東の東沢へ向かう浅い谷地形にあり、底面に甌穴（おうけつ）状の穴が認められたため、自然流路の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD31（第 179 図／ＰＬ 17）

位置　4－13区R・S－2・3　**重複関係**　なし。　**遺存状態**　東側と南側は調査区外となる。　**覆土**　黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。　**規模**　規模は長軸 7.4 m以上、短軸 223㎝、深さ 30㎝。　**主軸方位**　N－34°－E、N－74°－W　**遺物**　なし。　**備考**　現代の山道の下につながることから、道跡の可能性がある。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD32（第 179 図）

位置　4－3区J－13～15　**重複関係**　SK77 と重複し、SK77 より古い。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　SD08 と同一覆土である。　**規模**　規模は長軸 8.2 m、短軸 80㎝、深さ 10㎝。　**主軸方位**　N－14°－E　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD08 とは同一覆土で交差するが、別遺構として扱った。北側の延長上で SD20 と交差すると推定される。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD33（第 180 図）

位置　4－3区M・N－19　**重複関係**　SD27 と交差し、同時期である。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　SD27 と同一覆土である。　**規模**　規模は長軸 5.5 m、短軸 44㎝、深さ 3㎝。　**主軸方位**　N－62°－W　**遺物**　なし。　**備考**　南部検出の格子状溝群の一条。SD27 とは同一覆土で本遺構と交差するが、別遺構として扱った。SD27 とともに SI03 を囲うように見受けられる。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。

SD34（第 178 図）

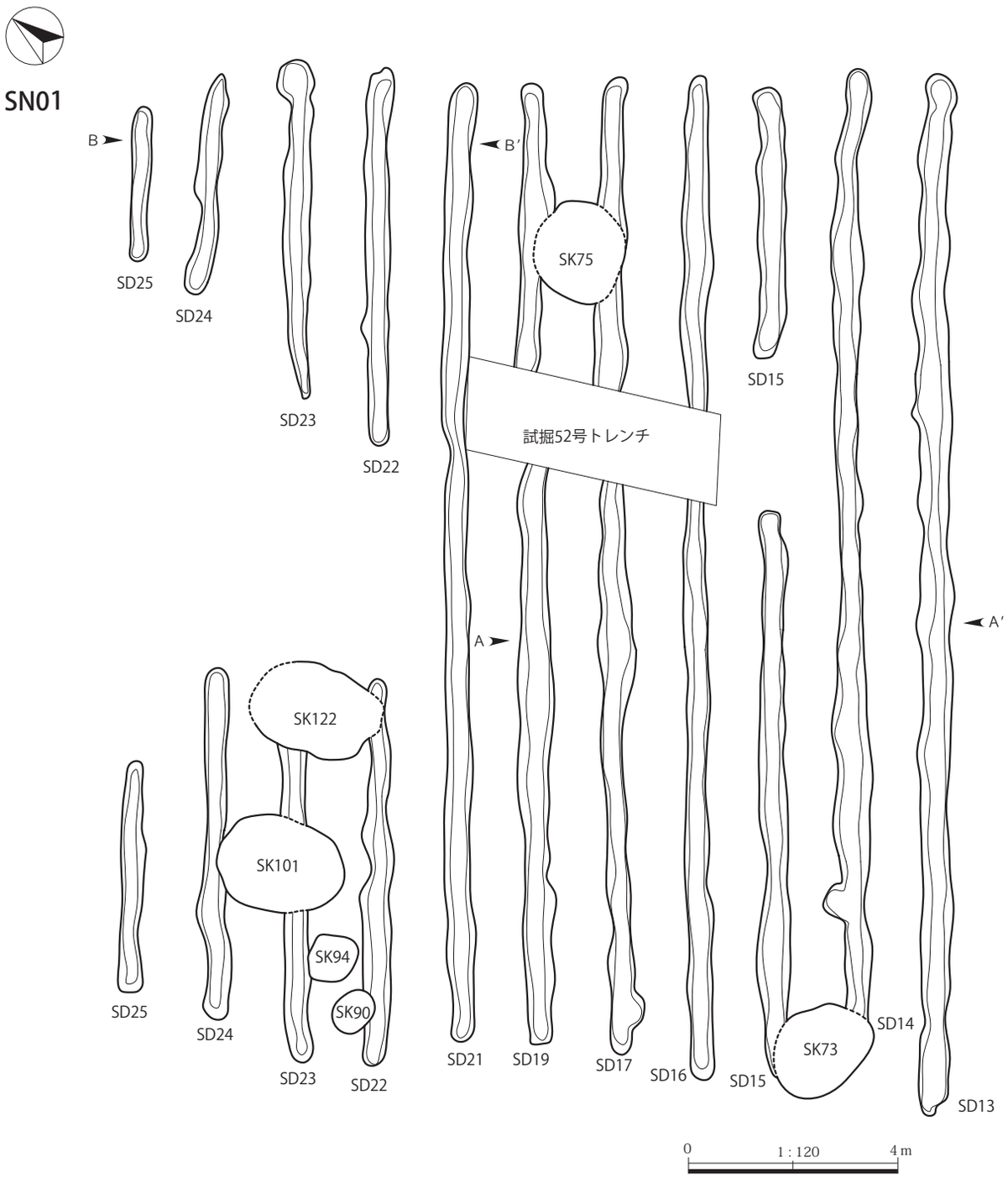
位置　4－3区Q・R－12・13　**重複関係**　SI01 と重複し、本遺構の方が新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　不明。　**規模**　規模は長軸 4.2 m、短軸 50㎝、深さ 19㎝。　**主軸方位**　N－51°－W　**遺物**　なし。　**備考**　SD18・26 と等間隔で平行しており、SN01 と同様の施肥溝の可能性がある。出土遺物がないことか

ら帰属時期は不明である。

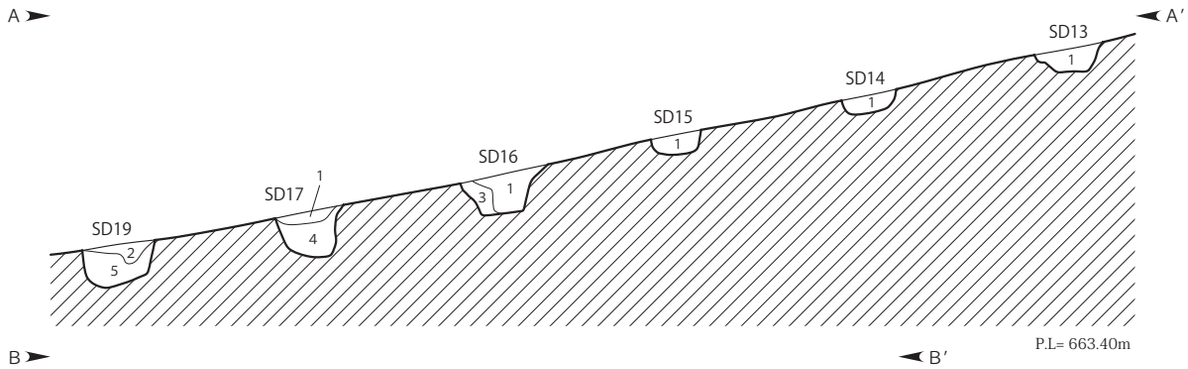
（5）畑

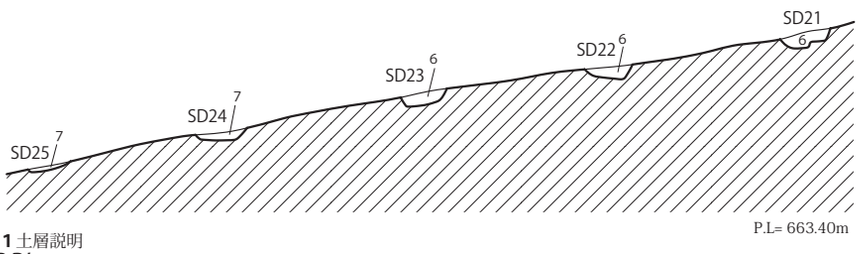
SN01（第 181・182 図）

位置　4－3区N～R－6～11　**重複関係**　SK73・75・90・94・101・122 と重複し、SK90・94 より古く、SK73・75・101・122 より新しい。　**遺存状態**　良好。　**覆土**　暗褐色～黒褐色土が基調で、人為堆積を示す。　**規模**　最大長 19.6 m、最大幅 16 m、検出面積 313.6㎡。　**主軸方位**　N－53°－E　**遺物**　なし。　**備考**　施肥溝と考えられる溝が等間隔に 11 条並ぶ。出土遺物がないことから帰属時期は不明である。



第181図　SN01実測図（1/120）





SN01土層説明
AA′BB′

1．暗褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）含む。炭化物（φ0.1～0.3cm）微量含む。
2．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
3．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。
4．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.2～1.0cm）少量含む。
5．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～5.0cm）・YPk（φ0.1～1.0cm）微量含む。
6．黒褐色土層：粘性弱い。しまりあり。YPk（φ0.1～1.0cm）少量含む。
7．黒褐色土層：粘性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック（φ0.5～2.0cm）少量含む。YPk（φ0.1～0.5cm）微量含む。

0　1：60　2m

第182図　SN01断面図（1/60）

（6）ピット（第21表）

時期不明のピットは20基確認された。P 47・52以外には遺物を出土するものは見られなかった。全てのピットの平面形や規模などの情報は、第21表に記載した。

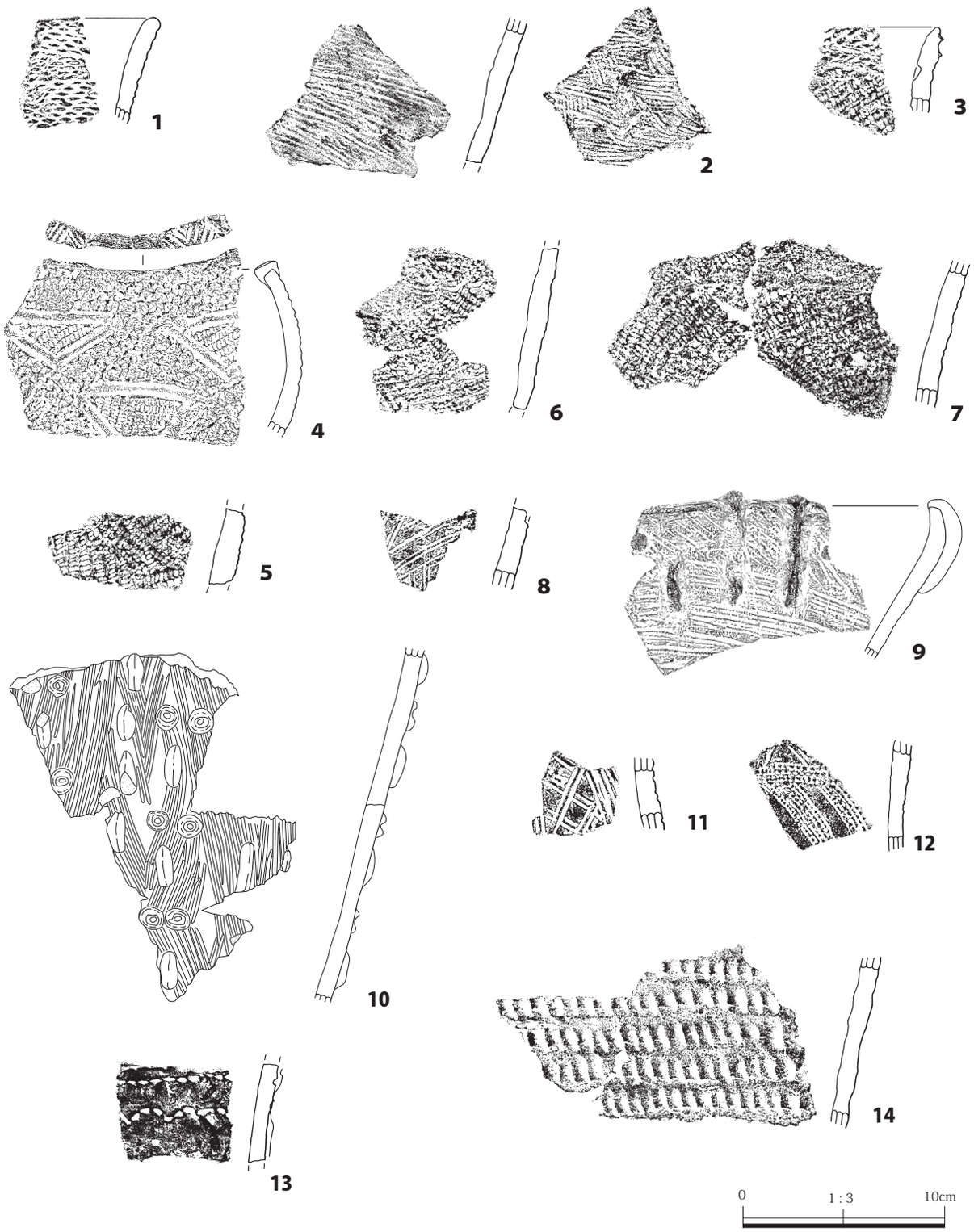
第21表　上野Ⅱ遺跡ピット観察表②

遺構名	位置	平面形	規模（cm）			覆土	備考	遺構名	位置	平面形	規模（cm）			覆土	備考
			長軸長	短軸長	深さ						長軸長	短軸長	深さ		
P09	2－94区E－10	円形	40	35	10	B		P48	4－3区Ⅰ－15	円形	40	35	14	B	
P38	2－94区B－15	楕円形	58	46	38	B		P49	4－3区F－15	楕円形	46	32	12	B	
P39	2－94区G－17	円形	60	55	18	C		P50	4－3区S－10	円形	38	35	18	B	
P41	4－3区H－16	楕円形	44	24	14	B		P51	4－3区S－10	長方形	55	35	16	B	
P42	4－3区Ⅰ－16	円形	23	20	30	B		P52	4－3区S－9	円形	60	55	28	B	
P43	4－3区J－17	円形	25	25	20	B		P53	4－3区T－10	楕円形	54	44	26	B	
P44	4－3区J－17	楕円形	50	28	14	B		P54	4－4区A－10	楕円形	37	(19)	13	B	
P45	4－3区Ⅰ－17	円形	26	24	24	B		P55	4－4区A－10	楕円形	53	40	28	B	
P46	4－3区H－18	円形	30	30	22	B		P56	4－3区T－12	円形	46	42	64	D	
P47	4－3区J－16	円形	38	37	26	B		P59	4－3区T－9	円形	40	40	20	B	

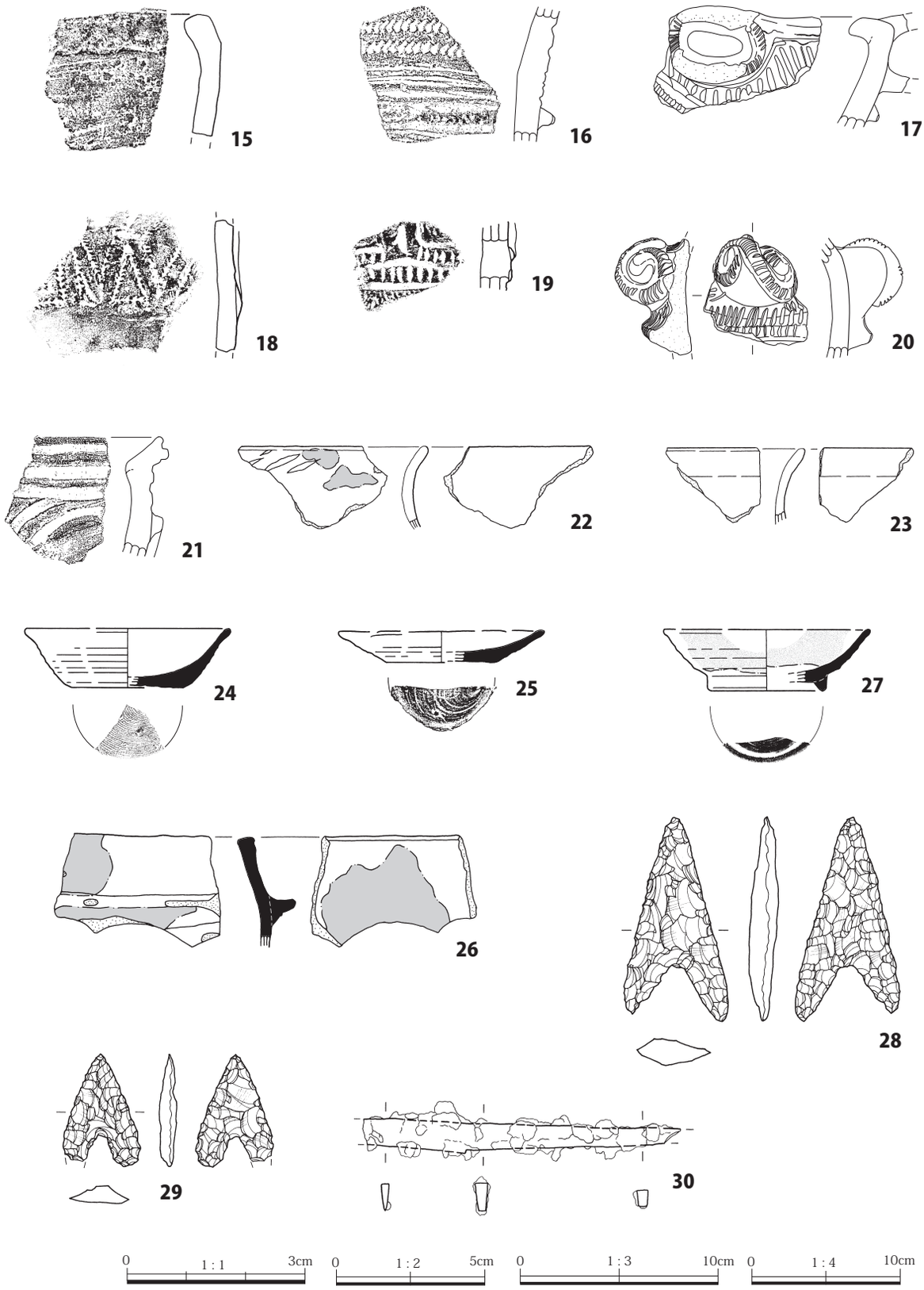
※A：黒色土　B：黒褐色土　C: 暗褐色土　D: 暗灰黄色土

第７節　遺構外出土遺物（第 183・184 図／第 24 表／ PL21）

ここでは、調査区表土および確認面出土遺物、遺構から出土したが遺構に伴うものではないと判断されたものを掲載する。遺構外出土遺物は、縄文時代前期から中期の土器・石器、平安時代の土師器・須恵器・灰釉陶器などが出土している。状態の良いものについて掲載する。



第183図　遺構外出土遺物実測図①（1/3）



第184図　遺構外出土遺物実測図②（1/1・1/2・1/3・1/4）

第５章　まとめ

今回発掘調査を行なった上野Ⅱ遺跡では、縄文時代の竪穴住居跡２軒、土坑７基、埋甕１基、遺物集中２ヵ所、弥生時代の土坑１基、平安時代の竪穴住居跡４軒、掘立柱建物跡１棟、カマド屋１軒、陥し穴 88 基、土坑６基、畑２面、焼土遺構４基、ピット 37 基、平安時代末～中・近世の陥し穴９基、焼土遺構６基、時期不明の竪穴状遺構２基、土坑 46 基、石囲遺構１基、溝 23 条、畑１面、ピット 20 基が確認された。

今回検出された縄文時代の竪穴住居跡は２軒あり、出土遺物から１軒は中期中葉、もう１軒は中期後葉に位置付けられる。その他の遺構からの出土遺物も阿玉台式や勝坂式など中期の土器が主体であり、住居跡の年代観とも概ね一致する。横壁地区では、横壁中村遺跡で同時期の大集落が検出されており、横壁中村遺跡を中心として本遺跡のような小規模集落群が点在していたと考えられる。

弥生時代の遺構は、弥生土器を伴う土坑１基（SK50）が検出された。また、当遺跡に隣接する上野Ⅰ遺跡では弥生前期の土器が比較的まとまって出土している。上野Ⅰ・上野Ⅱ遺跡ともに住居跡は検出されなかったが、近隣に弥生時代の集落が存在した可能性も考えられる。横壁地区の遺跡では、横壁中村遺跡で弥生時代前期の住居跡が検出されている他は包含層の遺物出土に留まっている。以上から、当地域では縄文時代から規模を縮小しながらも横壁中村遺跡を拠点として周辺で活動していた集団の存在が想定できるだろう。

平安時代の竪穴住居跡は４軒検出された。SI03 のみ南部の高台の上に位置し、その他は埋没谷の周辺の比較的平坦な面に位置する。カマドの位置は全て東カマドであった。SI01・02・06 は主軸方位が近く、高台の SI03 のみが他３軒より北寄りである。帰属時期はいずれも９世紀後半～ 10 世紀前半と考えられ、吾妻川流域に９世紀後半から急増する集落の一つに数えられるだろう。

陥し穴は 97 基が確認されたが、中央から埋没谷周辺に多く分布し、南部・西部にはやや分布が希薄である。住居と陥し穴が同じ領域で検出されているため、居住域と狩猟域は分かれてはいなかったと考えられる。
住居の軒数・規模から、当地域の拠点集落ではない一般的集落であったと考えられる。

第 22 表　上野Ⅱ遺跡縄文時代住居跡諸属性一覧

遺構名	長軸方向	規模（cm・㎡）				主柱配置	炉		周溝	付帯施設	遺物			時期
		主軸	副軸	壁高	面積		位置	構築方法			土器	石器	その他	
SI04	N-35°-E	353	(300)	13	(8.07)	２本	中央	石囲炉	－	－	○	○	－	縄文時代中期
SI05	N-45°-E	(178)	(265)	4	(3.68)	不明	中央	石囲炉	－	－	○	－	－	縄文時代中期

第 23 表　上野Ⅱ遺跡平安時代住居跡諸属性一覧

遺構名	長軸方向	規模（cm・㎡）				主柱配置	カマド		周溝	付帯施設	遺物					時期
		主軸	副軸	壁高	面積		位置	構築方法			灰釉	墨書	羽釜	鉄製品	鉄滓	
SI01	N-64°-E	399	<386>	16	12.02	２本か	東壁	石組・土で造成	南東部	－	－	－	－	○	－	９世紀後半
SI02	N-60°-E	456	488	57	16.72	２本か	東壁	石組・土で造成	－	－	○	－	○	－	－	10 世紀前半
SI03	N-28°-E	462	560	26	20.03	２本か	北壁	石組・土で造成	南西・北西	－	○	－	○	－	－	10 世紀前半
SI06	N-65°-E	526	458	69	15.08	４本か	東壁	石組・土で造成	－	貯蔵穴	○	－	○	○	○	９世紀後半～10 世紀前半

第 24 表　上野 II 遺跡出土遺物観察表

SI04 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
77- 1	18	縄文土器・深鉢	（7.4）／－／ 4.8	ミニチュア土器か。縦位沈線で区画帯を構成し、区画内に単節 RL 縄文を施文する。底径は小さく、体部にかけて緩く張り出す。中期後半（加曽利 E Ⅲ式）か。	良好	砂粒	にぶい黄褐／黒褐	底部完存。	SI04
77- 2	18	縄文土器・深鉢	（23.4）／＜ 30.6 ＞／－	外面肩部に隆起線文を施し、隆帯によって区切られた区画内と体部に縦位条痕文を施文する。肩部が強く張り、頸部から口縁部にかけて狭まる。外面スス付着。中期後半（加曽利 E Ⅲ式）か。	良好	砂粒	灰黄褐	口縁部～体部 40％残存。	SI04
77- 3	18	縄文土器・深鉢	（15.9）／－／－	外面肩部に隆起線文を施し、隆帯下に懸垂文を施文。地文には単節 LR 縄文を回転施文する。内面はナデ調整。中期後半（加曽利 E Ⅲ式）か。	良好	砂粒	明褐／にぶい赤褐	口縁部～体部 20％残存。	SI04
77- 4	18	剥片石器類・石鏃	長 1.5 ／幅 1.3 ／厚 0.3	重量 0.5g。凹基。	－	黒曜石	－	完存。	SI04

SI05 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
77- 1	18	縄文土器・深鉢	（10.3）／－／－	円形の突起を貼り付け、周囲に蛇行する隆帯をめぐらす。口縁部に連続する角押文を施し、地文には単節 RL 縄文を施文する。中期前半（勝坂Ⅲ式）か。	良好	砂粒・角閃石	黒褐／灰黄褐	口縁部 10％残存。	SI05

縄文時代土坑出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
81- 1	18	縄文土器・深鉢	（13.7）／－／－	縦位・横位・菱形に隆帯を貼付し、菱形の区画帯の中には隆帯に沿って三角形の角押文を施文する。地文には横位の沈線文・竹管による刺突文を施す。中期前半（勝坂式）。	不良	砂粒	明赤褐／暗褐	体部 40％残存。	SK136

SJ01 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
83- 1	18	縄文土器・深鉢	（23.5）／－／－	楕円形に隆帯を貼付し、その上に刻み目文を施す。胎土は粗くきわめて脆い。	不良	砂粒	にぶい褐	体部 80％残存。	SJ01

SU01 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
85- 1	18	縄文土器・深鉢	（3.9）／－／－	口縁部外面には隆帯を貼付し、隆帯上に刻み目を施す。口縁部内面にも稜を持つ。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒	暗褐	破片資料（口縁部）	SU01
85- 2	18	縄文土器・深鉢	（5.8）／－／－	外面に斜位の沈線文を施した後、口縁部と平行して横位の沈線文を施文する。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒	暗褐／褐	破片資料（口縁部）	SU01
85- 3	18	縄文土器・深鉢	（17.6）／－／－	外面に隆帯を貼付し、それに沿うように直線・波状の沈線文を施す。中位におそらく 4 単位のつまみ状の突起を配する。内面スス付着。中期前半（阿玉台Ⅱ式か）。	やや不良	砂粒・白色粒	赤褐／褐	体部 30％残存。	SU01
85- 4	18	縄文土器・深鉢	（3.9）／－／－	外面に沈線文を施文する。外面炭化物付着。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒・雲母	暗褐／褐	破片資料（体部）	SU01
85- 5	18	縄文土器・深鉢	（8.5）／－／－	内外面横位ナデ。外面は刻み文を伴う低い隆帯を配し、コンパス文・爪形文を下位に施文する。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒	暗褐／褐	破片（体部）	SU01
85- 6	18	縄文土器・深鉢	（7.7）／－／－	中央に上下を区画する隆帯を貼付し、さらに円形の隆帯と、その間に突起を配置する。隆帯の上には連続する角押文を施し、体部に波状の連続角押文を施文する。中期前半（勝坂Ⅰ式）か。	良好	砂粒	にぶい赤褐／にぶい褐	頸部～体部 90％残存。	SU01
85- 7	18	縄文土器・深鉢	（7.0）／－／－	隆帯を斜位に貼付し、隆帯と口縁に沿って刻み目文を施す。口縁部内面に返しを持つ。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒・雲母	褐	口縁部 20％残存。	SU01
85- 8	18	縄文土器・深鉢	（5.9）／－／－	口唇部平坦。外面に隆帯を貼付し、隆帯上に刻みを施す。中期前半（勝坂Ⅰ式）か。	良好	砂粒・角閃石・白色粒	明褐	破片資料（口縁部）	SU01
85- 9	18	縄文土器・深鉢	（9.7）／－／－	口縁直下に横位の沈線文を 2 条施し、体部に斜位の沈線文・三日月状の爪形文を施す。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒	暗褐／黒褐	口縁部 10％残存。	SU01
85-10	19	縄文土器・深鉢	（5.0）／－／－	口縁部突起か。半裁竹管による三日月型の角押文を全面に施す。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒・白色粒	褐	破片資料（口縁部）	SU01
85-11	19	縄文土器・深鉢	（4.1）／－／－	刻みを伴う隆帯を貼付し、平行して沈線文を施す。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒	赤褐／褐	破片資料（体部）	SU01

85-12	19	縄文土器・深鉢	（4.3）／－／－	外面に隆帯を貼付し、その上に斜位の角押文を施す。また、隆帯に沿って刻み目を施す。外面剥離激しい。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒・白色粒	褐／にぶい褐	破片資料（体部） SU01
85-13	19	縄文土器・深鉢	（8.8）／＜ 19.6 ＞／－	外面口縁付近には瘤状の突起を貼付する。外面には地文として無節 L 縄文を施文する。中期前半（勝坂Ⅱ式）。	良好	砂粒・角閃石	褐	破片資料（口縁部） SU01
85-14	19	縄文土器・深鉢	（7.0）／－／－	外面は無節 R 縄文が施文される。口縁部に山形の突起を配する。内面横位ナデ。中期前半(勝坂Ⅱ～Ⅲ式）か。	良好	砂粒・白色粒	褐／明褐	破片資料（口縁部） SU01
85-15	19	縄文土器・深鉢	（6.2）／－／－	眼鏡状突起。中期中葉（新巻・焼町系）か。	良好	砂粒	暗褐	破片資料（突起） SU01
85-16	19	縄文土器・深鉢	（12.0）／－／－	外面に眼鏡状突起を貼付し、周囲に隆帯と沈線文を施す。中期中葉（新巻類型）。	良好	砂粒・角閃石	褐／暗褐	破片資料（体部） SU01
85-17	19	縄文土器・深鉢	（5.7）／－／－	口縁部付近か。外面は隆帯・半隆起線文が施文される。内面口縁部にも低い隆帯を貼付し、稜を形成する。中期中葉（焼町土器）。	良好	砂粒・石英	明褐／褐	破片資料（口縁部） SU01

SU02 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量(器高／口径／底径)(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調(外面／内面)	備考
87- 1	19	縄文土器・深鉢	（3.9）／－／－	口縁部に隆帯を貼付し、平行する沈線文を 3 条施す。その下に刻み目文を施文する。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒・角閃石	にぶい褐／にぶい黄褐	破片資料（口縁部） SU02
87- 2	19	縄文土器・深鉢	（6.4）／－／－	隆帯により区画帯を作り、内部に沈線と単節 RL 縄文を施文する。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒・白色粒	赤褐／にぶい褐	破片資料（体部） SU02
87- 3	19	縄文土器・深鉢	（10.2）／－／－	隆帯による二本の平行する懸垂文が下部に延びる。地文には単節 RL 縄文を施文する。中期前半（阿玉台Ⅱ式）。	良好	砂粒・白色粒	赤褐／にぶい褐	破片資料（体部） SU02
87- 4	19	縄文土器・深鉢	（4.2）／－／－	外面に二股状の工具による刺突文を縦位・横位に施す。型式不明。	良好	雲母	灰黄褐／黒褐	破片資料（体部） SU02

弥生時代土坑出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量(器高／口径／底径)(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調(外面／内面)	備考
89- 1	19	弥生土器・壺	（15.7）／－／－	外面頸部から体部上部にかけて直線で沈線文、その下に渦状の沈線文を施す。体部上部は赤彩される。外面全面ミガキ。弥生初頭か。	良好	砂粒	暗褐／褐	体部 25%残存。 SK50

SI01 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量(器高／口径／底径)(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調(外面／内面)	備考
93- 1	19	土師器・甕	（18.5）／＜ 21.0 ＞／－	内外面横位ナデ。外面肩部・体部縦位ヘラケズリ。体部上部から頸部にかけて緩く外反し、口縁部はやや強めに外反する。体部の張りは口径と同程度。	酸化焔・良好	砂粒・褐色粒	にぶい橙／にぶい黄橙	口縁部～体部 30%残存。 SI01
93- 2	19	土師器・甕	（6.3）／＜ 19.8 ＞／－	内外面横位ナデ。外面肩部横位ヘラケズリ。	酸化焔・良好	褐色粒・白色粒	赤褐／褐	口縁部～体部 20%残存。 SI01
93- 3	19	土師器・甕	（6.2）／＜ 17.8 ＞／－	内外面横位ナデ。外面肩部斜位ヘラケズリ。頸部で屈曲し口縁部は外反しながら立ち上がる。	酸化焔・良好	砂粒・角閃石	にぶい褐／明赤褐	口縁部～体部 20%残存。 SI01
93- 4	19	土師器・甕	（6.3）／－／－	コの字状口縁甕。「コ」字状のくびれ明瞭。内外面横位ナデ。外面肩部横位ヘラケズリ。内外面指頭圧痕。	酸化焔・良好	砂粒	赤褐明／赤褐	口縁部 15%残存。 SI01
93- 5	19	土師器・甕	（6.5）／－／－	内面横位ヘラナデ。外面は肩部横位ヘラケズリ、一部斜位ヘラケズリ。口縁部には粘土紐接合痕が残る。口縁部の外反は弱い。	酸化焔・良好	砂粒・角閃石	にぶい橙／明赤褐	口縁部～体部 10%残存。 SI01
93- 6	19	土師器・甕	（5.4）／－／－	内外面横位ナデ。外面肩部横位ヘラケズリ。	酸化焔・良好	褐色粒・白色粒	褐	口縁部～体部 10%残存。 SI01
93- 7	19	須恵器・杯	4.3 ／＜ 14.2 ＞／＜ 7.6 ＞	ロクロ整形。底部回転糸切り痕。内外ロクロナデ。外面底部付近にスス付着。	還元焔・良好	砂粒	にぶい黄／灰黄褐	口縁部～底部 20%残存。 SI01

SI02 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量(器高／口径／底径)(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調(外面／内面)	備考
98- 1	－	土師器・杯	（1.5）／－／ 6.0	黒色土器。底部回転糸切り痕。	酸化焔・良好	砂粒・石英・雲母	褐／黒	底部完存。 SI02
98- 2	19	土師器・杯	（5.1）／－／＜ 6.4 ＞	黒色土器。ミガキによる花弁状の暗文が施される。底部ナデ調整。高台は欠損。	酸化焔・良好	雲母・角閃石	にぶい黄褐／黒褐	底部～体部 50%残存。 SI02

98- 3	19	土師器・杯	(4.1) ／－／－	内外面ともに横位ナデ、のち外面斜位ナデ。	酸化焔・良好	砂粒・褐色粒	にぶい黄橙	破片資料（口縁部） SI02
98- 4	19	須恵器・羽釜	(6.3) ／－／－	内外面とも横位ナデ。鍔部断面三角形。鍔下はナデが不十分で貼り付け痕が明瞭。口縁部にスス付着。	還元焔・良好	砂粒	にぶい黄褐	口縁部～鍔部 15%残存。 SI02
98- 5	19	灰釉陶器・皿	2.7 ／＜ 12.8 ＞／ 6.8	ロクロ整形。底部右回転糸切り痕。底部と高台部の境目に亀裂あり。内面底部に重ね焼き痕が残る。底部内面は無釉。	還元焔・堅緻	白色粒	灰白	口縁部～高台部 40%残存。 SI02

SI03 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考
102- 1	20	土師器・甕	(7.7) ／－／－	内外面横位ナデ。外面体部横位ヘラケズリ。外面指頭圧痕。頸部で「く」の字状に屈曲し外反しながら立ち上がる。内面スス付着。	酸化焔・良好	砂粒	灰黄褐／暗褐	口縁部～体部 10%残存。 SI03
102- 2	20	土師器・杯	(2.8) ／－／＜ 6.7 ＞	黒色土器。ミガキによる放射状の暗文が施される。内外面ナデ。高台貼付後に周囲をナデ調整。	酸化焔・良好	砂粒・白色粒	にぶい黄褐／黒	底部～体部 40%残存。 SI03
102- 3	20	土師器・杯	(2.8) ／－／ 6.8	黒色土器。ミガキによる二条の暗文を十字状に施す。外面ナデで調整。	酸化焔・良好	雲母・石英	褐／黒	底部完存。 SI03 カマド
102- 4	20	須恵器・杯	(1.9) ／－／ 6.8	ロクロ整形。内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り痕。高台貼付後周辺をナデ調整。	還元焔・良好	砂粒・長石・黒色粒	灰白	底部完存。 SI03
102- 5	20	須恵器・羽釜	(15.7) ／＜ 18.4 ＞／－	月夜野型羽釜。口縁部はほぼ直立する。鍔部断面三角形。内外面とも口縁部から鍔部は横位ナデで調整。外面体部縦位ヘラケズリ。内面体部は斜位ナデ。	還元焔・良好	砂粒・石英	にぶい黄橙／にぶい黄褐	口縁部～体部 20%残存。 SI03 カマド・SK111
102- 6	20	陶器・甕か	(8.4) ／－／＜ 17.0 ＞	甕壺類あるいは鉢か。ロクロ整形。内面ロクロナデ。外面叩き目。底部付近を横位ヘラケズリで調整。	還元焔・やや不良	砂粒	灰黄褐／赤褐	底部～体部 25%残存。 SI03 カマド・SK111

SI06 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）(cm)	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考
108- 1	20	土師器・甕	(20.8) ／＜ 19.0 ＞／－	口縁部内外横位ナデ。内面頸部ハケメ。外面肩部から体部にかけて縦位・斜位ヘラケズリ。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄褐／灰黄褐	口縁部～体部 30%残存。 SI06
108- 2	20	土師器・甕	(8.8) ／＜ 19.0 ＞／－	内外面ともに横位ナデ。外面肩部以下横位ヘラケズリ後縦位ヘラケズリ。外面スス付着。内面輪積み痕明瞭。	酸化焔・良好	褐色粒・角閃石	褐／明褐	口縁部～体部 40%残存。 SI06
108- 3	20	土師器・甕	(8.5) ／＜ 20.0 ＞／－	コの字状口縁甕。内外面横位ナデ。外面肩部斜位ヘラケズリ。内面肩部ハケメ。	酸化焔・良好	砂粒	褐／明褐	口縁部～体部 20%残存。 SI06
108 - 4	20	土師器・甕	(4.5) ／－／－	内外面ともに横位ナデ。外面口縁部付近にヘラ痕あり。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄橙／にぶい橙	口縁部 10%残存。 SI06
109- 5	20	土師器・台付甕	(9.2) ／＜ 20.1 ＞／－	小型台付甕か。内外面肩部から体部にかけて縦位ヘラケズリ。口縁部内外面とも横位ナデで調整。内面体部縦位・横位ヘラナデか。内外面指頭圧痕。外面炭化物付着。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄褐／灰黄褐	口縁部 20%残存。 SI06 掘り方
109- 6	20	土師器・台付甕	(3.2) ／－／＜ 8.4 ＞	外面指頭圧痕。外面スス付着。内面に粘土紐接合痕が残る。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい褐	台部 20%残存。 SI06 掘り方
109- 7	20	土師質土器・杯	(3.5) ／－／－	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。	還元焔・良好	砂粒・褐色粒	橙	口縁部 15%残存。 SI06 カマド
109- 8	－	須恵器・甕	(23.0) ／－／－	外面叩き。内面当て具痕。外面自然釉付着。	還元焔・良好	砂粒	灰	体部 50%残存。 SI06・SI06 掘り方・SI06 カマド
109- 9	－	須恵器・大甕	(14.5) ／－／－	内外面ともに横位ナデ。外面に叩き目、内面に当て具痕と考えられる痕跡が残る。外面スス付着。	還元焔・不良	砂粒	明黄褐／灰黄褐	頸部～体部 40%残存。 SI06
109-10	20	須恵器・甕	(4.0) ／－／ 16.0	内外面ともにロクロナデ。外面底部付近はヘラナデか。	還元焔・良好	砂粒・黒色粒	黄灰／褐灰	底部 50%残存。 SI06
109-11	20	須恵器・椀	6.6 ／＜ 18.4 ＞／＜ 9.0 ＞	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。右回転糸切り痕。外面スス付着。	還元焔・良好	砂粒	にぶい黄褐／灰黄褐	口縁部～底部 20%残存。 SI06
109-12	20	須恵器・椀	(3.5) ／－／＜ 8.3 ＞	ロクロ整形。ロクロ目は内外面ともに不明瞭。	還元焔・良好	褐色粒	にぶい黄橙	底部 50%残存。 SI06
109-13	20	須恵器・椀	4.9 ／ 15.0 ／ 7.5	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。右回転糸切り痕。底部完存。	還元焔・良好	砂粒	灰	口縁部～底部 50%残存。 SI06・SI06 カマド

109-14	20	須恵器・杯	4.5 ／ 14.7 ／ 7.5	黒色土器。ロクロ整形。内外面ロクロナデ。右回転糸切り痕。表面は粗い。底部完存。	還元焔・良好	砂粒	灰黄／オリーブ黒	口縁部～底部 45％残存。	SI06
109-15	20	須恵器・鉢か	（7.4）／－／ 13.8	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。外面底部付近はヘラナデか。	酸化焔・良好	砂粒・白色粒	灰	底部 60％残存。	SI06
109-16	20	石製品・砥石	長 8.1 ／幅 4.2 ／厚 1.2	重量 63.7g。4 面とも使用される。中央が凹んだ撥型。	－	凝灰岩	－	80％残存。	SI06

平安時代土坑出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
152- 1	20	須恵器・羽釜	（11.7）／＜ 19.0 ＞／－	月夜野型羽釜。口縁部はほぼ直立し、鍔部は断面三角形を呈する。内外面とも口縁部から鍔部は横位ナデ。外面体部縦位ヘラケズリ。表面は粗く、鍔部貼付時の痕跡が残る。外面スス付着。	還元焔・良好	砂粒・石英	にぶい黄橙	口縁部～体部 40％残存。	SK122
152- 2	20	土師器・甕	（6.2）／＜ 21.0 ＞／－	コの字状口縁甕。内外面ともに横位ナデ。外面指頭圧痕。内面スス付着。くずれたコの字を呈する。	酸化焔・良好	砂粒・褐色粒	にぶい黄橙	口縁部 20％残存。	SK122
152- 3	20	須恵器・大甕	（8.5）／＜ 20.6 ＞／－	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。	還元焔・良好	砂粒・白色粒	灰	口縁部～頸部 40％残存。	SK122
152- 4	20	須恵器・椀	（4.1）／－／＜ 7.2 ＞	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。	還元焔・良好	砂粒・黒色粒	灰黄／黄灰	底部～体部 20％残存。	SK122

焼土遺構出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
155- 1	21	土師質土器・杯	（4.7）／－／－	黒色土器。ロクロ整形。内面口縁部付近は横位ミガキ、口縁部より下位は縦位ミガキ。外面炭化物付着。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄橙／黒	破片資料（口縁部）	10 号焼土

時期不明土坑出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
176- 1	21	土師器・甕	（8.7）／－／－	外面縦位ヘラケズリ。内外面とも黒斑あり。外面指頭圧痕。	良好	砂粒・褐色粒	にぶい橙／橙	体部 40％残存。	SK111
176- 2	21	須恵器・椀	（1.8）／－／ 6.6	ロクロ整形。底部回転糸切り痕。高台部ナデ。外面高台部から体部に黒斑あり。	良好	砂粒	灰白／灰黄	底部完存。	SK111
176- 3	21	土師器・甕	（3.9）／－／－	コの字状口縁甕か。内外面ともに横位ナデ。口縁部の外反は緩く、くずれたコの字を呈する。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄橙	破片資料（口縁部）	SK141

遺構外出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
183- 1	21	縄文土器・深鉢	（5.1）／－／－	外面全面に押型文（楕円文）を施す。早期前半（卯ノ木式）。	良好	白色粒・褐色粒	にぶい褐／褐	破片資料（口縁部）	表土
183- 2	21	縄文土器・深鉢	（7.2）／－／－	内外面とも条痕文を施文する。内面の方が文様が細密である。早期後半（鵜ヶ島台式）か。	良好	砂粒	褐／灰黄褐	破片資料（体部）	SK69
183- 3	21	縄文土器・深鉢	（4.1）／－／－	外面に単節 LR 縄文を施文する。口縁部下に刻みを伴う浮線文を施す。前期初頭か。	不良	繊維・白色粒	黒褐	破片資料（口縁部）	SK60
183- 4	21	縄文土器・深鉢	（8.5）／－／－	半裁竹管による条線で三角形の区画帯を作り、内部に単節 LR 縄文を施文する。地文は LR ループ文によって占められる。口唇部には山形の沈線文が施される。前期前半（関山Ⅰ式）か。	良好	砂粒	暗褐／にぶい黄褐	口縁部 10％残存。	表土
183- 5	21	縄文土器・深鉢	（3.6）／－／－	外面に単節 RL・LR 縄文による羽状縄文を施文する。前期前半（黒浜式）か。	良好	繊維・白色粒	にぶい黄褐／灰黄褐	破片資料（体部）	SK39
183- 6	21	縄文土器・深鉢	（7.9）／－／－	外面に単節 RL・LR 縄文による羽状縄文を施文する。前期前半（黒浜式）か。	良好	砂粒・繊維	褐／にぶい黄褐	破片資料（体部）	SK67・69
183- 7	21	縄文土器・深鉢	（7.2）／－／－	単節 RL・LR 縄文による羽状縄文を施文する。追加整形施文法により、縄文の上に粘土が被さる。前期前半（黒浜式）か。	やや不良	砂粒	黄褐／暗褐	破片資料（体部）	確認面
183- 8	21	縄文土器・深鉢	（4.1）／－／－	外面に工具による条線文を施文する。前期後半（諸磯ｂ式）。	良好	砂粒	灰黄褐／にぶい黄褐	破片資料（体部）	SK60
183- 9	21	縄文土器・深鉢	（8.2）／－／－	斜位の条痕文を施文後、口縁部に縦に下垂する突起を貼付する。前期後半（諸磯ｃ式）か。	良好	砂粒	にぶい黄褐／にぶい黄橙	破片資料（口縁部）	SK97

183-10	21	縄文土器・深鉢	（17.6）／－／－	地文に縦位・斜位の条痕文を施文した後、ボタン状の貼付文と棒状の短い貼付文を施す。前期後半（諸磯ｃ式）か。	良好	砂粒	灰黄褐／にぶい黄橙	破片資料（体部）	SK97
183-11	21	縄文土器・深鉢	（3.6）／－／－	二又状の工具により、交差する斜位の２方向に沈線文を施した後、縦位で沈線文を施す。前期後半（諸磯ｃ式か）。	良好	砂粒・白色粒・褐色粒	赤褐暗／赤褐	破片資料（体部）	SK127
183-12	21	縄文土器・深鉢	（5.3）／－／－	沈線の上に工具により刻み目文を施文する。前期末葉か。	良好	砂粒	灰黄褐／明褐	破片資料（体部）	SK138
183-13	21	縄文土器・深鉢	（4.8）／－／－	蛇行懸垂文を施し、水平方向に波状・直線の押引文を施文する。中期前半（阿玉台Ⅰａ式）。	良好	砂粒	にぶい黄橙／黄灰	破片資料（体部）	SK18
183-14	21	縄文土器・深鉢	（8.3）／－／－	外面全面にヒダ状圧痕を施す。内外面ともスス付着。中期前半（阿玉台Ⅰａ式）か。	良好	砂粒	褐／にぶい黄褐	破片資料（体部）	SK153
184-15	21	縄文土器・深鉢	（6.0）／－／－	外面口縁部下に低い隆帯を施す。内外面横位ナデ。口唇部平坦にナデ。中期前半（阿玉台Ⅰｂ式）か。	良好	砂粒・雲母	灰黄褐	破片資料（口縁部）	SK161
184-16	21	縄文土器・深鉢	（6.8）／－／－	隆帯上に刻み文様を施し、下部に沈線文、角押文を施文する。中期前半（勝坂Ⅰ式）。	良好	砂粒	赤褐／暗褐	破片資料（体部）	SK06
184-17	21	縄文土器・深鉢	（5.6）／－／－	突起貼付後、その上に刻みを施し、縦位沈線を施文する。口縁内面に返しを持つ。内面ナデ。中期前半（勝坂Ⅰ式）か。	良好	砂粒	褐	破片資料（口縁部）	埋没谷４面
184-18	21	縄文土器・深鉢	（6.4）／－／－	山形に隆帯を貼付し、隆帯に沿って三角形の角押文を施す。中期前半（勝坂Ⅰ式）か。	良好	砂粒	褐	破片資料（体部）	表土
184-19	21	縄文土器・深鉢	（3.4）／－／－	外面に隆帯を貼付し、隆帯上にヘラ状工具による刻み目文様を施す。中期前半（勝坂Ⅲ式）か。	良好	砂粒・角閃石	にぶい黄褐	破片資料（体部）	SK17
184-20	21	縄文土器・深鉢	（6.1）／－／－	瘤状の盛り上がりの上に刻み目を伴う渦巻状のＳ字文を貼付する。中期前半（勝坂式）。	良好	砂粒	褐	破片資料（突起部）	SK106
184-21	21	縄文土器・深鉢	（6.0）／－／－	隆帯を貼付し、隆帯に沿った沈線文を施文する。中期中葉（新巻類型）。	良好	砂粒	にぶい褐／黒褐	破片資料（口縁部）	SK38
184-22	21	土師器・甕	（4.1）／－／－	内外面横位ナデ。口縁部外面にヘラ痕が残る。外面スス付着。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい黄橙	破片資料（口縁部）	１号トレンチＢ
184-23	21	土師器・甕	（3.7）／－／－	内外面ともに横位ナデ。	酸化焔・良好	砂粒	にぶい褐／褐	破片資料（口縁部）	SK131
184-24	21	須恵器・杯	3.9 ／＜ 13.6 ＞／＜ 7.5 ＞	ロクロ整形。底部回転糸切り痕。	還元焔・良好	砂粒・白色粒	黄灰	口縁部～底部 20％残存。	１号トレンチＢ
184-25	21	須恵器・皿	2.1 ／＜ 13.8 ＞／＜ 7.6 ＞	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。底部回転糸切り痕。	還元焔・不良	砂粒・褐色粒	灰白	口縁部～底部 20％残存。	埋没谷３面
184-26	21	須恵器・羽釜	（5.6）／－／－	口縁部やや内傾して立ち上がる。内外面ともに横位ナデ。鍔部は断面三角形。内外面スス付着。	還元焔・良好	白色粒	にぶい黄／暗灰黄	口縁部～鍔部 10％残存。	埋没谷２面
184-27	21	灰釉陶器・碗	4.1 ／＜ 13.8 ＞／＜ 7.5 ＞	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。釉は内面が淡緑色、外面は透明に発色する。内外面ともに底部付近には施釉されない。	還元焔・堅緻	黒色粒	灰白／灰オリーブ	口縁部～底部 20％残存。	埋没谷４面
184-28	21	剥片石器類・石鏃	長 3.4 ／幅 1.6 ／厚 0.5	重量 1.7g。凹基。	－	黒曜石	－	完存。	中央部確認面
184-29	21	剥片石器類・石鏃	長 1.9 ／幅 1.2 ／厚 0.3	重量 0.4g。凹基。	－	黒曜石	－	完存。	中央部確認面
184-30	21	鉄製品・刀子	長（10.6）／幅 1.0 ／厚 0.5	重量 16.4g。茎はほぼ完存するが刀身部は欠損。茎は細く断面方形。	－	－	－	刀身部欠損。	－